

令和2年度

優良PTA文部科学大臣表彰 優良事例集



総合教育政策局
地域学習推進課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

※本事例集は、令和2年度の受賞団体のうち、
各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動を
まとめたものです。

目次

- 1 北海道 (遠別小学校PTA)
(北海道室蘭養護学校父母と先生の会)
- 2 青森県 (養生幼稚園父母の会)
(青森市立甲田中学校父母と教師の会)
- 3 岩手県 (奥州市立小山東幼稚園PTA)
(遠野市立遠野北小学校PTA)
- 4 宮城県 (仙台市立宮城野中学校父母教師会)
- 5 秋田県 (大仙市立大川西根小学校PTA)
(秋田県立大曲農業高等学校PTA)
- 6 山形県 (東根市立大森小学校PTA)
(学校法人山本学園高等学校PTA)
- 7 福島県 (白河市立小田川幼稚園PTA)
(中郷小学校父母と教師の会)
- 8 茨城県 (鹿嶋市立豊津小学校PTA)
(茨城県立下妻第一高等学校PTA)
- 9 栃木県 (宇都宮市立西小学校PTA)
(栃木県立今市高等学校PTA)
- 10 群馬県 (前橋市立宮城幼稚園PTA)
(高崎市立浜尻小学校PTA)
- 11 埼玉県 (狭山市立新狭山小学校PTA)
(埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校PTA)
- 12 千葉県 (柏市立高柳中学校教育振興会)
(千葉県立大原高等学校PTA)
- 13 東京都 (港区立中之町幼稚園PTA)
(文京区立文林中学校PTA)
- 14 神奈川県 (横浜市立茅ヶ崎東小学校PTA)
(神奈川県立平塚養護学校PTA)
- 15 新潟県 (柏崎市立枇杷島小学校PTA)
(新潟県立新潟東高等学校PTA)
- 16 富山県 (富山市立新保なかよし認定こども園親進会)
(射水市立新湊中学校PTA)
- 17 石川県 (金沢市立南小立野小学校育友会)
- 18 福井県 (福井市成和中学校PTA)
(福井県立福井商業高等学校PTA)
- 19 山梨県 (北杜市立泉小学校PTA)
(山梨県立ふじざくら支援学校PTA)
- 20 長野県 (暁の星幼稚園PTA)
(大町市立第一中学校PTA)
- 21 岐阜県 (岐阜県立各務原高等学校PTA)
- 22 静岡県 (小山町立駿河小山幼稚園PTA)
(裾野市立富岡第一小学校PTA)
- 23 愛知県 (西尾市立平坂小学校父母教師会(PTA))
(愛知県立緑丘高等学校PTA)
- 24 三重県 (紀北町立潮南中学校PTA)
(三重県立名張青峰高等学校PTA)

目次

- 25 滋賀県 (草津市立笠縫東小学校PTA)
- 26 京都府 (南丹市立八木東小学校PTA)
(京都府立網野高等学校・
京都府立丹後緑風高等学校網野学舎PTA)
- 27 大阪府 (大阪市立瓜破北幼稚園PTA)
(大阪市立阪南小学校PTA)
- 28 兵庫県 (播磨町立蓮池小学校PTA)
(兵庫県立星陵高等学校PTA)
- 29 奈良県 (野迫川村立野迫川小・中学校PTA)
(奈良県立奈良養護学校PTA)
- 30 和歌山県 (有田市立初島中学校PTA)
(和歌山県立和歌山高等学校育友会)
- 31 鳥取県 (認定こども園鳥取第一幼稚園PTA)
(岩美町立岩美南小学校PTA)
- 32 島根県 (奥出雲町立亀嵩小学校PTA)
- 33 岡山県 (新見市立千屋小学校PTA)
(岡山県立岡山盲学校PTA)
- 34 広島県 (呉市立和庄小学校PTA)
(広島県立安芸南高等学校PTA)
- 35 山口県 (山口市立白石小学校PTA)
(山口県立防府西高等学校PTA)
- 36 徳島県 (美馬市立江原認定こども園PTA)
- 37 香川県 (観音寺市立大野原幼稚園PTA)
(香川県立高松北中学校・高等学校PTA)
- 38 愛媛県 (拝志小学校PTA)
(愛媛大学教育学部附属特別支援学校
保護者と教員の会(PTA))
- 39 高知県 (土佐市立戸波中学校PTA)
(高知県立佐川高等学校PTA)
- 40 福岡県 (北九州市立花尾小学校PTA)
(福岡県立戸畑高等学校PTA)
- 41 佐賀県 (小城市立三日月幼稚園父母の会)
(佐賀市立富士小学校PTA)
- 42 長崎県 (諫早市立飯盛東小学校PTA)
(長崎県立佐世保中央高等学校
定時制夜間部PTA)
- 43 熊本県 (南阿蘇村立中松小学校教育会)
- 44 大分県 (日田市立日隈小学校育友会)
(大分県立大分雄城台高等学校PTA)
- 45 宮崎県 (日向市立大王谷学園中等部
保護者会と先生の会)
(宮崎県立日向高等学校PTA)
- 46 鹿児島県 (いちき串木野市立旭小学校PTA)
(鹿児島県立鶴翔高等学校PTA)
- 47 沖縄県 (那覇市立さつき小学校PTA)
(沖縄県立北谷高等学校PTA)



<子供と共に成長するPTA>

所在地: 北海道天塩郡遠別町
 全校生徒数: 児童108名

学校の特徴	明治33年に遠別第一簡易教育所として創立し、開校128年を迎える歴史ある学校である。現在は町内唯一の小学校で、コミュニティ・スクールをとおして、地域の各種団体や近隣の学校と連携した様々な学習を進めている。
地域の特徴	遠別町は、人口2,592人(R2.6時点)の小さな町で、二世帯で暮らす家庭が多い。主産業は、日本最北の米どころとして良質のもち米を生産する農業や、ホタテの稚貝を養殖し生産地に出荷する水産業などの一次産業である。地域住民は、学校教育に協力的で、地域で子供を育てようとする意識が高い。

子供たちの安全・安心のための活動

○標語コンクールの開催

全児童を対象として「愛の一言」と「交通安全」に関わる標語コンクールを主催している。子供たちへの注意喚起のため、最優秀賞に選ばれた作品を校門横の看板に掲示している。低学年の児童に交通ルールをやさしく教える高学年児童が増えるなど、心の教育にもつながっている。



表彰の様子



校門前の標語

○校内の環境整備

毎年春に鉄棒の錆落としとグラウンド遊具のペンキ塗りを行い、秋には子供たちと共に校内のガラス拭きを実施している。



PTAで作成した安全マップ

○交通安全街頭指導

PTAが作成した通学路の危険箇所を記した安全マップを活用し、町民の協力を得て交通安全指導を行っている。すべての交差点に人が立つほど町民から協力を得られており、地域を巻き込んだ活動となっている。

PTA会員の学びのために

多くのPTA会員が管内や地域主催の各種研修会に積極的に参加し、会員相互の情報交流をするなどして学びを深めている。

他機関との連携

学校運営協議会
 (コミュニティ・スクール)
 PTA会長が所属

成果

- ・標語コンクールや交通安全指導により、子供たちの安全を意識した行動につながっていると同時に、地域全体で子供を見守る意識が根付いた。
- ・PTA活動に地域の団体を巻き込むことで、町全体の取組につながっている。
- ・積極的に学校の事業や研修会に参加することで、PTA全体として家庭教育や学校教育支援に対する意識の向上が図られている。

子供たちの学びのための活動

○花壇の苗植え作業

多くのPTA会員が参加し、異学年の班編成をした子供たちと共に苗植えを行っている。低学年の子供たちに植え方を教えるなどして交流を図りながら、環境教育の一助を担っている。



花壇の苗植え作業

○地域産業に関する授業

PTA会員が勤務している漁業組合の協力を得て、地場産業である水産業の見学や、ホタテ調理の指導を通して、地産地消の食育を行っている。



地場産業(ホタテ)に関する授業

○OPTA行事「オペラ鑑賞in遠小」

例年、子供たちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的に芸術鑑賞事業を主催している。子供たちにとって貴重な体験となるとともに、日頃から学校教育に協力いただいている地域の方々も参加していただくことで、子供たちと町民との交流の場となっている。



オペラ鑑賞の様子

課題

児童の減少によりPTA会員数も少なくなり、同様の活動が難しくなっている。PTA活動と学校の授業をどのように連動させていくか、よりよい学校教育を通じてよりよい社会をつくるために、学校との連携をより一層密にするとともに、活動内容を見直していく必要がある。

<子供から学び、保護者と学び、地域と共に歩む>

所在地: 北海道室蘭市

全校生徒数: 143名

学校の特徴	昭和54年に隣接する管内養護学校の分校として開校し、平成3年に現在の室蘭養護学校として改めて開校。知的障害養護学校として地域のセンター的機能を果たしており、看護師の配置により医療的ケアが必要な児童・生徒も在籍している。
地域の特徴	室蘭市は鉄鋼の街として栄え、大きな港湾を持ち、周囲は雄大な自然に囲まれている。学校が所在する域内の住民等の理解も得られ、コスモスロード清掃作業など様々な形で交流活動を深めることができている。
活動内容	総務部は、「muroyouかふえ」「学習会」などを企画し、保護者同士の交流の場を創出している。厚生部は、親子で活動できる体験的な活動を企画しており、昨年度は「登別マリンパーク」への小旅行を実施した。広報部は、広報誌の作成を行っている。 なお、昨年度は、北海道知的障害PTA合同大会を、管内の養護学校PTAと共同開催している。

特徴的な活動・運営体制

本校のPTA活動は、総務部・厚生部・広報部の3つの部門に分かれて取り組んでいます！

総務部企画「muroyouかふえ」

140名を超える保護者。全員参加は無理ですが、校長先生も参加し、気軽に思っていることや感じていることを気軽に話します。例年10名から20名の保護者の方の参加があります。学習会も企画しています。



広報部企画「広報誌たんぽぽ」の作成

みんなのことをたくさん知りたい、発信したい。そんなPTA広報誌。年間3回の発行を目標に取り組んでいます。最終号は、卒業生とその保護者の思いが詰まった温かい広報誌になっています。

厚生部企画「登別マリンパークに行こう」

夏休みに親子で安心して参加できる場所はないかな？「そうだ！みんなで水族館に行こう！」保護者同士や先生方との交流があります。今年も実施に向けて話し合い中です！



○地域住民と連携した取組～コスモスロード清掃作業

校舎前の道路に様々な花が植えられており、地域住民の方々とPTAが協力して清掃活動を行っています。



成果

- ・複数あった部会を総務・厚生・広報の3つに整理したことにより、活動が整理された。
- ・コスモスロードの清掃はPTAのみならず、児童生徒の作業学習の場としても取り入れられるようになった。
- ・保護者や地域住民との話し合いの場を多く設けたことで、建設的な意見や情報を提供していただくことができ、学校の活性化に繋がっている。

課題

- ・広報誌については、子供の個人情報を守る観点から、記述内容や配布先に配慮することが必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、活動の自粛が続いており、どのような活動が望ましいか検討中である。

保護者がイキイキと活動するPTA!

所在地:青森県弘前市
 全校園児数:90名

学校の特徴	本園は明治39年7月、医学士、伊東重 <small>しげる</small> が現地に創設した。本園は創設以来、伊東が提唱した「養生哲学」に従い、木の温もりと温かい家庭的な環境の中で、丈夫な身体とやさしく強い心を育むことを目的として、教育を行っている。敷地内には、幕末に吉田松陰が国事を談じた、市指定文化財「松陰室」を有しており、父母の会の活動「養生ママ塾」でも活用されている。
地域の特徴	市の中心部に位置し、周辺には市役所・裁判所等の官公庁が立ち並び、桜の名所、弘前公園をはじめ、弘前城、藤田記念庭園など多くの史跡があり、観光資源にも恵まれている。園児は近隣地域のみならず市内外の広い範囲から通園しているが、園では地域の老人福祉施設や消防署等を訪問し、絵画をプレゼントしたり歌やダンスを披露するなど、地域との結びつきは強い。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

楽しく学ぶ場「養生ママ塾」

PTA会員の学びの場及び相互の親睦を目的として「養生ママ塾」を開催している。研修内容は、市指定文化財「松陰室」を会場とした写経や日本茶講座、タヒチアンダンス等の趣味・教養的なもののほか、保護者向けコーチング教室等の学習的な要素の強いものまで多岐にわたっており、会員は互いの親睦を深めながら学習活動に取り組んでいる。



「ねぶた運行」での全面サポート

70回の歴史をもつ「養生幼稚園ねぶた運行」では、保護者と教員間で綿密に打合せを行い、PTAが会員向けに「運行協力マニュアル」を作成している。当日は、会員一人ひとりがマニュアルに従いながら、主体的にねぶた運行に協力している。



活動を支える「クラス代表役員」

役員（会長・副会長・監事）及びクラス代表役員がリーダーシップをとりながら活動を展開している。特にクラス代表役員については、その充実した活動ぶりが評判となり、約3分の1の保護者が進んで役割を引き受け、本会の活動の原動力となっている。

成果

○「養生ママ塾」や「養生幼稚園ねぶた運行」など、会員はその準備を含めて活動を楽しんでいる。これにより、活動内容がより充実するとともに会員相互の親睦が深まり、保護者と教職員との連携が一層強化されている。また、保護者による園の教育活動への理解が深まり、その充実が図られている。

課題

○母親の就業率が高く、日中の父母の会の活動は難しい状況にある。活動が過度な負担にならず、また会員がともに成長する場としてより効果を発揮するよう、実施時期や活動内容を工夫する必要がある。

学校・家庭・地域が一体となった活動の充実！

所在地:青森県青森市
全校生徒数:351名

学校の特徴	本校は昭和35年4月に創立し、今年で60周年の節目を迎える。昭和42年に当時の生徒会が制定したモットー「ルールを守り 励まし合い 無限の道を歩もう」は、半世紀以上を経た現在も脈々と生徒に受け継がれている。地域の恒例行事「甲田地域ねぶた」では、PTAねぶた委員会が笛や太鼓等の囃子の指導をするなど、地域の伝統継承の一翼を担っている。
地域の特徴	本校の学区は青森市中心市街地に隣接する住宅街に位置しており、33町会を有する。学区の町会長や本校の元PTA関係者等で構成されている「部活動振興会」が中体連壮行式で選手に激励のメッセージを贈るなど、地域は学校の教育活動に協力的である。
活動内容	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">特徴的な活動・運営体制</div>

「甲田地域ねぶた」運行

学区内の複数の町会が共同でねぶた運行を行っている。本校では、PTAねぶた委員会が中心となり、中学生を含む地域の子どもたちを対象として、笛や太鼓等のねぶた囃子の指導を実施している。

地域と連携したねぶた運行は、以下の効果を生み出している。

- ① 祭りの魅力のみならず、生まれ育った地域の歴史や文化を体験的に学ぶ場を提供するほか、伝統行事の継承
- ② 家庭だけで子どもを育てるのではなく、地域が見守り、関わり、育てていくという意識の向上



登校時見守り活動

PTA校外生活指導委員会が中心となり、新学期や春・秋の交通安全運動期間に合わせ、4カ所で見守り活動を実施している。昨年度は各箇所に2人の保護者が5日間、延べ40人が参加した。これにより、生徒の交通安全に対する意識高揚が図られている。かつては教員が行っていた活動であるが、PTAが地域学校協働活動の一環として行うことで、学校の働き方改革の一助ともなっている。



家庭教育学級

4つの小学校から生徒が集まる本校は、会員の充実した学びに加えて、互いの親睦も目的として家庭教育学級を開催している。

ガーデニング教室、ハーバリウム教室など、幅広く趣味的なテーマを設定することで、多数の会員が参加し、気軽に情報交換できる場となっている。

成 果

- 活動の様子を掲載したPTA広報誌を学区内に毎戸配布するほか、本校のホームページやメール配信システムを活用して積極的に情報発信することで、PTA活動への理解が深まった。
- 保護者や地域に積極的にPTA活動への参加を働きかけることで、互いの交流が深まり、学校・家庭・地域のつながりが強化され、地域の子どもの地域で育てるという意識が深まった。

課 題

- 近隣の小学校PTAとの連携を深めることで、本会の活動の幅を一層広げるとともに、地域全体の教育力向上につなげる取組の在り方を検討すること。
- 生徒の成長を後押しするための学校・家庭・地域・行政が連携する仕組みを構築すること。

<心豊かに たくましい子の成長を願って >

所在地: 岩手県奥州市胆沢小山字後大畑
 全園児数: 28名

園の特徴	本園は、昭和62年4月1日に設立し、園児数160人を超える胆沢町時代から、県・町教委の研究指定の公開研究会を例年のように進め、胆江地区の幼稚園教育先進園であった。地域との連携、協力を大切にしながら、平成13年度からは、伝承芸能「堀切ばやし」の継承、平成15年度から「老人ホームへの慰問活動」、平成16年度から「防火パレード」への参加、赤い羽根街頭募金活動などを行ってきている。
地域の特徴	奥州市は、平成18年2月20日に合併。現在人口は、115,133人。小山地域は、嘗ての胆沢町に属し、胆沢地区の中でも世帯数が2,454世帯と地区内でも一番多い人口である。自然に恵まれた地域で、胆沢平野の広大な農作地として発展してきている。兼業農家で、三世代家族が多く、歴史と文化の継承である郷土芸能も盛んに行われている。少子高齢化の傾向が伺え、あらゆる分野に影響が出てきている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

○組織の構成・運営状況

* 組織の構成

- ・3部体制(教養部・環境部・広報部)と学年PTAを基盤にそれぞれの活動を計画的に進めている。
- ・各部には、会長を始めとした役員がそれぞれの部に所属し、活動推進の助言、支援を進めている。

* 運営状況

- ・父母学級、祖父母学級の「教育後援会」の開催、運営(教養部)
- ・広報「あおぞら」の編集・発行(広報部)
- ・環境整備(年3回)・園庭花壇づくり・プール組み立てと撤去作業(環境部)
- ・親子遠足、夏まつり、運動会等の協力(学年PTA)
- ・医師による歯科指導(3歳児は、例年学年PTA行事として実施)
- ・図書ボランティアによる図書環境整備
- ・花壇の花苗の植え込みボランティア

○活動の工夫並びに教育への関心の高さ

- ・園児数の減少により、PTA会員の組織活動にも影響がみられることから役員・会員がいずれかの部に所属して活動を行っている。
- ・子どもの教育に関心の高い会員が多く、園行事への参加率は100%で園行事への協力も大変積極的である。
- ・福祉協力への意識も高く、社会福祉協議会主催の募金協力、書き損じはがきの協力などでも多数の協力をいただいている。



○地域とのつながりを深める取組み

* 地区センター祭への参加協力

- ・ステージ発表への出演(園での伝承芸能活動の「堀切ばやし」(年長・年中)の披露)
- ・園児創作作品の出展の協力

* 教育振興運動への参加

- ・奥州市教育振興運動推進協議会の教育推進運動の一環としての地域ぐるみでの子育て推進に関わり、小山地区では、31の実践班が組織され、各団体連携を図りながら活動を進めている。小山東幼稚園PTAもこの運動に参加・協力を行っている。



○その他の活動

- ・夏休み、冬休み中のくらしに関わる園発行の「生活チェック表」への取組
- ・「小山東幼稚園まなびフェスト」における家庭での取組
- ・PTA会報「このゆび と〜まれ」の発行

成果

- ・父母と教師が協力して、課題を設定し、手立てを工夫しながら、相互が理解し合う中、計画どおり活動を進めることができた。
- ・子ども達の成長を活動を通して見て見たり、知ったりすることができ、有意義な活動ができた。

課題

- ・会員数の減少により、各専門部の活動内容や活動規模などを協議して行くことが大事である。

<よき父母・よき教職員となり、力を合わせて子どもたちのために>

所在地:岩手県遠野市松崎町
全校児童数:313名

学校の特徴	昭和46年に松崎小学校、駒木小学校、遠野小学校の一部が名目統合したことから始まり、2年後の昭和48年、現在の場所に新校舎が完成した。今年度は創立50周年を迎える。薬研太鼓を中心とした表現力を高める教育活動の推進を図っている。
地域の特徴	遠野盆地の中心に位置し、松崎町全区と遠野町の一部を学区としている。横田城址、松崎観音、母也明神など遠野物語にまつわる史跡も数多く点在している。水田・畑作地域の宅地化、商業地域としての再開発が進み、市街地化が拡大している。
活動内容	図書ボランティアや地域住民による体験活動への支援も多く、地域の教育に対する理解と関心が高い。 【主な活動】・PTA総会 ・あいさつ運動 ・環境整備作業 ・給食試食会 ・ソフトバレーボール大会 ・防火みこし ・PTA 広報作成 他

特徴的な活動

○あいさつ運動(健全育成)

学校、家庭、地域の連携で「地域で明るい声であいさつのできる子どもたちを育てる」ことを活動方針の重点項目の一つとし、あいさつ運動を実施している。PTA三役と10地区の地区PTAにより、毎月第3月曜日、学校正門前にて、明るく児童に声をかけると共に、横断歩道の渡り方の様子についても観察し、声かけを行っている。



○各専門部による活動

保健・教養委員会による給食試食会や栄養教室、補導委員会による心肺蘇生法講習会、体育・厚生委員会によるソフトバレーボール大会など、学習やレクリエーションの機会を設けることにより、会員同士の交流を図り、PTA活動への理解を深め円滑に活動を進めることができるように計画をしている。PTA広報は平成30年度県PTA連合会広報コンクール優良賞、令和元年は奨励賞を受賞。



◇北小防火みこし◇

学校、PTA、消防署との連携により、「北小防火みこし」として遠野まつりに参加している。郷土の祭りに積極的に参加させることと、伝統行事を体験させることを目的とし、30年以上の歴史と伝統がある。



◇創作太鼓「薬研太鼓」の伝承◇

6年生から5年生へと代々伝承される薬研太鼓。地域のお祭りやイベントへの出演要請もあり、PTAの支援により、児童にたくさんの演奏経験をさせている。



成果

- ・学校創立50周年を迎えるにあたり、記念事業実行委員会をPTAが主体となって立ち上げることができ、様々な記念事業に向けた計画を立案することができた。
- ・PTAのみならず地域教育協議会、老人クラブ等の協力もあり、児童の健全育成に向けた様々な活動を展開することができた。

課題

- ・全体として連携、協力体制はとれているが、活動への負担感を感じている会員もいる。魅力的な活動、活動の充実をさらに図っていく必要がある。

<地域とともに歩むPTA活動>

所在地:宮城県仙台市宮城野区五輪
 全校生徒数: 674名

学校の特徴	昭和5年仙台宮城野高等小学校を起源として、宮城野国民学校、仙台市立第六中学校を経て、昭和24年に仙台市立宮城野中学校に改称された歴史のある学校である。「あたたかさ」「きびしさ」「たくましさ」を目指す生徒像とし、PTAと地域・学校が連携・協働した教育活動に取り組んでいる。
地域の特徴	仙台市中心部、楽天生命パークや榴岡公園近隣に学校がある。学区には、古くからの奥州街道の宿場町や苦竹駐屯地などの他、仙台駅東口の開発や幹線道路の整備に伴い高層マンションが数多く建設されている。このため県外からの転入生が多く、生徒が年々増加している。
活動内容	学校・地域各団体と連携・協働し、年2回、小学生児童のための「ワイワイ祭り」を企画・運営している。また地区ごとのチームによる「地区親睦バレーボール大会」をこれまで54回開催し、会員の親睦を図ってきた。さらにPTAバザーを毎年開催し、収益で生徒達の学習支援や生活環境支援を行っている。

特徴的な活動・運営体制

〇つつじがおかワイワイまつり

夏と冬の年に2回「榴岡かいわい学びのコミュニティーづくり推進事業」の一つとして地域の小学校児童向けに開催されているイベントである。

このイベントには、本校PTAが学校支援地域本部、学校区内小学校、宮城野区中央市民センター、榴岡市民センター、生涯学習支援センター、高校・大学のボランティアなど、地域の様々な団体と連携・協働して企画・運営を行っている。

地域で活動している団体の発表や、「巨大紙相撲」などのイベントや、各種出店など、低学年から高学年まで楽しめるように、内容が工夫されている。



〇地区親睦ソフトバレーボール大会

会員相互の親睦を図るために、保体委員会主催で本校体育館で毎年9月に実施されている。

令和元年度の大会で54回目を数える歴史ある大会である。14地区の14チームで熱戦が繰り広げられ、毎年100名を超える参加者がある。



〇学校支援や家庭教育支援の取組

◇宮中PTAバザー◇

本校武道館を会場として、制服のリサイクル、バザーへの協力品、食品や飲み物などを販売し、その収益を子どもたちの学習支援や生活環境支援のために運用している。



〇生活指導に関する取組

「子どもたちが安心して過ごせる地域づくり」のもと、他団体と連携しながら榴岡天満宮例大祭、どんと祭、陸上自衛隊仙台駐屯地夏祭りなどの巡視活動や清掃活動を行っている。

〇その他の活動

授業の中では学校支援地域本部が中心となり、書道の指導、着物の着付け、魚のさばき方等の支援を行っている。

成果

〇「つつじがおかワイワイまつり」のように他団体と連携・協働し行事を企画することで、児童生徒と様々な地域団体との交流の場となり、地域全体で地域の子供たちを育てていく意識を醸成している。

〇学校・地域・PTAが連携・協働して活動することで、生徒たちが安心・安全に生活できる環境を作ることに寄与している。

課題

〇時代とともに生活様式が変化していく中で、歴史のある活動をどのように継続して発展させていくか、地域の関心を高め、役員の負担軽減を図る方法を検討していく必要がある。

「夢をいただき 笑顔一番！」みんなとともに育むPTA活動

所在地: 秋田県大仙市
全校児童数: 68名

学校の特徴	公立学校としては国内で唯一パイプオルガンを有し、音楽活動を大きな特色とする学校である。昭和36年に始まった全校音楽活動は、今では「全校オーケストラ」と呼ばれ、学校と地域に定着している。
地域の特徴	秋田自動車道の大曲インターチェンジに接続する国道105号線が地域を縦貫している。沿道には誘致工場等の建設が進み、交通量が増加してきている。地区には、大曲田園都市総合環境整備事業により、レクリエーション・スポーツ・文化活動が複合的に展開できる総合公園が整備されている。
活動内容	<div style="background-color: #00c080; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">特徴的な活動</h2> </div>

「学校・家庭・地域のふれあい」

- ・公民館祭「ウエストフェスタ」では、地域の方々と交流した。また、敬老会では会員の方々と交流演奏会を行った。
- ・農園活動では、老人クラブや保護者等、毎年たくさんの方々の協力を得ている。



「PTAが支える楽器まつり演奏会」

- ・年1回大曲市民会館で行われる「楽器まつり演奏会」は、多くの保護者がスタッフとして協力し、地域の方々もたくさん訪れ、地域を元気にする行事となっている。



「PTA専門部の活動」

- ・PTA研修部は「パイプオルガンコンサート」の運営、体育部はクリーンアップと資源回収、校外指導部は交通安全教室への協力と通学路点検の実施等、各専門部の活動が積極的に行われている。



成果

- ・地域や家庭の協力の下で、たくさんの体験的な活動を行うことができた。
- ・地域や家庭、小・中連携の活動を通してつながりが一層深まり、協働の意識が強固なものとなってきている。

課題

- ・長期継続している取組については趣旨を再確認し、マンネリ化を防いでいく必要性を感じている。

【秋田県教育庁生涯学習課】

< 郷土の元気をつくるPTA活動 >

所在地: 秋田県大仙市
 全校生徒数: 生徒499名

学校の特徴	秋田県最初の農業高校として、明治26年の開校以来、128年の歴史を歩み、様々な分野に3万人を超える人材を輩出してきた。本校は、農業科学科、食品科学科〔フードサイエンス専攻、フードビジネス専攻〕、園芸科学科〔フラワークリエイティブ専攻、バイオテクノロジー専攻〕、生活科学科〔ヒューマンサービス系、ライフデザイン系〕の4つの学科において、各分野における基礎的・基本的な知識の習得、技術の定着を図りながら、地域社会の発展に寄与する人材の育成に力を入れている。
地域の特徴	本校は、米どころ秋田仙北平野の中心にある大仙市大曲に位置し、近くには雄大な雄物川が流れ、自然豊かな環境にある。その河川敷では毎年夏に全国花火競技会が開催され、大仙市大曲は「花火の街」として有名である。 また、地域の農業経営者や地元の企業経営者の中には本校の卒業生も多く、本校の教育活動やPTA活動に積極的に協力する土台がある。

特徴的な活動・運営体制

「学校行事や地域交流の活性化」

○大農祭（学校祭）における

「PTA企画 ドン菓子づくり」

連携先の県立農業科学館からドン菓子機を借り受け、生徒が栽培したお米からドン菓子をつくり来校者の方々に振る舞う農業高校ならではの催しが企画されている。

PTA会員が主体となり、当日は生徒や地域の方と交流し大きな盛り上がりを見せている。



○「早苗振（さなぶり）」への参加

田植え後、豊作を願う伝統行事である早苗振に、PTA会員が地域の方々とともに参加し、生徒との交流を深めている。

「学校や地域の環境改善」

○「大曲の花火」翌日のクリーンアップ

地域のイベントである「大曲の花火」の翌日、会場周辺（校地内含む）をPTA会員・教職員・生徒でクリーンアップを行い、環境整備に努めている。

○JR大曲駅前「マナーアップ運動」

JR大曲駅前で、PTA会員・教職員が一緒になって、登校する生徒に声掛けや挨拶を行う「マナーアップ運動」を実施している。生徒の駅での様子を把握するとともに、公共の場の使用について声掛けを行い、マナーの向上につなげる取組を展開している。



【教育活動の理解および情報共有】

○農業体験「PTA研修会」の実施

研修部のPTA役員及び教職員が企画した「PTA研修会」を会員を対象に毎年実施している。「イチゴのジャムづくり体験」や「リンゴのもぎ取り体験」等、日頃、生徒たちが学んでいる農業実習を疑似体験できる機会として、多くの会員の参加を得ている。



○各種会議への参加

「学校評価会議」や「学校保健委員会」等、各種会議にPTA会員も参加できる形式をとることで、効果的な相互理解、情報共有等につながっている。

成果

- ・学校行事とPTA関連会議等を同日開催にするなど、保護者（会員）が参加しやすい体制にしたことで、学校行事等の盛り上がりはもちろん、PTA活動のPRにもつながった。
- ・学校の様子を知る機会を増やしたことで、保護者（会員）と教師側の相互理解につながり、協力体制が強固なものとなった。

課題

- ・各活動への参加者が、PTA役員中心になっているため、より多くのPTA会員に関わってもらう工夫が必要である。

「共に遊び 共に笑い 共に育ち合う（共育） ふれあいPTA」 を合言葉にした会員による自主自立のPTA活動

所在地：山形県東根市
全校生徒数：714名

学校の特徴	市内近隣小学校の児童数増加に対応するため、平成23年4月に開校された新設校である。開校当初は547名であった児童数も10年目を迎えた令和2年度は、714名と増加傾向にある。開校当時から「児童会活動」に力を入れており、「なかよし班活動（縦割り活動）」や運動会における「全校表現」、「全校芋煮会」など特徴的な活動も多い。新設校ではあるが、PTA活動同様、子どもたちも主体的で活発な活動が展開されている。
地域の特徴	山形県内においても有数のくだもの生産地で、特にさくらんぼは有名である。開校当時は学校周辺部もさくらんぼをはじめとした果樹地帯であったが、最近では新しい住宅地が造成され、若い世代でしかも核家族化傾向の割合も高くなっている。従来、学区である神町地区は開拓団として入植した方々の努力により開墾された地域であり、「開拓魂」が強く、地域力の高いところでもある。元々の地域住民と、新しい居住者をつなぎ、地域コミュニティを高める役割をPTA活動が担っているという点が、地域づくりを進める上での特色となっている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

- ◎ 自立したPTAの幹となる組織構成
 - ・総務部員は基本6年間の継続性（PTA活動の中核を担う一人としての自覚の育成）
 - ・各種専門部、学年部ごとの、部長を中心とした、創意工夫された活動の推進
- ◎ 学習支援への取り組み
 - ・PTAを母体とした「読み聞かせボランティアサークル：ぶーけ」による読み聞かせ会の開催（毎月1～2回程度）や図書室の掲示、整理整頓などの環境整備（令和元年度：全国読書活動推進優秀実践校「文部科学大臣賞」受賞）
 - ・体験交流学習の支援（校外学習への活動協力やキャリア教育等への指導支援、各種大会での準備協力等）
- ◎ 家庭教育力向上のための実践
 - ・家庭教育支援にかかわる「子育て講演会」の計画的な開催
 - ・中学校と連携した、家庭における「ノーメディア」や「生活リズム」の活動実践
- ◎ 安全な環境づくりの実践
 - ・交通安全標語看板の作成と掲示 ・6年PTAによる週1回の学区内パトロール
 - ・神町中学校区3校の連携重視（3校合同三役会の開催、6年生親子交流会の実施等）
- ◎ 会員の意識や意欲を高める実践
 - ・休日を利用しての各学年ごとの「親子ふれあい活動」（例：1年「親子ミニ運動会」3年「親子自転車教室」等）
 - ・PTA親睦ボウリング大会の開催 ・年2回のPTA広報誌「きずな」の発行



- 地域住民と連携した取組
 - ◇安全見守り活動や健全育成の活動
 - ・隊員：3地区 合計280名
 - ・登下校時の安全点検
 - ・危険箇所への対応
 - ◇伝統行事となった「全校芋煮会」
 - ・地域の方による活動地の整備活動
 - ・学校支援の方を招待して感謝の会



成果

- ・開校10年目の学校ではあるが、活動に前向きな会員が多く、自主自立的なPTAの形が新しい伝統として形作られてきている。
- ・会員の意識や意欲を高める様々な実践を通して、会員相互の親睦の輪も広がってきた。
- ・保護者の前向きさが、子どもの学びや活動に対する意欲の高まりにもつながっている。

課題

今後も、初めて会員となる保護者も増えてくる状況を鑑み、会員一人ひとりがより参画意識を持てるような「企画の実施」や「組織の雰囲気づくり」に努めていかなければならない。

【山形県教育委員会生涯教育・学習振興課】

<地域の未来を支えるPTA活動 >

所在地 山形県山形市
 全校生徒数: 531名

学校の特徴	大正10年竹田裁縫女学校として発足し、令和3年度創立100周年を迎える。「健康」「誠実」「友愛」の校訓のもと、普通科・商業科・衣創科の3学科6コースを設置し基礎学力の充実を図るとともに、あらゆる場面で「思考力」を養成し、「人間力」を高め「地域の未来を支える人間の育成」に努める。
地域の特徴	人口約25万人の県都で、四方を山々に囲まれた自然豊かな都市である。蔵王や山寺などの観光地を有する他、米やさくらんぼ、ラ・フランスをはじめとする果物、そばや山形牛、地酒など全国に誇れるものも数多くある。2019年に中核市となり、市制施行130周年を迎えた。学校は、市中心部にある国指定史跡山形城(現霞城公園)の西側の住宅地にあり、自治会や地区内の団体などとの連携が図られてきた。
活動内容	会員の加入状況は全員加入である。役員は会長1名、副会長3名の他、常任理事、理事、監事、幹事がそれぞれ若干名と顧問で構成されており、年2回の理事会と年1回の総会を開催している。PTA主催の各クラス・学年で年1回の研修会と懇親会を開催し、生徒の健全育成に努めている。3年に1回PTA主催の講演会を開催し親子での教養を深める取り組みをしている。また、歴代PTA会長との研修会と懇親会を年1回開催し地域への啓発活動を高めている。

特徴的な活動

地元企業にて4日間インターンシップを実施。PTAとして多方面に依頼し実習場所の開拓に協力している。一般PTA会員も実習可能箇所の情報収集を継続的に行い、生徒のキャリア教育に協力している。



かけはしの会

学校所在地の城西地区にある子育てや障がい者の施設と地域住民、本校インターアクト部、PTAで発足した。「城西カレー祭り」を開催し、各団体の紹介や山形警察署主催の交通安全体験・バルーンアート作りで、親睦と相互理解交流を深めた。



震災復興支援活動

2011年から毎年、夏季休業中に実施している。参加した親子は改めて「家族」「感謝」「絆」の大切さを実感した。家庭生活や学校生活の充実に役立ち、毎年開催の要望があった。



成果

- ・学校行事への積極的参加や関わりを通して生徒の育成「共育」が浸透している。
- ・生徒の進路希望が多様であり様々な場所でPTAとして支援が求められる。進学については追加的指導が必要であり、模擬試験や進学補講の開催を支援しキャリア教育につながっている。結果として進路指導に対する保護者の満足度は概ね高い。

課題

- ・PTA会員の負担軽減と継続の方策について検討していく。
- ・行事に参加しなくなるPTA活動の構築。

<温もりのある幼稚園をめざして！>

所在地: 福島県白河市
 全校園児数・・・25人

学校の特徴	昭和45年創設。『豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども』を教育目標とし、家庭や地域社会、小学校等との連携を生かした特色ある幼稚園を目指している。
地域の特徴	福島県の南、白河市の中央に位置し、国道4号線や東北自動車道路が近くを走っているが、高台にあることなどから静かで自然にも恵まれた環境にある。小田川地区全体で子育てを見守ろうという姿が見られる。



【メディアコントロールで家族団

レベル1	レベル2	レベル3
<ul style="list-style-type: none"> メディアの接触は1日1時間 	<ul style="list-style-type: none"> メディアの接触は1日30分 	<ul style="list-style-type: none"> 家に帰ってからメディアに接触しない

○食事の時は、メディアを消す(朝・夜)
 ○毎週水曜日は、一日中、ノーメディア
 ○「メディアコントロールおよび生活習慣記録」というファイルを作成し、毎日親子でチェック
 ○毎週木曜日と月初め、担任へファイル提出

【家庭教育学級】

○子育てについての教養を高める
 ○家族のふれあいを深め合う方法を探る
 ○親同士が協力し合って子どもの成長に望ましい取り組みを行う

月	内容	参加率
5月	親子ダンス	100%
6月	歯科指導	100%
9月	親子ふれあい会	100%
1月	笑いヨガ	100%

※PTA役員を中心とした協力体制の充実

【絵本の会による読み聞かせ会】

平成11年に「子どもたちがもっと絵本に興味をもってほしい」という願いからPTA活動の一環として「絵本の会」が発足

月	内容
4月	・「絵本の会」入会募集(13名入会)
5月	・第1回「絵本の会」開催(年間計画作成)
6月	・絵本読み聞かせ会(年間11回実施) 1回3クラス・各1名が10分間実施
1月	・保育参観で保護者による読み聞かせ
2月	・絵本の会総会

※家庭での読み聞かせにつながっている

※メディアコントロール、家族全員で効果UP!

【小学校PTAとの連携】

- ・幼・小合同運動会(5月)
- ・幼・小早朝奉仕作業(6月・9月)
- ・小学校「親子の集い」(9月)
- ・ひな祭り餅つき会(3月)

【地域との連携】

- ・エコキャップ運動
- ・和太鼓体験教室

成 果

- ・絵本の会の読み聞かせ会をきっかけにして、家庭での読み聞かせが行われるようになった。
- ・食事時間にテレビを消して食べることにより、食への関心も高まり、家族で話題を共有できたり、会話を楽しんだり、互いの理解が深まった。
- ・PTA役員のリーダーシップにより、保護者がPTA活動をより楽しもうという意識が高まり、園全体(職員・園児・保護者)で楽しみを共有することができた。

課 題

- ・園児数が減少傾向にあり、保護者の協力なしではPTA活動が成り立たなくなる中、家庭の状況も考慮し、活動形態や方法など、柔軟に考えていかなければならない。

【福島県教育庁社会教育課】

< P T A ・ 地域との連携による教育活動の充実 >

所在地: 福島県田村郡三春町
 全校児童数: 63名

学校の特徴	国の天然記念物に指定されている「滝桜」が学区にある本校は、「心豊かで自立的精神に満ち、限りない創造を求めて『輝く子ども』の育成」を教育目標とし、地域の特色を生かした創意ある教育課程と、家庭、地域社会との連携を大切にした教育活動を展開している。
地域の特徴	中郷地区は、三春ダムにより形成された「さくら湖」そして、国の天然記念物・日本三大桜である「滝桜」がある。「滝桜」以外にも約3,000本の桜が咲き誇る「さくらの公園」などもあり、春には特に多くの観光客が訪れる町の一大観光地となっている。
活動内容	「滝ザクラを守る会」の活動や学校に隣接する公民館長をコーディネーターとした「田植え・稲刈り」「縄もじり・しめ縄づくり」等の地域交流学习、そして地域全戸による奉仕作業やPTA専門委員会の活動等、学校・家庭・地域の連携を密にした取組を展開している。

PTAが連携した特徴的な活動

滝ザクラを守る会



ゴミ拾い・PR活動 種拾い・種洗い 種植え

<滝ザクラを守る会>

地域の宝「国の天然記念物 滝桜」を守る地域の保存会や歴史民俗資料館、役場等と協力し、郷土に対する愛着と誇りを育てることを目的に、昭和57年から「滝ザクラを守る会」の活動が本校の特色ある教育活動の一つとして行われている。

◎主な活動

<4月>ゴミ拾い、パンフレットを作成し、全国からの観光客へのPR活動。 <6月>滝桜の種拾い・種洗い。 <2月>種植え。いずれも天然記念物という点から役場等の協力が不可欠。また、これまで、スペースシャトルにて8ヶ月間宇宙に滞在した滝桜の種を植えたり、イギリス、アメリカに種を寄贈したりした。卒業生は先輩が植えた滝桜の苗を卒業記念として持ち帰り、各家庭にて滝桜の子孫を育てている。



田植え～餅つき・縄もじり・しめ縄づくり



田植え 稲刈り 餅つき

<米づくり>

中郷まちづくり協会及びPTAが協力し、田植え、稲刈り、収穫祭を実施している。

<縄もじり・しめ縄づくり>

地区の老人会の方々を講師として、縄もじり・しめ縄づくりを実施している。収穫祭と併せて開催することで地域の方への感謝と交流の機会となっている。

※ 隣接する公民館長がコーディネーターとなることで、地域との交流が図られている。様々な地域交流学习が実施され、充実した教育活動が展開されている。



しめ縄づくり



○その他の活動

<地域ぐるみでの奉仕作業>
 年2回、中郷まちづくり協会を中心に地域住民及び隣接する幼稚園と協力し、学区内全家庭が参加して実施している。地域住民とPTA会員の交流により地域全体で子どもたちを育てていこうとする風土につながっている。

<PTA専門委員会の活動>

PTAすこやか委員会では、危険箇所及び緊急避難所のマップを作成し子どもの安全確保に努めている。さわやか委員会では、会報「なかさと」を計画的に編集し、発行している。

<家庭との連携>

各家庭に「なかさとつ子キャッチフレーズ」の取組への協力依頼をすることにより、子どもの生活習慣の改善に成果を上げている。

奉仕作業



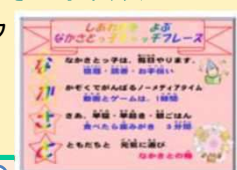
危険箇所マップ



会報 なかさと



なかさとつ子キャッチフレーズ



成 果

- ・学校と家庭、地域が連携して子どもの健全育成に取り組むことで、子どもたちの教育活動の充実とコミュニティ・スクールの展開に寄与している。
- ・教育目標にある『輝く子ども』の具体像である「輝くこころ(思いやり・やさしさ)」「輝くひとみ(確かな学力・表現力の向上)」「輝くからだ(粘り強さ・たくましい身体)」の育成に寄与している。

課 題

- ・会員数の減少が進む中で、PTA活動の充実をはじめ地域住民とのさらなる連携を図り、子どもたちの教育活動がより一層充実していくよう努めていかなければならない。

学校・家庭・地域社会の連携を深めるPTA活動 — 児童の豊かな人間性を培うために —

所在地： 茨城県鹿嶋市大船津
全校児童： 児童47名

学校の特徴	昭和23年に創設され、神宮橋のたもとに位置する小規模校である。全児童を全教職員が全力でサポートする体制が整い、学区外の児童も受け入れている。全てのPTAが各専門委員会に所属している。豊津まちづくりセンターや子ども会育成会主催の行事等に対し、PTAが各種団体間の橋渡し役としてスムーズな運営に努めることにより、PTAを核とした地域活動の活性化を図っている。
地域の特徴	児童の豊かな人間性を培うために、豊津まちづくりセンター・地域・各種団体と積極的に連携して取り組んでいる。地域・小学校・中学校合同避難訓練での避難経路の確認、おおふなつ自警団による下校指導の協力、スクールサポーターによる「田植え・稲刈り体験」「豊津読書会(葦の会)」の実施等、保護者や祖父母、地域の方々たちとの様々な活動を通して、全ての児童が地域から愛されていることを実感できる地域である。
活動内容	「とよつキッズ」のリトルファームの活動、地域住民と合同の「とよつふれあい運動会」や「とよつ祭り」の実施、豊津まちづくりセンター主催の北浦一周サイクリング・ほたる学習会・見学会の親子参加・親子スキー体験・とよつかるた大会等への参加、敬老会主催のクリスマス会へ全校児童が参加など継続的に実施している。

特徴的な活動・運営体制

- 児童の豊かな人間性を培うための全PTA参加型専門委員会
大きく3つの組織に分かれ、本部役員会、広報委員会、文教・厚生委員会がある。学年単位を柱に6つのグループに分かれ、学年に一人ずつグループ長がおり、仕事の内容を分担して運営を行っている。
- PTAを核とした地域活動の活性化
積極的な情報交換を行い、学校・家庭・地域の連携協力体制の強化を進めるため、研修テーマを決め、児童の安全確保や生活改善に向けた「AED」「感染症予防」「がん教育」等の講習会、豊津まちづくりセンター主催の行事への積極的参加などPTA活動を進めている。
地域合同のとよつふれあい運動会を実施。



スクールサポーターの活動



とよつふれあい運動会

児童が地域から愛されていることを実感できる地域行事

- ・1年を通して「とよつキッズ」として、リトルファームを運営。トウモロコシの苗植えや除草作業、つる返し、収穫祭を実施。
- ・霞ヶ浦浄化キャンペーンとして、北浦一周サイクリングを実施し、環境保全の呼びかけ運動をしている。
- ・豊津まちづくりセンター主催の「とよつ祭り」に参加協力。PTAは模擬店を運営し、児童は学習発表や展示会で交流。
- ・「とよつかるためぐり」で歩きながら豊津の歴史を巡り、その後「かるた大会」に参加し、もちつき大会を行う行事に参加。
- ・敬老会「うらら会」主催のクリスマス会に全児童が参加。
- ・スクールサポーターによる、「田植え・稲刈り体験」「豊津読書会(葦の会)の読み聞かせ」の実施。



北浦一周サイクリング



とよつ祭り



とよつかるためぐり・かるた大会

成果

- ・おおふなつ自警団の下校時の協力やPTAの立哨指導等により交通安全や不審者対策に対する意識や地域で子どもを守ろうという意識が高まった。
- ・地域の多くの行事に子供たちが参加して、地域で子供たちを育てていこうという気運が高まった。
- ・スクールサポーターの協力により、児童が地域の方々から褒められ、認められることが増えたことが、子ども達の自信に繋がっている。

課題

- ・交通安全・不審者対策・自然災害等の安全確保など、命を守る活動はやりすぎるということはない。今後もPTAとしての安全確保の在り方を模索していきたい。
- ・地域と学校が更に密にしていけるために、PTAの存在は大きい。どのような積極的な関わりをしていけばよいかPTAとして研修を深めていく必要がある。

< 生徒を側面から支えるPTA活動 >

所在地：茨城県下妻市下妻乙226-1
 全校生徒数：833名

学校の特徴	<p>本校は、1897年（明治30年）に茨城県2番目の旧制中学校として開校し、平成29年には創立120周年を迎えた。代表的な学校行事に兄弟校水海道一高との定期戦がある。戦後間もない昭和22年に、スポーツによる教育の復興を目的として開催されて以来、現在83回（73年）を数える他に例のない歴史を誇る両校の伝統行事である。過去には常総の早慶戦として、メディアにも取り上げられた。3学年21クラス、生徒数は833名で、ほとんどの生徒が四年制大学進学を志望し、文武両面の充実を求め、遠方より通学する生徒も多く、通学区域は多岐にわたっている。</p> <p>「文武不岐」をモットーに、県西地区の教育の中心を担う進学校であり、令和4年度からは、併設型付属中学校が開校する。</p> <p>本校校歌に『為櫻の旗のさす所、光を宇内（うだい）（世界）に輝かせ』と謳われているように、平成26年度から、世界に目を向け、国際社会に貢献できる人材を育成すべく、「世界に輝け為櫻学園『光』プロジェクト」をスタートさせた。また、平成28年度から県の「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の重点校にも指定され、令和2年度からは県立高校等チャレンジ・プロジェクトの強化校として、「下妻」発「世界」へ為櫻学園『光プロジェクト』として継承している。</p>
地域の特徴	<p>地域の人たちの下妻一高への期待・関心は高く、地元卒業生も多く在任している。</p>
活動内容	<p>本部役員会を年3回行い、PTA・後援会・支援会についての企画を行っている。各学年委員会では、修学旅行の選定、学年会計等について審議している。学年PTAも年2回実施し、進路情報・生徒指導情報等について情報交換を行っている。支部PTAの活動も盛んで、情報交換を密にしている。</p>

○進路実現に向けた支援体制

★為櫻支援会（平成19年発足）

生徒の勉学や運動部・文化部活動を支援するとともに、生徒の教育に関わる教職員の教育活動や教育環境をより一層促進・発展させるためにあらゆる支援を行うことを目的としている。

（主な活動支援内容）

- ・土曜補習の支援：土曜補習の講師の手当・通勤費・保険の支援
- ・学習館の開放支援：生徒の学習環境整備の一環として、平日早朝・夜間及び休日に学習館を開放し、それに伴う経費負担
- ・部活動指導支援：合宿時の教員の宿泊手当負担
- ・進路検討会・三者面談に伴う、休日指導手当の負担

★スクールバス運営委員会

全県に先駆けて、平成12年からスクールバスを運行している。当初は2路線だったものが、現在は7路線の運行となっている。スクールバスの運行が、優秀な生徒の確保につながり、本校飛躍の一助となっている。

このスクールバス運営委員会はPTAによるものである。

★普通教室空調設備

平成18年から、普通教室にエアコンを導入し、快適な学習環境を整備し、現在に至っている。

特徴的な活動・運営体制

成果

- 本校PTA活動は、直接的に生徒に関わる活動ではなく、後援会・支援会による学習環境の整備や体育的活動の側面的支援活動が主となっている。それに、生徒たちも応えるかのように19年連続国公立大学合格100名超え、運動面においても全国大会出場や2年連続県高校総体10位入賞と大躍進していることが、大きな成果となって現れている。
- 本校PTA活動は本部役員を中心に円滑に進められ、総会出席率も80%を超えていることが本校PTA組織が充実していることを表していると考えられる。



下妻一高の教育活動

「下妻」発「世界」へ為櫻学園「光プロジェクト」

- 1 為櫻グローバルプログラム（ポスト研修・イングリッシュ等）
- 2 難関大学進学支援（学習方法講演会、ハイレベル課外、東大OC等）
- 3 医学部医学科支援（医学セミナー 医大キャンパス訪問等）
- 4 教育学部系進学支援（県教委・市教委・大学教育学部連携による研究会）
- 5 部活動強化支援（運動部・文化部活動講演会、外部指導者）
- 6 進路探求（先輩講話 出前授業 筑波大OC等）
- 7 地域探求（ヤングティーチャー派遣 ボランティア ジャーナリズム探求）

課題

- PTA活動は学校の要であり、さらに保護者の積極的参加や協力支援をいただける環境づくりを構築すること。
- 地域住民の方々や保護者に対して、学校への理解や協力を得るため、積極的に情報を発信すること。
- 付属中学校開校を見据えたPTA組織の見直しを図ること。

【茨城県教育庁総務企画部生涯学習課】

子どもたちの笑顔のために、地域と共に、“ALL西小PTA”

所在地: 栃木県宇都宮市西
 全校生徒数: 児童167名

学校の特徴	創立142年の歴史と伝統を誇る本校は、地域の方々から「西校(さいこう)」の愛称で親しまれ、「西校は最高に通ず」と言う言葉もあるように地域に愛されている学校である。「人に役立つ喜びを大切に児童の育成」を特色ある教育活動に掲げ、学校・PTA・地域が一体となって、未来を担う子どもたちを見守り育てている。
地域の特徴	宇都宮市の中心部に位置し、学区内には、ユニオン通りやオリオン通りを中心とした商店街があり賑やかである。何代にも渡って本校を卒業しているという家庭も多く、地域全体で学校への愛着がある。商店街をはじめ、まちづくり推進協議会や社会福祉協議会等地域の各種団体は、児童の体験学習や学校行事に協力的で、児童は多くの人との関わりの中で様々な体験を通し多くのことを学んでいる。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

地域・保護者・学校が連携して行う取組

○地域との連携強化を図る行事の組織運営 (実行委員会を立ち上げ行う活動)

- ・西地区体育協会、学校、PTAが話し合い、企画・運営をする運動会の開催
- ・PTAが中心となり、学校、地域の商店街振興組合、西地区まちづくり推進委員会、西地区青少年育成会、地域協議会等、各西地区団体からの代表者で構成する実行委員会により企画・運営する「ベストフェスタin西」の開催

○地域に協力し共に行う活動

- ・地域協議会との連携
「お掃除し隊」「子ども110番の家を回ろう」
- ・地域学校園との連携
「あいさつ運動」
- ・まちづくり推進協議会との連携
「学校へ泊まろう」

ベストフェスタin西

- 【開催時期】10月
 【開催場所】オリオンスクエア
 【取組内容と工夫】
- ・地域にある中学校や保育園とも連携したステージ発表、作品掲示
 - ・PTAが募集したあいさつや交通安全に関する標語の入選作品の表彰
 - ・PTA各部、西地区社会福祉協議会、西地区青壮年育成会等による模擬店の出店



○親子でふれあい、学ぶ活動への取組

- ・各学年部が主催する「親子学習会」
地域の企業等に講師を依頼するなど地域との連携を図るとともに、各学年の学習内容にあった活動を担任と相談の上、工夫して行なっている。
- ・文化研修部が主催する「ミニコンサート」
夏休み前に出演者を募集し、11月の土曜日に、保護者や地域の方に向けて開催。親子でのピアノの連弾やエレキギターの演奏など、普段見ることのできない姿を披露する場となっている。



○その他の活動

- ・毎週水曜日の付き添い下校
- ・広報紙の発行
- ・あいさつ、交通安全に関する標語の募集・表彰・看板作成

成果

- ・地域の各団体と連携することにより、地域全体で子どもを見守り育てる風土が醸成されている。
- ・5年生が各部の部長となって活動するため、引継ぎ、サポートが確実に行われ、持続可能な体制が確立されている。
- ・PTAへの加入率は100%であり、小規模校ゆえの「ALL西小PTA」による活動が学校教育を支えている。

課題

- ・児童数の減少に伴い、PTA会員数も年々減少する傾向にある。また、共働き世帯も多く、忙しい保護者も増えている。無理なく無駄なく、誰もが参加しやすい活動を工夫していく必要がある。

「子どもを育て、保護者・教師も育つPTA活動」

所在地： 栃木県日光市千本木
 全校生徒数： 596名



学校の特徴	大正14年、栃木県立今市中学校として創立。昭和24年に今市女子高等学校と統合し今市高等学校となる。平成9年から総合学科に学科転換、総合学科の特性を生かして時代の変化にシなやかに対応しながら、地域に根ざした教育を展開している。
地域の特徴	地元日光市は栃木県の北西部に位置し、関東地方の市町村では最大の面積を誇る。ユネスコの世界遺産に登録された「日光の社寺」をはじめとする貴重な歴史・文化遺産、「奥日光の湿原」等の豊かな自然環境、鬼怒川や塩原の温泉など、恵まれた観光資源を有し、国内外からの観光客も多い。
活動内容	学校との協力体制のもと、「子どもたちの思い」と「保護者のつながり」を大切にしたPTA活動を展開している。

特徴的な活動

1 PTS懇談会

P(保護者)・T(教師)・S(生徒)の三者がいくつかのグループに分かれ、予め設定されたテーマについて率直に思いを伝え合うことで、三者間の理解を深め、生徒がより充実した学校生活や家庭生活を送っていただけることを目的とした行事。テーマは「部活動と勉強の両立」「SNSの利用について」等様々だが、毎回実りの多い会となっている。

2 長距離歩大会での

立哨指導補助や豚汁提供

生徒が地元日光市内の約23kmの道のりを歩き通す体育行事。コースには交通量の多い地点もあり、教員と協力して立哨指導に当たっている。帰着後は、早朝から準備した豚汁を全生徒に提供している。「この豚汁のためにがんばる」という生徒も少なくない。

3 PTA支部対抗

親善ソフトバレーボール大会

毎年秋、PTA各支部間の交流と親善を目的として開催。各支部有志が単独チームで参加。予選リーグと決勝トーナメントにより、和やかな中にも熱気のコもった試合が展開される。参加者は例年150名を超え、最も盛り上がるPTA行事のひとつである。



成果

- ・「PTS懇談会」は、保護者の経験に基づいた話が子どもたちへの自然な進路支援になっており、保護者にとっても我が子と年代の若者の率直な思いを聴くことが出来る得がたい機会となっている。
- ・標記活動の他にも、今高祭(文化祭)でのPTAバザー、地元市の花火大会巡回指導等様々な活動を行っているが、それらは子どもたちの健全育成に寄与しているだけでなく、保護者同士のつながりを育み、貴重な情報交換の場ともなっている。

課題

- ・PTS懇談会について、今後も継続して時宜に合った有意義なテーマを吟味・精選していきたい。
- ・PTA総会の参加率は例年70%を超えているが、今後一層参加率を高めていきたい。

【栃木県教育員会事務局生涯学習課】

<家庭・地域とともに取り組むPTA活動>

所在地: 群馬県前橋市鼻毛石町1503-1
全園児数: 30名

学校の特徴	昭和50年、旧宮城村で開園。平成16年に前橋市との合併により、前橋市立の幼稚園となった。教育目標を「心豊かでいきいきと活動に取り組む子どもを育てる」とし、地域や家庭と積極的に連携し、幼児の体験活動を重視した小規模園だからこそできる質の高い保育の充実に努めている。
地域の特徴	・赤城山麓に位置し、6割が山林、残りが耕地の農村地帯で、四季折々の自然環境に恵まれている。 ・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校が各1校園ずつある地区であり、地区の人々の教育への関心も高く、協力的である。 ・平成22年度、2学期に全保育室床暖房完備、エアコン設置、デン※1など幼児の遊びの欲求を満たす魅力的な園舎が完成し、3学期に園庭整地が終了した。平成23年度に植え付けをした芝が園庭に広がり、のびのび活動できる豊かな環境である。 ※1 子どもたちが遊びで使う小部屋。
活動内容	<div style="background-color: #00c080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 地域社会との連携、家庭の教育力の向上 </div>

○「有価物回収」の実施による地域社会との連携

・ゴミ減量に向けた有価物回収を積極的に推進し、年5回実施している。有価物は、収集期間に会員等がそれぞれ持ち寄り、地域にある民間事業所にも提供をしていただいている。回収は地域の業者に依頼し、本部役員会後にトラックへの積み込みを行っている。このことにより、地域やPTA、幼稚園と連携しながら、リサイクルやゴミ減量に取り組んでいる。



○「PTA研修」

・保護者同士の交流や良好な人間関係づくりに取り組み、情報交換等を行ったり、知識の習得や家庭の教育力の向上を図ったりできるよう研修部員が中心となって、PTA研修会を年3回開催している。



○地域との連携協力

・青少年育成推進委員会、のびゆくこどものつどい、市民運動会などの地域行事や市学校給食運営委員会、市学校給食献立会議などの会議等にもPTA代表者が協力参加し、PTA会員も地域の行事等に積極的に参加している。

○「夕涼み会」の計画、実施

毎年、7月3週の土曜日にPTA本部が中心となって夕涼み会を計画し、実施している。子どもたちが喜びそうな遊びのコーナーを行ったり、花火を上げたり、だんべえを踊ったり参加者がみんなで楽しむように工夫している。



○PTA新聞「おたまじゃくし」の編集と発行

すべて手作りによる年2回のPTA新聞「おたまじゃくし」を発行し、先生方の紹介や保護者の思い等を掲載している。



○ボランティア活動

運動会やもちつき、園外保育の付き添い、未就園児の集い「たんぼぼクラブ」等の園行事やプール遊びなど子どもたちの活動に対する協力体制が組織的に整備されている。除草(年2回)、清掃、花植え(年2回)絵本整理などを全会員に呼びかけボランティア活動も行っている。

成 果

- ・より多くの会員の活動参加によって、幼稚園や子どもたちの活動及びPTA活動への理解も深まり、「夕涼み会」やボランティア活動等の活動も充実してきている。
- ・PTA研修等、様々な活動を通して、会員同士の関係づくりや協力する体制が自然に確立できている。また、有価物回収等を通じ地域とのつながりも深まり、地域全体で幼稚園や子どもたちの成長を支える体制ができている。

課 題

- ・会員数の減少により、本部役員や学級委員の確保や在り方、様々なPTA活動の内容や取り組み方の検討や改善等が必要である。

全ての子どもたちの笑顔のために

所在地：群馬県高崎市浜尻町210-1
 全校児童数：児童444名

学校の特徴	昭和57年4月に開校し、開校38年を迎えた。 「進んで学ぶ子(発見・発表)」「心豊かな子(挨拶・親切)」「たくましい子(チャレンジ・運動)」を学校目標に掲げている。
地域の特徴	上毛三山の見守る自然豊かな教育環境である。校区には、大型商店街問屋町、及びJR高崎問屋町駅があり、国道17号線や北部環状線など主要幹線道路、JRの鉄道が走っていて、商業地・住宅地としても賑わいを見せている。
活動内容	子供たちの成長にとって何が重要になるかを学校と地域住民で考えようとする雰囲気が醸成され、各PTA行事・地域行事は、PTAが学校と地域の橋渡しをし、学校と地域が一体となって行事の運営に当たっている。

特徴的な活動・運営体制

「浜尻まつり」の企画・運営(地域との協働)

◎浜尻まつり実行委員会：PTA、育成会、校長、区長会長、公民館長等

◇浜尻まつりは、「子どもと大人がともに笑顔で育ちあえる地域を目指して」をテーマとし、浜尻小校区の団体や地域が一体となり、世代間の交流や地域力の向上など地域全体の活動を盛り上げることを目的として毎年行われている。

◆PTAが中心となり、バザー・模擬店・ゲームコーナー・体験コーナー等の各ブースの準備や運営に取り組み、子供たちや地域の方々が触れ合いながら楽しめる活動を行っている。

◆小学校や中学校と連携してポスターや浜尻まつりの案内ちらしの作成をしたり、警察署・消防署等の関係機関と体験コーナーの充実に向けた連絡調整を行ったりして、浜尻まつりの質的向上に努めている。



☆PTA活動に無理なく参加☆ 各専門委員会が学年ごとに分担され、すべての会員が参加しやすく、意見を出し合える工夫がなされている。このことは、一部の会員の負担にならず、会員同士で分担できる仕組みにもなっている。

成果

- ・PTAが学校と地域のつなぎ役になることによって、「浜尻まつり」の企画・運営等、学校と地域が一体となって、世代間交流を推進し、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実につながっている。
- ・PTAの企画により、「命の大切さ授業」等を実施し、温かい人間関係づくりや家庭の教育力の向上につながっている。

○地域との連携協力

PTA本部役員は、公民館運営推進委員会や地域づくり活動協議会に参加し、学校と地域が一体となり、ネットワーク作りや世代間交流を推進するためのつなぎ役となっている。また、校区青少年育成問題協議会において情報交換を行ったり、健全育成パレードに参加したりして、地域力の向上を目指している。

○PTA学年行事「親子学習会」

学年PTAが、学校支援センターのコーディネーター役をして講師を迎えることで、児童は、地域の方とコミュニケーションを図り、世代間交流が生まれている。



○「命の大切さ授業」の実施

PTAが企画し、地域の助産師に依頼・日程調整するとともに、授業では、助産師のサポート役を行い学校とPTAが協働した活動となっている。



○安全マップ作成、「子供を守る家・守る店」への訪問と「子供を守る家・守る店」のステッカー作成・配付

新入児の保護者と情報を共有し、安全で安心して過ごせる犯罪のない明るく豊かなまちづくりの一端を担っている。

課題

- ・今後も、学校・家庭・地域と連携・協働したPTA活動のために、地域に向けた情報発信を充実させ、学校と地域の橋渡しの役割を推進したい。

児童・保護者・教職員・地域を『学び』でつなぐ

所在地：埼玉県狭山市入間川
全校児童数：476名

学校の特徴	昭和50年4月に開校。男女、学年の別なくとも仲が良く、校外外において明るく元気に挨拶をする子がとても多い。							
地域の特徴	新宿まで電車で50分の駅周辺に位置し、地区内に本田技研やロッテ等の大手企業の工場がある。学校には茶室があり狭山茶畑が隣接している。西武鉄道や地元工場勤務の家庭の他、都内勤務も多い。市内では平均年齢が若い地域で、地域自治会活動が活発である。							
PTA事業に『学び』の要素・目的を持たせる	→	教職員の協力が得られる	→	保護者と教職員の交流	→	保護者が学校を知る	→	PとT双方向の信頼構築



防災講座、炊き出し訓練、避難所開設、夜の校舎探検市の担当課から協力を得る

学校主催でできないことをPTA主催で 夜間避難所開設・炊き出し訓練

東日本大震災の際に保護者の帰宅困難者が出た教訓から、教職員が置かれる状況、学校の備蓄状況を親が知り、地元に住む保護者が主体となって市と連携を図り、災害時の子供の安全を守る。

保護者⇒アレルギー対応食の備蓄をする
児童⇒夜は怖いけど友達と一緒になら平気



ディズニーやUSJのプロダンサーによるダンスショーで子供たちに夢を！ほぼ全児童+保護者150名

学校行事とPTA主催行事の融合 ダンスパフォーマンスショー

若い「プロ」を招くことで児童に将来の夢を描いて欲しくて実施。保護者が多数来校する学校行事と同日開催にするため、教職員と綿密な打ち合わせをした。子供たちの誘導や集合について、学校からアドバイスや協力を得た。

保護者⇒子供たちの集団行動が素晴らしい
児童⇒ダンサーになりたいと思った



性の多様性と性教育について

保護者の人脈を積極的に活用 吉本興業タレントさんによる講座

小学校で行われている性教育の状況を学校側と情報交換しながら、LGBTについて、親へ向けた家庭教育学級を開催。単P主催だが市教委からも参加。

保護者⇒相手への思いやり、隠さない性教育の必要性
教職員⇒子供たちにもきかせたかった



学校で子供たちに愛されている
ぼうくん

会員の声こそが時代に合った運営の源

【意見】幼稚園時代から仲の良いお母さん同士で同じ委員会の役員になりたいのに、子供が同じクラスになったので一緒に役員ができない。
【対応】クラスから1委員会1名選出ではなく、学年とクラスの選出枠をなくし、役員をやりたいときに友達同士で立候補ができるようにした。

本部役員立候補率
3年連続100%

【意見】校区内の一部で地域会議主催行事があるが、自分が住む地区では募集していないので、クラスの友達と子供と一緒に参加できない。

【対応】本校は、行政区分の地区が3つに分かれているため、イベント案内や参加者募集をPTAで発信。1地区のみで開催のイベントをPTA主催行事にして本校児童なら誰でも参加可能に。

ドッチビー大会・綱引き大会の開催

【意見】委員会活動に続けて欠席する人がいて、するい。私は、無理して仕事を休んで来ているのに。
【対応】共働きの世帯が多いため、それぞれの事情があるので、平日の常置委員会の活動に出られない場合は、土曜日や夜間に開催しているPTA主催イベントで受付・人員誘導・片付け等のお手伝いをする事で良しとする。悪口は厳禁！

防災訓練・天体観測人員を多数確保

【意見】学校で困っているが、PTAで実施できないか。

【対応】夜間避難所開設・炊き出し訓練の実施。運動会の会場設営・安全確保や、持ち込みでの音響サポート。市の各担当課と連携をして、学校行事の必要物資借用・運搬や講座資料の提供。卒業式のライブ配信。

親が学校を知り学校が親を知る

今後の課題

家庭数が年々減少する中で、コンパクトな運営をしつつ、より良いチームワークで、楽しみながら学べる事業を考えていく必要がある。学校を家庭教育・社会教育の拠点とするため、市の各担当課や公民館、自治会、子ども会、地元企業とのパイプ役を担えるリーダーを選任できると良い。市内ではコミュニティスクール化を推進中。

【埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課】

保護者、教員との連携を大切にし、地域社会との信頼関係を高める

所在地：埼玉県所沢市南永井
 全校生徒数：292名

学校の特徴	知的障害のある児童生徒と肢体不自由のある児童生徒がともに学ぶ学校である。 小学部・中学部・高等部の12年間の系統性を大切に、児童生徒一人一人の特性と実態に合わせた指導を行っている。
地域の特徴	所沢市南東部の茶園や畑の広がる地域に位置している。また、この地域は、高速道路へのアクセスも良く、運搬業者の拠点にもなっている。さらに、首都東京に近く交通の利便性や優れた自然環境などから人口が増加している地域である。
活動内容	本部、総務部、進路部、広報部で構成され、保護者、教員の積極的な参加により運営されている。PTA活動の行事には多くの会員が参加しており、会員の親睦と学習が図られている。

特徴的な活動

芋煮会

本校は地域の指定避難所になっており、芋煮会は、災害時に炊き出しなどが行われることなどを想定して行っている。町内会や自治会、福祉施設の方々など毎年100名を超える方々に参加していただき、地域の皆様の交流の場となっている。また、その際には、防災備品（非常食）の試食も行い、災害時の疑似体験も行っている。



進路講演会

PTAが主催する進路講演会では、保護者が不安に思っている卒業後の進路について、様々な知見をもつ方々に講演をしていただき、保護者の進路に対する学習機会を提供している。

広報活動

おおぞら祭や学校公開などの様々な行事の様子をPTAが作成する広報誌で周知するとともに、地域の広報誌にも掲載し、生徒の様子を発信することで、肢体部と知的部の併置校としての特色も理解していただいている。

成果

- ・PTA活動を通して、学校と家庭の連携・協働体制が強まるだけでなく、地域との連携を深めることで、自治会や地元の関係機関との協力体制も強まっている。
- ・芋煮会を開催することにより、簡易的ではあるが、地域の方々から災害時に避難した際の体験をする場になっている。

課題

- ・地域からの参加者を増やし、さらに地域に開かれた学校を目指す必要がある。
- ・共生社会の実現に向け、肢体部と知的部の併置校である特性を生かした情報発信を進めていく必要がある。

<地域と連携したPTA活動について>

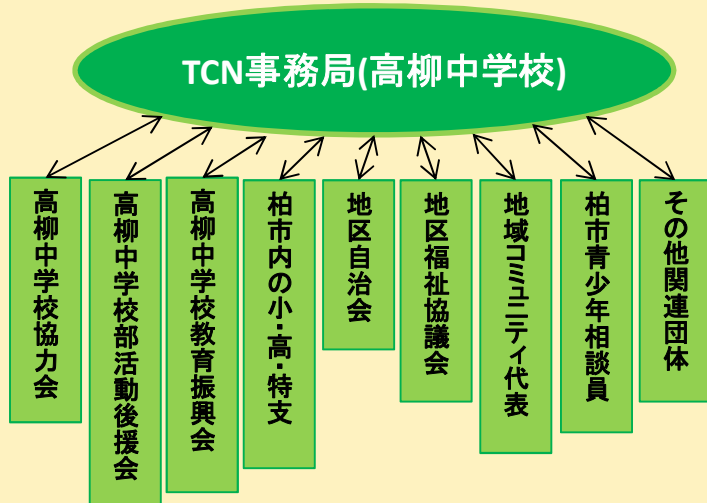
所在地: 千葉県柏市高南台1-1-1
 全校生徒数: 566名

学校の特徴	昭和56年4月に開校した。開校当時は市町合併の前であり、沼南町立高柳中学校であった。その後柏市と沼南町との合併により、現在の校名になる。開校当初より地域との連携を重要視し、現在のコミュニティスクールにあたる取組を先取りしていた。多くの学校でPTAと呼ばれている団体が「柏市立高柳中学校教育振興会」という名称であり、昭和57年2月に発足した。
地域の特徴	千葉県の北西部に位置する。元来、農業従事者の多い自然豊かな地域で、台地には平地林と畑、低地には水田が広がる。旧沼南町の西部側は幹線道路(国道16号線)や鉄道(東武アーバンパークライン)の影響を受け、市街地としての発展が急速に進んだ。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

* 高柳地域ネットワーク隊(TCN)との連携により、多くの事業が展開されている。



TCNは学校を始めとする多くの地域関係団体を支援する大規模な支援団体である。(関係する団体は上記以外にも20団体を超える。)

教育振興会独自の活動も非常に活発です!!



・体育祭の看板立て
 係活動の一つである①体育祭係を中心に多くの会員が参加している。



・環境整備
 ②環境整備係を中心に活動している。

各種係活動には上記の係以外に③文化教養、④高翔祭、⑤高校説明会、⑥卒業対策の計6つの係活動がある。



成果

- ・各係に係長がおり、係長がイニシアティブをとることで、全会員が何らかの活動に関わっている。
- ・6つの係組織が有機的に機能し、生徒の学習活動から体験的な活動に至るまで多くの学校行事を支援している。それに伴い、教職員の負担が軽減され、授業準備や生徒との活動時間の確保といった教員が本来の業務に注力できる環境を整えられている。

課題

- ・各係長からでた、活動に関する反省点で共有した事項をどのように次の活動に反映できるかが課題である。
- ・各係長が本部役員を通し、他の係の状況も把握したうえで、各々の係活動をどのように運営していくかも考えなくてはならない。

<実践的なPTA活動を目指して>

所在地: 千葉県いすみ市大原7985
 全校生徒数: 431名

学校の特徴	昭和3年に開校し、地域に根差した県立高校として進学、就職など幅広い進路に対応してきた。運動系部活動の中には、全国大会常連の部もあり、部活動や生徒指導を中心に学校の活性化をはかっている。平成27年には、県立3校が合併し、総合学科を設置した新たな「大原高校」として歩み始めた。
地域の特徴	学校の所在地は「いすみ市」として市制がしかれる前は、夷隅郡大原町であった。太平洋沖に面した海岸では、全国的にも有名な裸祭りも開催されている。いすみ市を中心とした外房地域の沿岸では、はまぐり、あわび、イセエビ、タイなどの漁も盛んであり、「千葉ブランド水産物」※に認定されている物もある。内陸部では水田や畑などの田園風景が広がり、農林水産業が盛んな地域である。 ※千葉県H.P.より

活動内容

特徴的な活動・運営体制


※PTA組織図

```


                    graph TD
                        Advisor[顧問]
                        President([会長])
                        VP1_1([副会長])
                        VP1_2([副会長])
                        VP2_1([副会長])
                        VP2_2([副会長])
                        VP3_1([副会長])
                        VP3_2([副会長])
                        Year1[1年]
                        Year2[2年]
                        Year3[3年]

                        Advisor --> President
                        President --- VP1_1
                        President --- VP1_2
                        President --- VP2_1
                        President --- VP2_2
                        President --- VP3_1
                        President --- VP3_2
                        VP1_1 --- Year1
                        VP1_2 --- Year1
                        VP2_1 --- Year2
                        VP2_2 --- Year2
                        VP3_1 --- Year3
                        VP3_2 --- Year3
                    
```


OPTA会員と連携した授業
 ◇伝統文化「浴衣」の継承◇
 PTAと教職員が連携し、3年生の選択授業である「一般教養」の一部として、着付けに関する体験活動を行った。講師はPTA会員である。



○「卒業生」の今に迫る
 PTAの研修視察として、卒業生の職場や学校を訪れ、現在の仕事や授業の様子を見学したり、社会人・学生の今、高校時代に必要と思われることを質問したりする等、卒業生と会員との積極的なディスカッションを行っている。



○生徒の日常に届く指導
 年2回下校指導・列車乗車指導を行っている。役員と教員が協力し、学校から最寄り駅までの下校状況を巡視、その後、最寄り駅に乗り入れている2路線、3方向の列車に乗車し、乗車マナーの確認や指導にあたっている。



成果

- ・平成27年に3つの高校が合併したことにより、PTAの活動をどのように継続するのか、試行錯誤があった。その過程を経て、現在の体制を見出すことができた。
- ・令和元年度に現在の体制が整備されたが、活動に対し協力的な会員が増加傾向にある。

課題

令和元年度に整備された現在の特徴的な組織運営を今後も盤石なものとする。

【千葉県教育庁教育振興部生涯学習課】

< サークル活動が活発です！ >

所在地：東京都港区赤坂
 全校生徒数：園児137名

学校の特徴	明治23年5月に開園し、本年度開園130周年を迎える国内でも有数の歴史のある園です。長い歴史に伴い、地元地域の方々、隣接する小学校、中学校とも連携を密にとり、相互協力関係を築いています。
地域の特徴	都心の真ん中、赤坂の丘の上に園はあります。緑の多い庭がある東京ミッドタウンに隣接し、坂を下るとにぎやかな赤坂の商店街が広がります。赤坂の街は都心ながらも赤坂御用地をはじめ、公園などの緑も多く、また長年培われた地元地域の方々の結びつきが強い土地柄でもあります。
活動内容	

特徴的な活動

* 中之町幼稚園PTAには、保護者によるサークル活動があり、子どもたちの園での生活をより豊かに、また彩りを添えています。また、サークル活動は保護者間の親睦にも大きな役割を果たし、園児が文化や伝統に触れる機会を提供しています。

手芸部は趣味の小物づくりの他に、毎月の園児のお誕生日会に園児一人ひとりにプレゼントするコサージュの制作指導をします。ガーデニング部の育てた野菜は園庭でお味噌汁にして園児が一緒に食したり、茶道部はひな祭りにあわせて園児たちにお点前を披露し、お抹茶をいただく体験を提供しています。コーラス部は各学期末にミニコンサートをひらいて保護者によるピアノ演奏と共に園児に歌のプレゼントをしています。

これらのサークルはPTA主催のバザーにも参加し、その作品や練習の成果は訪れた地元の方々にも還元されています。



地元地域とのつながり

◇赤坂アカデミーの一員として◇

赤坂地域では中之町幼稚園、赤坂小学校、赤坂中学校が赤坂アカデミーを形成し、幼・小中一貫教育を推進しています。2年後の完成にむけ、校舎も新しく建設中です。中之町幼稚園PTAも小・中学校のPTAの方々、また地元の方々と密に連携協力し、意見交換に参加しています。

○その他の活動

地元安全対策協議会の一員として氷川神社のおまつりのパトロールや、交通安全と事故防止などの講演会に積極的に参加しています。

成 果

- ・PTAのサークル活動により、保護者間の親睦が深まり、円滑なその他のPTA活動につながっている。
- ・積極的な地域活動への参加により、地元の方々との強固な協力体制が維持されている。

課 題

伝統がありながらも新しい幼稚園PTAの姿を目指すため、保護者や園との連絡にメールやWEBツールなど積極的に取り入れたい。

【東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課】



持続可能なPTA活動を目指して～学校支援地域本部との連携～

所在地：東京都文京区千駄木
 全校生徒数：67名

学校の特徴	「文林」とは「学問のさかなさま」を言い表しており、開拓精神を発揮して真理の探究に努めることを教育目標としている。まさにこの「文林開拓」を合言葉に生徒、先生、父母、地域一体となっていきいきとした学校づくりに取り組んでいる。また、綿毛となって飛び立ち、大地に根をおろす「たんぼぼ」をこの開拓精神の象徴として、校章にあしらい、学校の花として親しんでいる。しかし、近年では少子化と中学進学時の進路選択の多様化により、生徒数が減少している。
地域の特徴	東京の下町情緒溢れる町「谷根千」エリアの千駄木に位置し、夏目漱石、森鷗外、高村光太郎など明治の文豪に愛された町としても知られている。また、近隣には由緒ある史跡や大学等の教育機関が多く、こうした機関と連携した教育が日常的に行われている。

活動内容

PTA本部役員、学年委員会、校外委員会、文化委員会、厚生委員会、広報委員会により構成されている。各委員会とも、少ない人数ながら独自に工夫をこらし、活動メンバーの状況に応じて柔軟に活動している。



特徴的な活動・運営体制



新入生保護者には、入会同意書を配布し、任意加入であることを説明している。現在、全生徒の保護者が加入している。

また、就労している保護者が大半のため、会議等はすべて土曜学校公開日のみとし、参加しやすい環境づくりに努めている。

文京区中学校PTA連合会主催のスポーツフェスティバルにおいて、小規模校ながら毎年決勝戦まで進出する強豪校として知られている。この日に向けて、生徒、保護者、先生も一緒に練習を重ね、当日は手に汗を握り、全員一丸となって応援する様子は、親子、先生とも思い出に残る1日となっている。



学校支援地域本部と連携した取り組み

会員数の減少に伴い、これまで通りの活動内容の維持が難しくなっている現状について、卒業生保護者、同窓生らを中心とする学校支援地域本部と連携し、様々な場面で協働して学校をバックアップしている。

【ベルリッツ英会話講座見守り活動】

教員に代わり、保護者と学校支援地域本部とが連携して放課後開講時の見守り活動をしている。



【学校行事運営補助】

運動会、学芸発表会時の受付や校内パトロール等を保護者に代わり担当している。



【学芸発表会・PTA合唱】

学校支援地域本部を中心に、保護者、先生、英会話講座外国人教師も一緒になって、合唱を披露している。



成果と課題

学校支援地域本部との協働体制により、すべての学校行事の際の保護者手伝いがなくなり、保護者が気兼ねなく我が子が活躍する姿を楽しむことができるようになったことは、大変好評であった。しかしながら、生徒数の減少により会員数が減り、年々PTA役員の選出が難しくなっている。さらなる負担軽減や改善を目指すとともに、より楽しく活動できる雰囲気醸成することで、より自発的に参加してもらえるような活動や組織作りをしていく必要がある。



< 楽しく 無理なく 気持ちよく みんなつながるPTA >

所在地: 神奈川県横浜市都筑区
全校児童数: 815名

学校の特徴

平成14年開校。～笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子～をスローガンに子どもたちの笑顔や夢があふれ、仲間と心を通わせ合う関係構築をめざしている。小中一貫ブロック校や家庭、地域と連携し、地域の中でともに子どもを育む学校づくりを進めている。

地域の特徴

都市機能を有しつつ、緑豊かな比較的新しい街・港北ニュータウンの中心にあり、学校周辺や児童の生活圏は遊歩道が整備されているところが多い。横浜市都筑区は市内で最も平均年齢の低い区で、子育て世代を中心とした人口構成となっている。

活動内容

特徴的な活動

むかし遊びにチャレンジ

★室内でのゲーム機遊びが主流になる中、むかしの遊びを体験することを目的に、コマ回し、メンコ、おはじき、ゴムとび、餅つき、竹馬等のブースを展開し、頭と体をフル活用する遊びを伝えるイベントを開催している。約300名が参加。
★地域の方に、むかし遊びの名人としてご参加いただき、異世代間交流の場として、つながりを深める機会にもなっている。



ダブルダッチ

★全校児童を対象とした大縄やダブルダッチの縄(2本の縄)を回す活動を1学年あたり年3～4回程度、休み時間に行っている。

★児童の体力向上、運動機会の確保を図っている。



科学フェスティバル

★スライムや光の万華鏡、二酸化炭素の白いシャボン玉、立体箱作り、ふうせんロケットなど、日常でなかなか体験できない科学実験を行っている。約300名が参加。

★理科を好きになってもらう目的で開催している。



特徴的な運営体制

サタデーキャスト委員会

★仕事を持っており平日昼間の参加が難しい保護者が増える中、活動が土曜日のイベント中心の「サタデーキャスト委員会」を設置。男性会員を含め多くの保護者が参加しやすい工夫を行っている。

活動希望調査票

★「PTA委員会活動希望調査票」を通して、希望する委員会の優先順位や活動したい年度等をヒアリングし、主体的な活動となる運営を行っている。

年度末アンケート

★委員会活動を行った全員に年度末アンケートを実施。その意見を踏まえて委員会の統廃合、委員数の増減、活動内容の見直しを図るなど、次年度の運営の効率化に生かしている。

成果

- 学校、保護者、地域それぞれの立場でともに子どもを育てる環境作りを意識した活動が年間を通してできた。また、イベントを通し異世代間交流を実現できた。
- PTA本部の活動紹介、主体的な活動となる運営体制の工夫などについて、近隣校から評価をいただき、実際に取り入れられる事例があった。

課題

- 児童数・世帯数の減少が見込まれる中、継続的な活動内容の見直し、運営効率化が必要となっている。引き続き、取り組んでいく。

<たすけあい（たすけ愛）のPTA活動>

所在地：神奈川県平塚市
 全校児童・生徒数：198名

学校の特徴	昭和44年開校。現在は、肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部から高等部までの児童・生徒が在籍。本校は、「共生社会の実現に向けた挑戦」を目標に掲げ、地域の活性化および教育活動を通じた地域との協働、社会貢献活動を推進することにより、子どもたちにとって、よりよい社会生活に導く取組を行っている。県内特別支援学校の中でも古い歴史を持ち、昨年度、学校創立50周年を迎えた。
地域の特徴	平塚市は、神奈川県の湘南地区にあり、商業・工業・農業・漁業・観光などの産業がバランスよく発達し、豊かな自然にあふれている。学校周辺は、高齢者住民の多い地域であるが、住民同士が農園やサークル活動を活発に行い、自治会においては、特に防災対策に力を注いでいる。
活動内容	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 特徴的な活動・運営体制 </div>

運営体制の見直し、参加しやすい活動へ

- ・学校再編整備に伴うPTA会員数減少下でも、活動を維持・継続していけるよう、企画を行う本部役員以外の全保護者・全学校職員が公平に活動に携われるように「おたすけ隊」を発足。
- ・家庭の事情で参加が難しい場合も、自宅で行える活動を生み出したり、活動内容を細分化し、準備や当日運営、後片付けなど「ひとりひと役」を行えるように工夫したりしたことで、負担が軽減し、以前よりも参加しやすい活動へと変化した。



学習活動の推進

- ・児童生徒・会員同士の交流を図るため、夏季休業中にワークショップを開催。市職員によるクイズ形式の講演会や防災グッズの展示コーナーを設け、日頃からの備えの大切さを学ぶ機会とした。
- ・学校と地域福祉事業所等で、卒業後進路に関わる事業所合同説明会を共同開催している。例年は平塚市で行っているところを、多くの生徒が居住している近隣の市でも開催できるよう要望の声を集め、秦野市でも開催が実現した。多くの会員が参加し、より多くの事業所を知る機会を得ることができた。



○地域住民と連携した取組
 ◇学校創立50周年記念行事◇

地域の方にも式典に参加していただき、50周年を一緒にお祝いした。式典の中で、地域グループによるアトラクションを催し、児童・生徒が共に参加することで親睦を深めた。この取組を通して、子どもたちに、周囲の人への感謝の気持ちを忘れない「豊かな心」を育てることができた。

◇地域の方に見守りをお願いする活動◇

知的障害教育部門高等部の生徒が、公共交通機関を利用して安心・安全に自力通学ができるよう、地域の方々に「コミュニケーションハンドブック」を配付し、もしもの時の適切な対応について理解と協力をお願いをしている。

◇地域団体との連携協力◇

地元美容院グループの協力により、プロの美容師による1日限定カットサロン「ヘアカットひらよう」を学校で開催。児童・生徒が個々に合った姿勢でリラックスして施術を受けられるよう、美容院スタッフの方々が、児童・生徒の特性を理解する努力をしてくださり、カット時の対応等、親切丁寧に関わってくれました。

成果

- ・PTA会員数減少下でも、運営体制を工夫することにより、これまでの活動を維持・継続できる手ごたえを感じた。
- ・会員のための学習活動の推進は、根気よく行うことで、興味・関心や参加率を上げる効果を期待できる。
- ・学校行事・PTA活動を通じて、地域と分かち合うことで、障がい児者への理解が進み、子どもたちの社会参加を促すきっかけになる。

課題

- ・「おたすけ隊」が定着し、会員同士が顔の見える関係を築いていけること。またそれによって、活動内容のさらなる充実を図れること。
- ・障がい児者への理解が進み、卒業後の子どもたちも生きやすい暮らしが続けられるよう、よい活動は残し継続していくこと。

< 新しい時代と共に変わるPTA >

所在地:新潟県柏崎市関町
 全校生徒数: 児童258名

学校の特徴	明治7年に創立し、「豊かな心で すすんで学び やりぬく子」を教育の重点目標にし、学校運営、授業改善に取り組んでいる。家庭、地域、学校が互いに信頼関係を築き、安全・安心な学校づくりを目指している。
地域の特徴	駅南一帯の住宅地と国道8号線、353号線沿いの商店街に広がる地域である。学校教育に対する住民の意識は多様化しているが、学校に寄せる期待は大きく、大変協力的である。

活動内容



①メディア学習会



★三位一体の取り組み
メディアに強い学校づくり

児童だけじゃない！
全員で学ぶ **メディア**
との関わり方

～ PTA組織力向上！夏休みプール開放再開を通して～
守れ！あそびば 守れ！いのち

安全パトロールと
町内子供会の **きずな**

＜特徴的な活動＞

- ◎講師を招き、**全児童**が学年レベルに応じたメディア学習を受講（毎年）
- 6学年は親子**でメディア学習会（ディスカッション）を実施。普段言えないメディア機器の使い方などについて、親子で本音をぶつけ合う！
- 学年懇談会を利用して、**保護者と教員が意見交換**。夏休中のメディア目標の設定などの参考になっている。



②親子メディア学習会



③メディア意見交換会

※新たな活動

- ・監視指導会
- ・現地KY活動
- ・溺れている動画を確認（youtube）

児童の安全を考え一度は中止した夏休み学校プール開放だが、PTA活動の中でも参加児童が多い人気の行事であり、再開を希望する保護者の声が多く、再開を目指すことに。まずは児童の安全を第一に考えた基本方針を作り、町内子供会や児童クラブ、外部指導者にも協力頂き『夏休み学校プール開放運営委員会』を発足。そこでは**監視力とプールの行き帰りに弱みがある**として話し合われた。以前の救急救命法に加え、※監視力を補う活動を追加。柏崎ライフセービングクラブの協力で実現した監視指導会では、事故が起きないように児童への声掛けの仕方や、監視の死角について現地で直接指導を受けた。それを基に、当日監視するチームで現地KY活動を実施。プールの行き帰りについては基本事項のみ作り、各町内子供会に委ねた。これは、町内毎の児童数や低学年・高学年割合の違いを、状況をよく知る保護者により最適化してもらうためである。そして、再開を目指してから約1年、夏休みプール開放再開を遂げた。これらを通して一番の成果は、多くの大人が考え、**いのち**を守ることの難しさ大変さを保護者同士で共有し、意識の変化が生まれ、最終的に**PTA組織力の底上げ**につながったことである。



ライフセーバーによる監視指導会

背景：プール運営の危険度指標（作成：PTA執行部）

『枇杷島小学校安全パトロール』として児童の登下校見守り活動の協力依頼をしているが、地域の大変多く方からの協力頂いている。またその活動は柏崎警察署長より感謝状をいただくなど信頼は厚く、我々の生活には欠かせない。

町内子供会では、新入生歓迎会や六送会に合わせて安全パトロールの方を招待し、新一年生との顔合わせ、卒業生から感謝の言葉を贈る活動をしている。また、安全パトロールの方と連絡先を交換、連絡網を作成し、緊急を伴う休校や下校時間の変更情報を小学校よりも早く確実に届けるなど配慮も欠かさない。地域に甘えつつも、感謝の気持ちを忘れないこれらの活動は、地域とのつなぎ役として**町内子供会が大きく貢献**している。

背景：登校時の様子



その他PTA活動

あいさつ運動、親子登山（米山、八石山）、親子スキー&スノボ大会、環境整備活動、びわの木コンサート、ベルマーク集めなど

成果

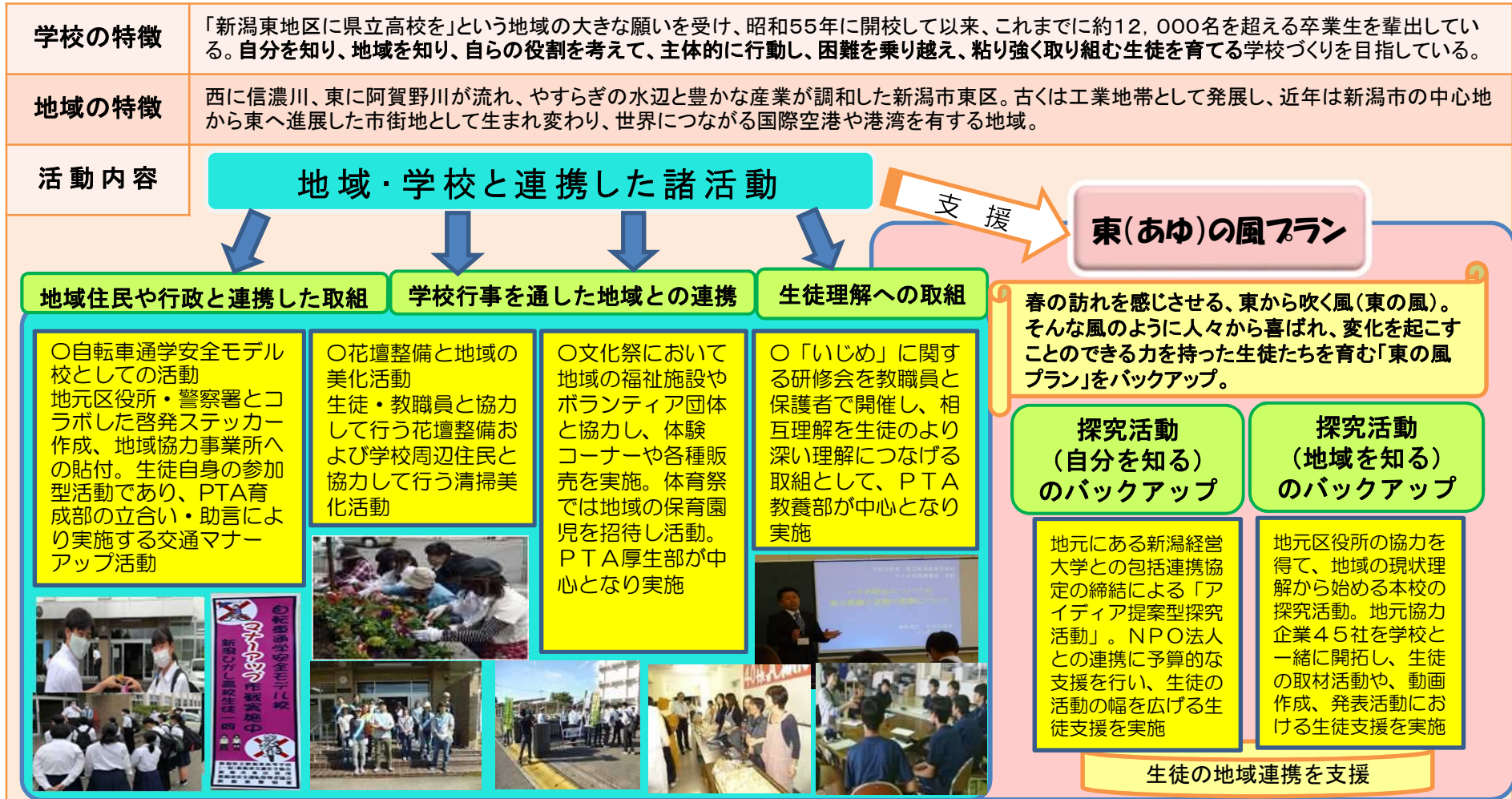
- ・夏のプール開放の再開に向け、PTA、町内子供会、児童クラブがそれぞれでできることを考え実行したことにより、PTA活動において何が大切かを共有する機会となり、保護者同士のつながりが強くなった。
- ・保護者を巻き込んだメディア学習を計画的、継続的に行うことにより、子供だけでなく大人の意識改革が進んでいる。

課題

- ・児童数、家庭数が減少する中、PTAの組織の見直しを進める。
- ・保護者の負担軽減の面から、オンラインを活用した会議も視野に入れ、参加しやすいPTAを目指す。

<東の風に乗せて～地域と歩むPTA～>

所在地:新潟県新潟市東区小金町
 全校生徒数:840名



成果

・地域連携の様々な取組や生徒理解の研修会、生徒の活動への支援を通じて、PTAとして「関わること」の大切さや喜びを改めて感じる事ができた。これからの時代にPTAに何が求められているかを考え、学校との協力体制を強化し、取組を継続・発展させていきたい。

課題

・各種活動の参加者が毎回15名前後であり、より保護者が参加しやすい時期や内容に改善する方策を、専門委員会で検討し活動の活性化を目指す。

みんな なかよし！～保護者・地域・園が手を取り合って～

所在地：富山県富山市
園児数：166名

学校の特徴	昭和28年に新保小学校内に新保幼稚園として併設され、平成24年に「新保なかよし認定こども園」として開園した。子育て支援の拠点として地域に開かれた園を目指し、家庭・園・地域の方々と連携を図りながら、様々な活動を通して心身共に健康な幼児を育てる保育・教育を目指している。
地域の特徴	富山市のベッドタウンとして年々人口が増加し、富山きとくと空港や大型公共施設、スポーツ施設も集中し、県内外から年間300万人が訪れている。子育て家庭に利用しやすい大型の公園も多く、子供たちがのびのびと育つ環境が整っている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

1 特徴的な活動

- (1) 食育指導の一環として、市の「学校農園」を利用して、サツマイモの苗植え、収穫に子供たちと一緒に参加している。(5月・10月)
- (2) 夏のちびっこ縁日主催。全役員が協力し、いろいろなコーナーを設け、子供たちが笑顔になる体験の場を提供している。(7月)
- (3) 各学年ごとに行事役員が主導し、学級活動を行っている。毎年工夫された楽しい活動を通して、園児・保護者・園のつながりを深める機会となっている。(2月)
- (4) 第58回全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会 富山大会の開催に向けて特別役員を選出。「とことんとやまで やさしい心をもちよって まあるく和になり 語らんまい 子供の未来を！」をテーマとして掲げ、富山県の幼稚園教育の推進と子供たちの未来のために運営委員会事務局として各地域の園と連携を取りながら、開催に向けての準備を行った。
(大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)



2 運営体制

1・2号認定児の保護者から執行部・特別・クラス役員を選出。各担当行事を決め、学年を越えて協力し合い、運営している。また、行事終了後、職員・保護者にアンケートを実施して、その意見を次年度に生かしている。

○地域住民と連携した取組

- (1) 会長が自治振興会代表委員、園長が参与として地域の会合に出席。「地域の子供はみんなで育てる」をモットーに、地域の行事に積極的に参加している。
- (2) こども園の親子が、地域で行われる15の「かがやき教室」に毎年参加して楽しんでいる。(R元年度は「新保ル・ロード～花いっぱい運動～」「模型飛行機大会」「ネイチャーゲーム」等、延べ253組の親子が参加)
- (3) 10月に行われる「新保ふるさとまつり」では、こども園、小学校、文化会館の内・外を広く会場とし、地域の交流の場としている。親進会の役員が、園内でゲームコーナーを実施。(R元年度は園児、小学生、中学生を含め、地域住民延べ2,500人が参加)
- (4) 親子ふれあい活動の中で12月に行われるもちつき大会は、親進会が主体となって運営。地元で収穫された餅米を蒸し上げ、杵と臼を使って本格的な餅つきを園児・小学生・地域で体験している。(R元年度は286人が参加)



成果

- ・会長や園長が地域の会合に参加し、園の保護者会としての意見を伝えることで、保護者・園・地域が子供の育ちや活動の課題について、共通理解を図ることができた。
- ・行事役員を通して、学年を越えた交流ができ、保護者関係を広めることができた。
- ・園児にとって地域社会とのかかわりの場が増え、身近な人の温かさに触れ「見守ってもらっている」ということが実感でき、安定した心の育ちにつながった。

課題

近年、保護者(母親)の就労率が高くなってきていることから、保護者会活動に対する関心が低下してきている。保護者会活動の「見える化」を図り、会合の持ち方や内容を見直し、会員の負担軽減に配慮しながら、子供も保護者も楽しんで参加できる活動や運営方法を考えていくことが必要である。

< 学校、地域、保護者が連携したPTA活動 >

所在地: 富山県射水市
全校生徒数: 246名

学校の特徴	平成25年に2つの中学校(奈古(なご)中学校、新湊西部中学校)が統合し、創立して8年目を迎える。「真理を探究し、人々との交わりに喜びをもち、粘り強く努力する生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、学習や部活動、生徒会活動に生徒や教職員共に積極的に取り組んでいる。
地域の特徴	富山県のほぼ中央部に位置し、校区は旧新湊市の中心部及び庄川河口の両岸に位置している。漁港があり、県下でも海産物で有名な地区となっている。また、町内毎に獅子舞や曳山があり、春や秋の祭礼のときには多くの人で賑わう。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

清掃ボランティア活動の推進

○漁港清掃や花火大会後の清掃活動

漁業共同組合主催の漁港清掃に生徒やPTAが毎年参加している。毎回、漁港のゴミの多さに驚かされることになり、環境保全の大切さを考える機会となっている。

また、毎年7月末に行われる校区の花火大会の翌日の清掃ボランティア活動にも積極的に参加しており、令和2年度に海王丸財団から、この活動に対し感謝状が贈られる予定になっている。

○親子環境整備作業

毎年8月にPTAと生徒、教職員で学校及び周辺的环境整備作業を行っている。敷地内の除草や窓清掃、エアコン清掃等の活動を分担して実施し、生徒がよりよい環境下で2学期を迎えられるように協力している。



3校PTA連絡協議会

校区の小学校2校と本校を合わせた3校のPTA役員や教職員、自治振興会長、地域ボランティア、主任児童委員、SCやSSW等が参加し、年1回、協議会を開催している。学校の様子や地域の様子等の意見交換を行ったり、夏休み期間中の夜間巡回を行ったりして、互いの情報共有の貴重な場となっている。

親学び講座

年1回、保護者と教職員が子供の接し方について学ぶ機会を設けている。令和元年度は、兵庫県立大学の竹内先生を招聘し、「スマホ時代の子供たちのために」と題して講演会を実施した。



バザー活動(運動会や学習発表会)

年2回、運動会と学習発表会のときにバザーを実施し、うどんややきそば、どんどん焼き等を調理している。生徒や保護者に好評で、役員も毎年意欲的に活動している。

成果

- ・PTA連絡協議会を校区の小中学校や地域と連携して進めたことで、幅広い情報が集まり、児童生徒の様子の把握に役立った。
- ・様々な清掃ボランティア活動を推進していることで、生徒会でも空き缶回収等の活動を企画するなど、生徒の環境美化に対する意識の高まりがみられた。

課題

各専門委員会が継続して各部の活動を行っているが、生徒減少に伴い、一般会員の参加率が少しずつ減少傾向にある。活動内容を精選し、魅力ある活動を工夫していきたい。

できるひとが できるときに できることを

所在地: 石川県金沢市涌波2-5-1
 全校生徒数: 600名

学校の特徴	昭和47年に開校。台地を利用して建築されているため、1～4階建ての普通教室棟と2～5階建ての実習教室棟・体育館がT字状にて構成される、特徴的な建物です。卒業生が多く住む地元からは「小学校」ではなく、愛称「みなこだ」で呼ばれ、地域から愛されています。
地域の特徴	金沢市中心部から山手方面に約4キロの位置。新興住宅地もあればりんご畑もあり、また金沢市の歴史に欠かせない「辰巳用水」が校下(校区)を東西方向に流れており、江戸の頃の洗い場などから、当時の暮らしぶりを地域のあちこちに垣間見ることができます。

活動内容

特徴的な活動・運営体制



個々の生活時間を大切に作る組織づくり「できるひとが できるときに できることを」

<https://minakoda-ikuyukai.jimdo.com>
<https://onmasaurus.jimdo.com>

- ①副会長の増員による役員の仕事量を軽減、分散。(平成26年まで: 6～8名 → 平成27年以降: 10～11名)
- ②ホームページの立ち上げと充実化 (タイムリーに発信し、育友会活動をより身近に ⇒ 対内外への育友活動の見える化。)
- ③役員会の時間短縮(平成26年まで: 夜10時を越えることも ⇒ 平成27年以降は、20時半まで。21時には解散)
- ④伝統と精神は受け継ぐ。が、活動内容は随時見直し、手段や方法はその代ごとに変わってもよい。
- ⑤おんまザウルス(父親の会)の充実化により、就任期間に縛られず、誰もがちょっと手伝いたい、という気持ちで参加できる。
- ⑥例年になく楽しいアイデアこそ実現するように進める ⇒ 会の活性化、採用される喜び、参加する楽しさアップ
- ⑦育友会役員が愉しいと、次のステップ、中学校PTAや公民館委員、ボランティア団体などへの参加へと興味を持って進まれる方が多くなる ⇒ 地域内の繋がりが増え、活性化していく。大人も誰もが、「青春、日々新た」
- ⑧子どものためだけではない「子どもと大人全員のために」という俯瞰的な視線で進め、共に成長していくスタンスでの活動。



OB・OGも地域の方も、育友会の一員に

- 育友会組織に地域の方が参加できるような仕組み。⇒ 地域学校協働活動の活性化へ
- ◆おんまザウルス(有志父親+OB。親子キャンプや食育料理教室等、イベント立案実施)
 - ◆コーラスアップル(母親・OG参加。地域内外にてステージに立つ)
 - ◆スクールサポート隊(地域の方々を含めた、登下校時の児童・地域見守り活動)



成果

- ◆上記の愉しくなる工夫により、長い任期を設けなくとも、約7割が役員に立候補して頂けている。これにより、育友会役員活動の経験者が多く、引き継ぎをしながら運営を行える。
- ◆実行委員会(役員会)の時短推進により、役員者の生活時間の確保と教職員の残業削減
- ◆役員の仕事の見直し、強制感の低減、負担減を進める一方、活動する楽しさを増やしたことで育友会の原点が見えやすくなり、携わる人数を増やせ、仕事のスリム化が図れた。

課題

今後、子どものためによかれと思いい行事を増やしていくと、忙しい中でも育友会活動に携わりたい人が離れて行ってしまふ。誰もが気軽に参加でき、楽しく関わられる組織の在り方、活動づくりの引き継ぎをしっかりと行っていきたい。

<学校と地域、PTAが連携し、子どもたちの成長を支える>

所在地: 福井県福井市
 全校生徒数: 519名

学校の特徴	昭和22年5月1日に福井市第5中学校として開校し、聖徳太子の「十七条の憲法」の中にある「和をもって成す」の精神を大切にする学校として「成和」を校名にした。「誠実 敬愛 自主」を校訓に日本一の中学校をスローガンに、日々教育活動に励んでいる。
地域の特徴	福井市の中心地に位置し、生徒数500名を超える大規模校である。柴田勝家公が入城し今の福井市の礎を築いた。また幕末には橋本左内が日本の夜明けのために活躍した。その精神に習い、市内の中学2年生が立志式を行い、自主自立を誓う。コシヒカリを排出した県で、さらにブランド化したいちほまれを作り出した。
活動内容	成和中学校PTA役員会を中心に、5つの専門委員会と各学年部会で組織し、各種活動を行っている。また、校区の3小学校PTAとも協力し、小中で連続した活動を行い、生徒の成長を後押ししている。

特徴的な活動

<施設委員会>

アルミ缶・エコキャップ回収

・年4回、生徒会が呼びかけて回収を行い、環境保全に取り組んでいる。

資源回収

・夏季休業中にPTAが中心となり、地域に働きかけ、資源回収を行っている。

<教養委員会>

保護者向けの教育講演会

子育てやコミュニケーションといったテーマをもとに講師を招いて、年1回の講演会を実施している。

<生活委員会>

校区内巡視

保護者と教員共同の登下校の指導、夏季休業中の巡回指導などを行っている。

<各学年委員会>

各学年で懇談会を開催したり、キャリア教育に関する1年生の「わくワーク講座」の講師や2年生の職場体験の支援活動、3年生の進路説明会の協力などを行っている。

<母親委員会>

制服リサイクルバザー

使わなくなった制服や体操服を回収してバザーを実施している。

<広報委員会>

広報誌作成

年3回、広報誌「成和」の編集、発行を行っている。



特徴的な運営体制

【家庭・地域・学校協議会の設置】

構成員は、校長・教頭・校区公民館長・青少年育成市民会議支部長など。年に3回、学校行事を参観した後に協議会を実施している。

特徴的な地域住民と連携した取組

【成和カンタービレの活動】

現役&OBの成和中PTAによる混成合唱団による活動を行っている。校下3小学校区にある公民館主催で行われている催事に「せいわかンタービレ」が参加し、合唱を披露している。保護者、教員、地域の方等総勢30名程が毎年携わっている。

【あいさつ運動】

年3回、休業明けの早朝に3~4日間続けて活動している。



成果

- ・PTA役員会を中心に学校行事や地域の活動に積極的に関わることで、学校や地域との連携が高まっている。
- ・学校と連携を密にすることで、学校の活動を理解し、学校行事に積極的に協力する保護者が増えてきた。
- ・PTA行事への保護者参加が増えてきた。

課題

- ・役員会や各委員会の取組を工夫したり、見直しを図ったりするなどして、効果的な活動や連携の充実を考えていく必要がある。
- ・SNSなど今日的な課題に取り組んでいく必要がある。

< 伝える・伝わる思い >

所在地: 福井県福井市乾徳
 全校生徒数: 930名

学校の特徴	明治41年に開校した商業専門高校であり、これまで35,000人を超える卒業生を輩出し、地元の産業界や経済界に大きく貢献してきた。部活動への加入率も高く、5学科8クラスの生徒全員が「文武両道」を心掛け、生徒同士が互いに励まし合い競い合い、充実した学校生活を送っている。
地域の特徴	福井市北西部の閑静な住宅街に位置し、東に白山連峰、南には足羽山を望み、九頭竜川と足羽川に囲まれた自然豊かな地域である。公共交通の便に恵まれ、生徒は各地域から通学している。現在、北陸新幹線開業プランが策定され、誘客に向けたPRや県内受入準備が進められている。
活動内容	特徴的な活動

「伝える・伝わる三行幸告」コンテスト

健全育成委員会では、子どもたちが、日頃言葉にして表現することができない「感謝の思い」を三行の詩に込めたコンテストを平成23年から主催している。全校生徒が作品を提出し、健全育成委員会による一次審査、全校生徒の投票による二次審査を経て入賞作品を決定し、10月の文化部発表会時に表彰を行っている。このコンテストの実施により、自分の言葉に自信をもって他人に思いを伝えられるような生徒が多くみられるようになった。

<最優秀賞作品>

“うるさいな”の5文字は言えるけど
 “ありがとう”の5文字は言えなくても、
 心の中では何百回も言ってます。



地元での学びと将来に向けての学び

進路研修委員会では、ビジネスに関する専門知識を深めるため、生徒とともに2年生の保護者を対象に、地元の大学へ視察研修を行っている。また、1・2年生の保護者を対象に、専門学校の方を講師に招き、大学受験までの準備、進学や就職活動に向けての心構えについて詳しく学んでいる。

生徒とともに保護者も楽しむ

総務委員会では、生徒たちにとって最大のイベントである学校祭において、PTA名物「焼きそば」を提供している。全校生徒の半数以上が購入するほど、毎年趣向を凝らしたメニューに生徒も保護者も出店を楽しみにしている。また、保護者同士の絆を深めるPTA懇親会の企画・運営を年3回行っている。



〇連携した取組

夜間巡視

8月に開催される福井フェニックスまつりでは、福井市少年愛護センターと連携し、開催期間の3日間、他校のPTAとともに夜間市内巡視を行っている。

地域の底喰川清掃

地域の公民館と連携し、本校北側を流れる底喰川の清掃活動に参加している。環境部会の方から説明を受け、ボランティアの生徒とともに、草むしりやごみ拾いなどを行っている。



〇その他の活動

- ・PTAだよりの発行（7月、3月）
- ・朝の登校挨拶運動（春、秋）

成 果

・調査広報委員会では、子どもの学校生活やPTA行事など、PTA会員が、今、何を知らなかったのかを的確に判断し「福井商業PTAだよりの発行している。「三行幸告」を掲載することで、生徒の素直な思いが保護者にも伝わり、親子の絆がより深まる良い機会となっている。
 ・学校祭では、前年度の役員も模擬店に参加することで、PTA会員のつながりも深まり、継続的な活動が安定して行われている。

課 題

・PTA運営委員や学級委員のみならず、より多くの一般会員の方が気軽に参加できる工夫が必要である。
 ・他校での取り組みを参考に、活動の固定化を改善していく。

< 地域と共に育つ学校（PTA） >

所在地: 山梨県北杜市大泉町
 全校児童数: 児童248名

学校の特徴	昭和50年に村の2つの学校が統合し開校。体力づくり、学校給食、学校保健、国語力向上、地域学習などに先進的に取り組んできた。
地域の特徴	風光明媚、自然豊かな地で、昔は稲作や酪農・高原野菜を中心とした農業地帯であったが、昨今は観光業関係者や芸術家に移り住み、子育て世代や熟年世代の移住者も増え、住みたい田舎日本一にもなっている。様々な人々が住み始めているが、地域の人々とのつながりが深い。
活動内容	泉小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と連動した活動、「総務部」「補導部」「保健体育部」「報道部」の各専門部による活動。学校行事に対するPTA会員の協力。地域保健委員会と地域諸団体と共同で、児童の健康維持向上に向けた啓蒙活動。青少年育成大泉地区民会議・大泉地区児童生徒会と連携した活動。

特徴的な活動・運営体制

* 泉小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）との連携

PTAとは別組織であるコミュニティ・スクールの委員に会長・前会長等が入り、地域の役職の方々と共に学校経営を承認したり、学校運営に参加協力したりしている。年間4回の会に参加。PTA会員個々のコミュニティーを生かし、学校と保護者・地域住民・地域諸団体の繋がりを強め、学校教育に参画しやすい状況を作っている。



* 青少年育成大泉地区民会議・大泉地区児童生徒会との連携

本会役員や専門部員が会の構成員として参加し、泉小中学校児童生徒の健全育成、育成会活動の支援を行っている。年4回（5・7・10・12月）

○地域住民と連携した取組

◇ふるさと大行進への協力◇

PTAとコミュニティ・スクール、地域住民が連携し、全校児童の地域学習の際に安全指導や見学先との交渉や説明役をしている。例年5月下旬に町を東西に分け2年サイクルで、地域巡りを全校で行っている。



◇「地域保健委員会」との連携◇

小中の児童生徒の健康状態を理解し、地域全体で児童生徒の健康維持向上を図っている。小中PTAと地域保健関係者合同の会議を年1回開催し、その内容を町全戸へ回覧している。

○その他の活動

交通安全教室、救急法講習会、芸術鑑賞会、親子研修会、給食試食会などの企画・運営
 図書の読み聞かせ など

成 果

- ・ PTA会員の声を積極的に取り入れることにより、授業参観・PTA役員会・PTA行事への参加者が増えている。
- ・ PTA役員の一部がコミュニティ・スクールの委員になることにより、地域の様々な団体とのつなぎ役となり、地域の学校教育への協力体制が組織化され、より強化されるようになってきた。

課 題

- ・ 少子化や地域組織構成員の高齢化の中で、諸団体と連携し、持続可能なPTA活動を維持していくことに難しさがある。

つながいを大切に

～多様性を認め、理解し、助け合える環境を目指して～

所在地：山梨県南都留郡富士河口湖町
 全校生徒数：106名

学校の特徴	本校は平成6年に開校した「山梨県立甲府養護学校富士吉田分校」がその前身であり、平成8年に現在の地に県内初の知肢併置校として開校した。学校教育目標を（1）自立をめざし、社会の中で豊かにたくましく生きていく力を育てる。（2）児童生徒一人一人の能力や個性を最大限引き出し生かす。（3）確かな学力、豊かな情操、健やかな体を育む。とし、全ての児童生徒の個に応じたきめ細やかな教育課程を編成している。
地域の特徴	校舎は、山梨赤十字病院、障害者福祉の拠点としての山梨県立富士ふれあいセンター及び身体障害者支援施設はまなし寮と隣接している。雄大な富士の麓に抱かれ、森林が広がり、近くには富士五湖があるというように、自然環境にも大変恵まれた学校である。
活動内容	会員からの意見を積極的に取り入れながら理事会と「奉仕活動部」「研修・広報活動部」「交流活動部」の専門部による活動を行っており、特別支援学校知的障害教育PTA連合会（県・関東甲信越地区・全国）や肢体不自由特別支援学校PTA連合会（関東甲信越地区・全国）等の外郭団体にも属して活動している。

特徴的な活動

PTA主催ふじざくら夏祭り

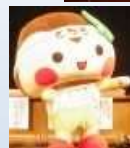
～ 地域の方々との大規模な交流活動！！ ～

- 夏祭り実行委員会を中心に準備・運営。
- 在校生、卒業生、地元の大学2校からの学生ボランティア、地域の福祉事業所関係の方々、地元企業5社からの協賛、教職員を含めて320名を超える参加者。
- 毎年7月初旬の休業日に開催。
- くじ引き、射的、ヨーヨー釣り、ボールプール、ダンス、ボーリング等のゲームや自由遊びと豪華景品抽選会。



外郭団体への積極的な参加

- 関東甲信越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会研究協議会山梨大会へ副主管校として参加運営。参加者41名。
- 全国特別支援学校知的障害教育PTA連合会研究協議大会関東甲信越大会栃木大会に10名の参加。



専門部の活動

- 研修・広報活動部主催で跡見学園女子大学教授を講師として招聘し「防災教育」についての研修会を実施。
- 交流活動部主催でパラリンピック種目体験と親睦会を実施。
- 奉仕活動部主催で、グラウンドの除草作業等の奉仕活動を実施。



成果と課題

- ・アンケート調査等から会員の意見を吸い上げ、活動に反映させることで主体的に取り組んでいる。
- ・負担軽減を図るため、副会長が率先して会長を補佐し、役割分担できたことで、運営の効率化を図れた。
- ・父親の参加が少ないので、時間設定等で工夫を図り、参加を呼びかけ、体制を強化したい。

<家族と園の育ち愛・みんな元気な暁の星>

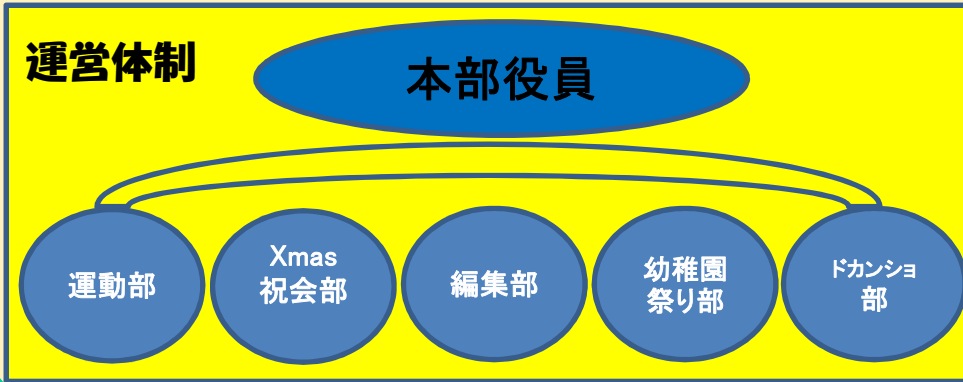
所在地：長野県小諸市田町2-3-33
 全校生徒数：園児102名

園の特徴	昭和30年に開園し、子どもの学ぶ力と自由に伸びようとする力を大切に「認めて・ほめて・愛して育てる」教育を実践している。
地域の特徴	小諸市は長野県東部に位置し、小諸藩の城下町である。市の中央部を千曲川が流れる詩情豊かな高原都市。古くから梅花教育など教育活動に熱心に取り組む地域であり、幼稚園と保護者と地域がつながり、みんなで見守る雰囲気の中、子どもたちが育まれている。
活動内容	保護者相互のつながりが強く、全員が何らかの形で参加し、保護者と教職員がかかわり合いながら、楽しくPTA活動を行っている。

特徴的な活動

本部役員を中心とした5つの部会が園と連携を取り、行事等に積極的にかかわっている。幼稚園祭りやPTAが主催し開催するバザーは、卒園児や地域住民も楽しんで参加している。保護者全体で取り組むことで子どもたちとのかかわりを深めると共に保護者同士の交流の場となり幼児教育の理解にもつながっている。

運営体制



成果

兄弟姉妹関係の有無、保護者の就労・妊娠など個人の状況に合わせて「無理なく・楽しく・気軽に」参加できるように組織の改編や企画のスリム化を行い、園と家庭が同じ思いで子どもたちにかかわれるように工夫することで、子育ての情報や悩みを共有し、子どもと保護者と園が共に成長することができた。

○地域住民と連携した取組
 ◇地域活動への参加◇

PTAと園が連携し、例年8月に行われる地域行事「小諸ドカンショ祭り」へ暁の星PTA連として参加。衣装づくりもPTAのドカンショ部会が毎回手作りし、祭り当日、見に来られる市民の皆さんからも好評を得て、祭りを盛り上げている。



「ドカンショ祭り出発式」

課題

少子化による園児の減少や働く保護者の増加等により、PTA活動での人手不足が課題となっている。今後、組織編成や活動内容の見直しを行い、さらに負担を軽減しながら、子どもたちとのかかわりを持つ方法を模索したい。

【長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課】

PTAが主体となって取り組む、地域に開かれた学校づくり

所在地:長野県大町市大町4528
 全校生徒数: 227名

学校の特徴	昭和36年に開校し、今年令和2年で創立60周年を迎えた。学校の基本理念「対話する学校」を合言葉に、平成27年度から協働の学びを軸とした授業に全教科で取り組んでいる。この授業実践を通して、論理的思考力を高め、自立した学び手を育成することを目指している。
地域の特徴	雄大な北アルプスを望む山岳文化都市、大町市は、立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口にあたる。黒四ダムと呼ばれるアジアでも有数の規模を誇るダムへのアクセス地でもあり、北アルプスや風光明媚な湖など観光地を抱え、日本国内のみならず多くの外国人観光客も含めて、年間約290万人が訪れる観光都市である。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

夏季「短期カルチャースクール」開催

- 学校・家庭・地域の3者によるコミュニティスクール組織の取り組みとして、夏休み期間中に開催。
- ・ビジョンヨガ
 - ・伝筆教室
 - ・フラワーアレンジメント
 - ・パステルアート
 - ・レジン細工作り
 - ・ネイルアート
 - ・茶道(表千家)
 - ・食育料理教室
 - ・スラックライン体験
 - ・手作り絵本
 - ・木工
- 令和元年は以上11講座で開催。



【講師、保護者、生徒、地域の小学生を含め総勢184名の参加者を得られた】



「地域展」の開催

- カルチャースクールで作られた作品と、地域の方々の作品を集めて、展示ブースを整備し、「地域展」として文化祭に展示した。



【文化祭で、学校職員の作品とともにカルチャースクールで制作した作品や、地域の方の様々な作品も展示した】

「衣類回収」の実施

- 地域の方々が学校に足を運んでいただける機会として年2回衣類回収を実施。PTAの枠にとどまらず、広く地域の方に呼びかけて多くの衣類が集められた。



【集められた衣類は、中古衣料として海外へ輸出されたほか、産業資源として工場用ウエスなどに活用された】

成果

- 地域の方に学校へ来ていただくという面では、文化祭やカルチャースクールなどのイベントに大勢の方に来ていただいた。「自分たちの学校」であるといった当事者意識をもち、「第一中学校」で自分は何ができるのかを考え、学校、家庭、地域が一体になって「誰もが安心して生活できる幸せな第一中学校」にする意識がPTA中心に位置づいてきている。

課題

- 活動の周知を進め、より多くの地域の方々に学校に来ていただくことを継続していくとともに、学校支援ボランティア等を活用しながら、今後は生徒が地域へ出て活動をする場や、その機会を増やすため、PTAが支援できることを模索していく。

【長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課】

< さらに「協同」するPTA活動を目指して >

所在地：岐阜県各務原市蘇原新生町2-63
 全校生徒数：740名

学校の特徴	昭和46年に開校し、2021年度には創立50周年を控え、17,000名あまりの卒業生を輩出しています。今年度から普通科単独校としての新たなスタートを切りました。校訓は「開拓者精神」、そのための具体的行動目標を「創造・挑戦・協同」と定めています。各務原市出身の生徒が60%以上を占める、地元にも根差した高校でもあります。
地域の特徴	各務原市は、人口15万人余りの、市制56年目の市です。自衛隊岐阜基地を有し、毎年秋の航空祭には多くの人々が訪れます。また、「岐阜かがみはら航空宇宙博物館」や、「岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トぎふ」などの特長のある博物館もあります。最近、「各務原キムチ」を特産として推していこうと、市や多くのお店が取り組んでいます。

活動内容

各務原高校のPTA活動

15名の本部役員がしっかりとコミュニケーションをとり、一般の会員の方々や学校との連携を大切にしています。

文化祭カレー販売：文化祭初日に、毎年PTA会長の名前を付けたカレーを販売。今年は「園ちゃんカレー」という名前でした。毎年ほとんどの生徒、及び多くの保護者がチケットを購入し、800食以上を販売します。



あいさつ運動：年5回行っています。1回目は本部役員と生徒会役員で、2回目からは合計12日間、年2回の当番制でHR委員の保護者、そのクラスの担任副担任、生徒会執行部やクラス代表、MSリーダーズ(生活委員)の生徒たちが、校門で登校する生徒に挨拶をします。



学校・地域をキレイにする日：10月初旬の土曜日午後、PTA役員、有志の保護者、生徒たちで学校と周辺を掃除します。毎年250名ほどが参加し、2時間ほど雑草取りなどの作業で汗を流します。



○ユネスコスクールとして
 岐阜県の高校では5校のみのユネスコスクール活動として、アフリカの子供たちのために服を集める「服のチカラプロジェクト」に取り組みました。PTAとしても文化祭や「学校・地域をキレイにする日」を利用して協力しました。



○その他の活動
 PTA校内研修(講演会)：4月と9月に保護者向けの講演会を開催しました。
 PTA校外研修(大学見学会)：6月に保護者向け大学見学会を企画し、50名の保護者が参加しました。



成果

- ・学校祭や校外研修(大学見学)の参加者が増え続けている。あいさつ運動に保護者も協力的であった。
- ・役員会には毎回ほとんど全員が参加し、和やかな雰囲気の中で活発な意見が交わされ、協同するための活動改善につながっている。

課題

学校祭や校外研修、あいさつ運動には多くの保護者に参加してもらっているが、PTA総会や講演会の参加はまだ少ない状況が続いている。さらに多くの方々にPTA活動を身近に感じてもらい、協同につなげていきたい。

【岐阜県教育委員会学校支援課】



「育てよう心とからだ」
 ～子どもと一緒に話そう！遊ぼう！体験しよう！～

所在地：静岡県駿東郡小山町
 園児数：全園児38名

学校の特徴	少子化の影響を受け、2地区の幼稚園が合併し、平成22年度より駿河小山幼稚園が開園した。金太郎誕生の地である、ふるさと小山で育ったことに誇りをもち、「強く優しい子どもの育成」をめざしている。
地域の特徴	目の前には鮎沢川が流れ、背後には足柄峠がそびえ立ち、自然環境が豊かである。町の中心地区にあり、人口減少・少子高齢化が進む中で、「子どもはこの町の希望、ひかり」という地域愛にあふれ、地域の願いの中で育まれている。
活動内容	園・保護者・地域の人々で子どもを育てていくという理念のもと、例として、駿河小山っこ祭り・バザー等、保護者同士の強い団結力を生む活動、パパ・ママレンジャー活動等、子どもと共に行う豊かな体験活動、お年寄りと交流会を実施する等、地域に根ざした活動を行っている。

特徴的な活動・運営体制

会員相互の学び

- ①駿河小山っこ祭り・バザー
 ・PTAが企画・運営、年長児がポスターを作成、地域の方の参加を呼び掛けた祭りを実施した
 ・バザーの伝統の手作り品は、アイデアたっぷり製作で、大好評！
- ②見分を深める家庭教育学級
 研修旅行を含め、年10回の講座を実施した
- ③防災情報の共有
 大雨時の川の氾濫等に備え、防災委員会で話し合った内容を保護者・職員に周知した



駿河小山っこ祭りの様子



バザーの手作り品

子育ての学びと共有

- ①パパ・ママレンジャー・PTA劇
 防火パレード、お泊り保育、園行事の手伝い等、職員と共に豊かな体験を支えた
- ②降園指導・園庭開放
 ・保護者と共に、日常的あいさつ、感謝を伝える
 ・園庭開放は子どもの安全を配慮しながら保護者同士の交流やPTA活動の情報交換の場になった
- ③リサイクル活動
 子ども達も古紙・アルミ缶の回収に参加することにより、物を大切にすることや資源の分別を学ぶ機会になった



パパ・ママレンジャー参上！



パパ・ママレンジャーも活躍したお泊り保育

地域と共に

- ①地区行事・創年の集いへの参加、特別老人養護施設での交流
 ・地域行事へ親子で積極的に参加し、大会を盛り上げた
 ・地域のお年寄りとの交流会では、遊戯を披露する等の活動によりふれあうことで、優しさや思いやりを学んだ
- ②地域への情報発信
 子どもたちの日常の様子、遊ぶ姿など地域へ発信し、見守りの安全を確保した
- ③町の食育計画への参加
 町の農業委員等の協力を得て、野菜の畑作りから収穫・料理まで継続的な食育を補助し、学びに繋がった



地区行事へ参加



お年寄りとのふれあい

成果と課題

OPTAが中心で行った行事は、子どもの豊かな学びや体験に繋がり、更に保護者同士が楽しく取り組み、園と保護者・保護者同士・親子の関係が深まった。○会員数が減少する中でのPTA活動であったが、無理なく、楽しく進めた活動により、保護者同士が子どもたちや園に対する思いを共有し、PTA活動が仲間づくりへと繋がった。○食育計画への参加等、地域と共に進めていく活動を継続していくことが子どもたちの心の財産となり、地域の文化となることを期待する。○今後はこども園へと移行するが、親が子育てを楽しみと思えるPTA活動のあり方や参加しやすい体制を検証していく。

困難も富っ子の仲間と一緒に乗り越え、楽しもう

所在地: 静岡県裾野市
 全校生徒数: 494人

学校の特徴	1871年(明治4年)開校の伝統ある小学校である。学校を支援する「富っ子スクール」の様々な取り組みを通じて、地域の方との交流を大切にしており、地域に開かれた学校づくりや地域で子供を育て見守る活動を推進している。
地域の特徴	富士山の麓である、裾野市の北部に位置し、周囲を愛鷹山や箱根山に囲まれた自然豊かな地域である一方、自動車メーカーの研究所等が所在し、工業地域の一面も併せ持っている。
活動内容	校舎の耐震補強工事に伴い、グラウンドに仮設プレハブ校舎を建設し、引っ越し作業を行うことで、児童には活動の制限や生活環境の変化など、大きな困難が予想されたことから、PTA目標を『困難も富っ子の仲間と一緒に乗り越え、楽しもう』に設定し、児童相互、保護者、地域の協力や工夫により学校生活がより充実するよう活動している。

特徴的な活動・運営体制

静岡茶でつながる学校・家庭・地域の食育

○お茶に関する体験活動・・・お茶摘み体験ー地元の製茶工場で製茶ー婦人会の協力によるお茶淹れ体験ー茶手揉保存会の方を招いた手揉み茶体験



お茶摘み体験



お茶の試飲

○地元の老舗お茶屋さんを講師として招いた、特別講座「簡単・美味しい日本茶の淹れ方講座」の開催
 →家族でお茶を一緒に楽しむ時間を持つことを期待



講座の様子



「交通安全リーダー」としての情報発信
 ～子供から子供！そして地域へ！！～
 ○6年生の総合的な学習で交通安全リーダーとして、通学路上の危険箇所について自ら調査、発信



交通安全リーダー活動の様子

○調査した危険箇所を同地区の児童に共有、「交通安全リーダーと語る会」では交通安全指導員や行政職員等地域の方に発表
 →標識やスクールゾーンの設置に繋がった



危険箇所の周知



交通安全リーダーと語る会

○地域住民と連携した取組
 ◇PTA資源回収では、各地区理事より各区長へ、資源回収への協力及び案内文書の回覧等を依頼し、地域の協力を得ている。
 ◇地区の主な行事(桜祭り・夏祭り・コミュニティ祭り)に参加。児童もボランティアとして駄菓子や鉢花等の販売を手伝っている。

○校舎移転に伴う引っ越し作業
 プレハブ校舎への引っ越しを、学校と保護者が「自前」で行った。重たいものを保護者、軽いものを児童に参加してもらい運んだ。
 ○その他の活動
 PTA親子奉仕作業、登校指導、下校巡視、図書ボランティア、読み聞かせ など



図書ボランティア活動



読み聞かせ活動

成果

○お茶に係る食育活動の推進の結果、児童保護者ともにお茶の知識を深め、家庭でも飲む機会を増やしたいという意欲を高めた。
 ○登校指導や下校巡視の結果、保護者の「暖かい目」により、児童の安全な下校を確保するとともに「監視の目」により不審者等の出没を抑制し、児童の安全への意識づけに繋がっている。

課題

子供たちが「健やかに生きて育つため」、子供たちを「守るため」、「一緒になって参加できるような仕組みを整えるため」に、PTAとしてすべての保護者に分かるような、やさしい言葉で保護者に伝えていくことで共通認識を持てるようにすることが課題である。

【静岡県教育委員会社会教育課】

〈地域と連携し子どもたちの健全育成をめざす平小PTA〉

所在地: 愛知県西尾市平坂町輪当1
 全校児童: 510名

学校の特徴	明治5年8月に「平坂郷学校」として創立し、今年で148年目となる伝統校。校内には樹齢100年を超える桜並木があり、毎年4月に学校、町内会、PTA共催で「さくらまつり」を開くなど、地域に愛され続けている学校である。
地域の特徴	校区は西尾市の西部、矢作川が三河湾に注ぐ河口近くに位置しており、古くは水運と製造業で栄え、現在もその名残をとどめる鋳物工場などが多い伝統的な街である。
活動内容	運営体制の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・組織は役員会・実行委員会・常任委員会(6)・地区委員会で構成され、各会が兼務することで意思疎通を図っている。 ・地区委員は子供会役員も兼ねており、PTAと子供会の橋渡し役となっている。 ・会則の改正など重要な案件については全会員に事前アンケートを実施し、円滑な運営に努めている。

広報委員会

PTA新聞「さくら通信」はA3サイズの両面カラー刷りで年3回発行 H30全国奨励賞



スポーツ委員会

運動会のPTA競技を運営するとともに、当日の準備・後片付けでも大活躍



後片付けを手伝う役員 PTA競技綱引き

保健委員会

子どもとともに活動する各種の行事の運営



学校保健委員会 親子給食会

地域と連携した取組

「さくらまつり」

校区最大行事.PTA役員が抹茶コーナーを担当し観者の好評を得ています。



「防災フェスタ」

自主防災会と町内会、学校、PTAが協力して行う総合防災訓練です。



PTA年度はPTA役員が水消火器訓練を担当

特徴的な活動 「PTAを支える6つの委員会」

コミュニティ委員会

学校・家庭・地域の橋渡しの活動



登下校の交通当番 親子クリーン活動

リサイクル委員会

物を大切にする心の育成



体操服リサイクル 資源寄付

カルチャー委員会

会員の交流を図る各種の教室



抹茶羅作り ヨガ体験

成果

「PTA組織が中心となり、子供会、学校、地域と連携しながら活動を進め、校区全体が活性化してきた。」と町内会長会より高く評価された。

課題

児童数減少に伴う区の再編と役員の多忙化解消

【愛知県教育委員会生涯学習課】

<地域と共に！ 防災を三者の協働で>

所在地：愛知県名古屋守山区
 全校生徒数：699名

学校の特徴

昭和35年に緑丘商業高校として、地域社会や県民の大きな期待を受けて開校し、約18,000名の卒業生を社会に送り出してきた。平成30年4月より「緑丘高校(総合学科)」になり、「創造性と意欲あふれる人材の育成」を目指し、一人一人の多様な夢を実現する学校に生まれ変わった。

地域の特徴

所在地である守山区は、名古屋市の北東部にある丘陵地帯に位置し、大都市にありながら緑豊かな自然環境が今も残っている。近くには国の史跡に指定されている志段味古墳群があり、2019年4月に「歴史の里しだみ古墳ミュージアム」がオープンした。古墳の発掘調査には、本校生徒もボランティアとして参加してきた。

特徴的な活動・運営体制

防災訓練を学校・PTA・自衛隊の三者の協働により実施

- 南海トラフ巨大地震の発生を想定した避難訓練を、学校近くに駐屯する陸上自衛隊の協力を得て、多面的な防災訓練として実施
- 自衛隊の方からは、実際の災害派遣で活躍した車両や器具についての説明、災害時の救助活動の話、そのほか自衛隊車両を用いた炊き出しを実施
- 野外炊具1号(移動式キッチン車両)で炊かれたご飯で、PTA役員も加わり約1000個のおにぎりを作って、生徒たちに配布
- 救助活動の実際を知り、自衛隊員の迅速かつ正確な行動を目にすることで、生徒・PTAともに防災意識の向上に大きな効果



成果

生徒は炊き出しや救助器具の説明とともに、自衛隊員から阪神・淡路大震災などの災害時の救助活動の様子やアドバイスを聞くことにより防災リテラシーを向上させている。また、参加したPTAも自衛隊との共同での避難所の開設や運営の実際を経験することで、地域における防災意識を高めている。このように学校・PTA・地域の三者が協働することにより、絆を深めている。

○生徒と共に！ お互いの顔を見ながら

文化祭では模擬店を出店したり、体育祭では綱引きや玉入れなどの競技に参加したりするなど、生徒と共にお互いの顔を見ながらのPTA活動を目指している。



○時代と共に！ 時代から柔軟に学ぶ

研修会や講習会を通じて、会員相互の学びの機会を作っている。

昨年は、研修会で東海地方に伝わる安産祈願・子供の成長・無病息災を願う「さるぼぼ人形」を制作し、講習会ではLINEを利用したコミュニケーションやトラブルについての講習を受けた。



課題

より多くの会員がPTA活動に主体的に関わるよう、意識付けや組織強化を今後も継続していく必要がある。

子どもの主体者意識を育み、子どもとともに防災の地域づくりを

所在地：三重県北牟婁郡紀北町
 全校生徒数： 134名

学校の特徴	本校は東紀州の熊野灘に面した紀北町南部に位置する。相賀小学校、矢口小学校、および一部三船中学校区の生徒が通学する比較的広い校区を持ち、生徒数134名、学級数7学級(内、特別支援学級1を含む)、職員数30名の紀北地域内では中規模の学校である。
地域の特徴	大台山系を背に、熊野灘を前に、海と山がおりなす風光明媚な地域にある。奇跡の清流として有名な銚子川や世界遺産熊野古道(馬越峠)には多くの観光客が訪れている。過疎化の課題に直面しているが、豊かな農林水産資源を活用した産業振興の試みが行われている。

学校の防災学習を柱に地域と連携して防災意識の向上を推進

○防災学習への参画・支援

program1「防災訓練」

- ・目標は、標高50mへの高台避難。
- ・避難訓練の見守り支援
- ・地域総合防災訓練に共に参加



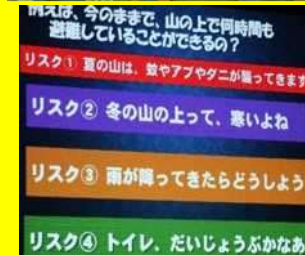
program2「防災学習(避難所経営)への参画・支援」

・高台の自主防災倉庫の一部を借り受け、H30年度から、「潮南中防災備品の整備活動」を始める。山上で酷暑期や厳寒期を想定して、生き延びるための必要物資は何かを考え、生徒が管理している。

・生徒は避難所経営経験者から指導を受け、避難所運営ゲームで運営ノウハウを自主防災組織の方たちとともに学ぶ。

program3「子どもの防災の学びを共有」

・学校では3学期に防災学習の総まとめと地域への情報発信の場として、保護者や地域住民を招いての「防災学習全校振り返り」を行っている。保護者が防災意識を高めるよい機会となっている。



○地域と連携した取組

- ◇キャリア学習が円滑に行われるための支援◇
- ・積極的に体験受け入れ先となる。
- ・職場体験学習の実施に際し、体験受け入れ先の開拓や協力要請を支援している。
- ・体験先の商店等をお客として訪問し体験活動への支援、励ましを行っている。



○その他の活動

- *地域清掃活動「クリンクリン作戦」への参加
- *地元花火大会時の夜間パトロール
- *町Pユニカール大会への参加
- *校内マラソン大会の見守り
- *教育課題について学習する機会として家庭教育学級を開催
- *部活動への後援



成果

- ・保護者や地域住民が積極的に学校の防災学習に係わっていくことが、地域全体の防災意識の向上につながっている。
- ・学校行事やキャリア学習等に保護者・地域・学校が連携を深めながら取り組むことにより地域全体で子どもを育てていくという気運が高まっている。
- ・ユニカール大会や家庭教育学級を通して会員相互の親睦を深めることができた。

課題

- ・世帯数の減少が続いており、PTA役員の担い手が少なくなってきた。
- ・会議の開催等PTA役員の負担が大きくなってきており、会議や活動の精選が必要となってきた。

< 地域と連携・協力したPTA活動 >

所在地: 三重県名張市百合が丘6番町1番地
 全校生徒数: 822名

学校の特徴	本校は、「新時代をたくましく生き抜く未来人を育成する高等学校を」との地域住民の強い願いと熱い期待を受けて、平成28年に開校した新しい学校です。また、全員に貸与されているタブレットパソコンによるICT教育やグローバル教育に力を入れています。
地域の特徴	名張市は、三重県の西部に位置し、近鉄大阪線の開通により大規模な住宅開発が進み、大阪方面への通勤圏として急速に発展しました。本校は、名張市の中心市街地が一望できる百合が丘の高台の一角にあり、青蓮寺湖や赤目滝など豊かな自然に囲まれた学校です。
活動内容	<div style="background-color: #00c080; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 特徴的な活動・運営体制 </div>

【運営体制】

- ・保護者と教職員の加入率は100%であり、本部役員12名を中心に構成。
- ・地区ごとに地区委員を選出し、常任委員会の委員としてPTA事業の企画や運営。
- ・「広報委員会」「環境委員会」「研修委員会」を設置し、各委員会の委員長を中心に様々な事業を運営。

【活動】

- ・文化祭では、PTAによる模擬店を実施し、フランクフルトとジュースを販売。(9月)
- ・体育祭のオープン種目に参加。(6月)
- ・全国P連、東海P連、県P連、伊賀地区P連主催の研修会に参加し、内容を広報誌で報告。
- ・学校関係者評価委員会、教科書選定委員会、学校諸費検討委員会に参加。
- ・人権教育推進協議会の委員として授業見学および事後研究会に参加。
- ・PTA会長を中心に、学校紹介を兼ねた各イベントに教職員とともに参加。

【地域住民と連携した活動】

- ・地元市民センター主催の夏祭りに参加。
- ・環境委員会が中心となって通学路等の清掃活動を実施。
- ・地元の教育施設を活用した行事に参加。

【その他の活動】

- ・地元の少年サポートふれあい隊のメンバーとして、子どもたちの安全活動に参加するとともに、地域の危険箇所等について情報交換。
- ・地元名張市のイベントに生徒、教職員、PTAが参加し、本校の魅力をアピールするとともに、PTAと生徒が共同製作した「青峰クッキー」を配付。



成 果

- ・PTA本部役員がさまざまな機会を通して学校行事への参加を依頼したことにより、保護者の参加が年々増え続けている。
- ・地域の行事にも積極的に参加したことにより、地域との連携が深まった。

課 題

- ・今後は、さらに地域団体とのつながりを深め、地域とPTAが一体となった活動を進め、子どもたちを支えていく。

「地域とともに子どもの育ちを支える」


所在地: 滋賀県草津市平井3丁目8-1
 全校生徒数: 児童577名

学校の特徴	昭和53年に分離、開校し、43年目を迎える。開校以来、図画工作科教育に力を入れ、全国教育美術展での文科大臣表彰を含め全国表彰を多数受賞している。近年では、地域の自然環境を生かし、地域諸団体やPTAの協力を得てエコスクール関連の教育にも力を入れている。
地域の特徴	草津駅にも比較的近く、草津駅西側の開発・発展に伴って、急速に都市化、住宅化してきているが、昔からの田園地帯や自然豊かな風景もたくさん残っており、それら両面をバランス良くあわせもつ地域である。
活動内容	<div style="background-color: #008080; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 特徴的な活動・運営体制 </div>

「子どもたちのための活動でありたい」という思いを会員が共有
 保護者の加入率は100%であり、PTA主催の事業には多数の教員が参加し、活動を盛り上げている。また、今の時代にあった負担の少ない活動を目指し、会議の回数や時間を減らすこと、夜の会議は学校の負担軽減のため地域のまちづくりセンターを使用するなど工夫を行っている。


「葉山川学習」
 平成17年度より、地域の自然とふれあう体験を重視した「環境学習」を1年生から6年生までの全学年で行ってきた。学校の横を流れる「葉山川」を基点としての学習であることから「葉山川学習」と名付け児童や保護者に定着している。その推進組織にも参画し、地域住民や学習ボランティアとともに児童の学習活動を支えている。

また、各学年・学級の「葉山川学習」の成果は、学区の「地域ふれあい東まつり」における「ふるさと葉山川博物館」という学習発表の場で地域住民や保護者にむけて発信し、ともに地域の環境問題などについて考える場となっている。



「東っ子5あいさつ運動」
「下校パトロール」
 校門での「あいさつ運動」や各家庭からあいさつの輪を広げていく「東っ子5あいさつ運動」(おはようございます・いってきます・こんにちは・ただいま・ありがとう)を長年にわたり継続している。

また、地域学校協働活動の取組として、まちづくりの各種団体とともに子どもたちの下校見守りパトロールを実施。



成果

- ・「葉山川学習」の成果は、学区の「地域ふれあい東まつり」において地域住民や保護者にむけて発信し、ともに地域の環境問題などについて考える場になっている。また、子どもたちにとっても地域の自然に愛着を感じ、「ふるさと」を大切に思う気持ちが育っている。
- ・PTAと地域団体が連携協力し、多くの地域の大人が関わることで、子どもの通学路や地域での安心・安全につながっている。

課題

- ・役員になることを負担に感じる保護者もいるが、役員を経験した後は、新たな繋がりが生まれるなど、達成感を感じる保護者が多い。

PTA活動や学校行事への積極的な参加を通して、学校と家庭との連携を図る

所在地: 京都府南丹市八木町青戸馬垣内13-1
 全校児童数: 142名

学校の特徴	平成27年4月に、南丹市立小学校再編整備により、旧神吉小学校、旧新庄小学校、旧富本小学校の3校が1つになり、開校した。「意欲をもって学び、ふるさとを愛する心豊かな児童の育成」を学校教育目標として取組を進めている。
地域の特徴	亀岡盆地の北に位置し、大堰川に沿った農村地帯及び丹波山地の山間部に開けた標高の高い地域である。地域全体で子どもの健全育成を推進している。学校の教育活動に大変協力的であり、地域の方々との結び付きは大きい。
活動内容	学校・家庭・地域と連携・協働しながら子どもたちの豊かな教育活動に向けて多くの活動をしている。地域人材を活用したPTA活動を実施し、地域の方との交流機会を積極的に設けている。

地域と共に



- * 登下校時のあいさつ・声かけ運動を校区内の地域の方、民生委員、駐在所の方と協力して実施し、地域全体で児童の安全のための見守り活動をしている。また児童会発の「ハイタッチあいさつ運動」を盛り上げるために、PTAもその活動に賛同して運動を広げ、毎月の「PTA笑顔であいさつ運動」におけるハイタッチが、児童の笑顔と元気なあいさつにつながっている。
- * 夏季休業中のプール開放に伴う監視活動に向けて、毎年消防署と連携をして水難救命救急法講習会を実施している。
- * 地域人材を活用してPTAの活動を工夫し、地域の方々との交流の機会を積極的に設けている。
- * 学校支援ボランティアのリストを作成し、地域の方々と様々な場面でともに活動を実施している。
- * 元PTA本部役員や保護者代表が学校運営協議会委員として学校運営に参加し、教職員や地域代表と一緒に、学校支援の在り方について「熟議」を積み重ねている。

○人権日めくりカレンダー作成

各家庭から募集した人権標語を人権委員会が中心となり、手作りの「人権日めくりカレンダー」を作成し、全学級で活用している。各家庭には人権標語を紹介した「ふれあい新聞」を配布して、人権問題についての正しい理解と認識を深める啓発を行っている。



○会員相互の学びと連携

本部役員が中心となり、学校行事の活動の支援や児童の教育環境整備に協力するとともに、保護者間の交流の機会を設けている。「PTA人権研修会」などでは、講演のテーマをもとに意見交流をし、子育てについて会員相互が学びを深めている。また、広報誌等を発行し、活動の様子を会員で共有し連携を深めている。



成果

- ・PTA役員による積極的な学年PTA活動や専門委員会の活動内容が充実し、親子や親同士の共通の学びが生まれ、親子がともに学び成長する取組となっている。
- ・開校6年目に入り、よりよいPTA活動を目指して会員一人一人が協力する体制作りがなされ、そのことが学校行事への参加や、学校教育への関心の高さにつながっている。

課題

- ・PTA会員同士が子育てについて気軽に相談や交流ができる場や活動の工夫を図っていく。
- ・学校運営協議会とともに、「目指す子ども像」の共有を図り、家庭・地域・学校が一体となった取組を進めていく。

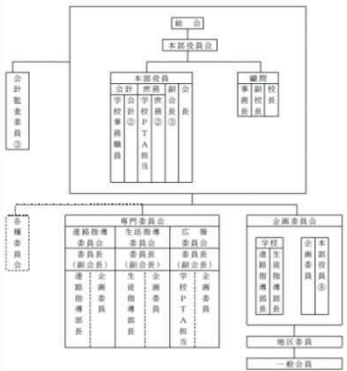
<～青年は未来を信じ使命に生きる～>

所在地：京丹後市網野町網野2820
 全校生徒数：309名

<p>学校の特徴</p>	<p>昭和37年に制定された生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の精神に則り、知・徳・体・美のバランスのとれた生徒の育成を目指しています。今年度から、網野高校、久美浜高校を母体とする2つの学舎（網野学舎、久美浜学舎）からなる京都府立丹後緑風高等学校がスタートしました。</p>
<p>地域の特徴</p>	<p>日本有数の豊かな自然と文化・歴史をもつ京都府北部の丹後半島に位置し、本年で創立72年目を迎える歴史と伝統のある学校です。また、東京オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受け、スポーツを通して地域の方々との交流活動などにも取り組んでいる。</p>
<p>活動内容</p>	<p>今年度から、網野高校と学舎制による丹後緑風高校との新たな活動がスタートしました。学校・家庭・地域と連携・協働を図り一丸となって環境づくりに努めている。子どもとの会話を大切にし、子どもの成長と同様に親も成長していけるよう学校行事支援や安心・安全見守り活動などを実施している。</p>

運営体制

* 保護者、教職員の100%が加入し、本部役員の他、企画委員会、広報委員会、生活指導委員会、進路指導委員会を設置している。本部役員の庶務1名は教職員、会計1名は学校事務職員から選出され、また、専門委員会・企画委員会に教職員、進路指導部長、生徒指導部長も協力しながら組織の運営を行っている。校長、副校長、事務長は顧問としてすべての企画に協力し円滑化を図るため活動をサポートしている。



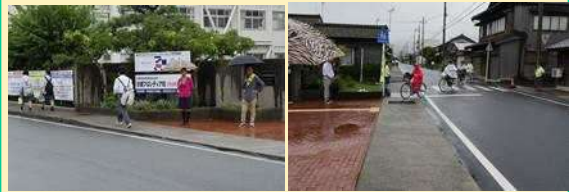
多くの生徒とのふれあい!!

* 文化祭では、PTA役員を中心にPTA模擬店「PTAの極うまカレー屋さん」の調理・販売、「バレー部のうどん屋さん」の手伝いを行った。毎年、一般会員に具材の提供を呼びかけ、提供いただいたじゃがいも、玉ねぎ、にんじんをふんだんに使用しておいしいカレーを作っている。
 * 体育祭では、熱中症対策として給水サービスと噴霧器によるミストサービスを行った。昨年度は強風による砂ぼこりをおさめるためにグラウンドへの水まきに取り組んだ。



安心安全!!

* PTA交通安全指導については、年間3回、朝の登校時間帯にあわせて、最寄りの京都丹後鉄道網野駅から学校周辺までの登校経路の交差点5カ所にPTA役員と教員が立ち、挨拶と通学状況の観察、交通安全指導を行っている。また、学校周辺では、生徒の自転車安全利用推進員(昨年度は3学年で111名)と一緒に交通安全を呼びかけている。



成果

- ・各種行事への参加を通して、保護者・生徒・教職員間のつながりを強めた。
- ・生徒の活動を間近でサポートすることが、子どもたちの頑張る姿を目の当たりにする大切な機会となった。

課題

- ・PTA行事への参加者を増やし、進路指導や生徒指導等に関わる最新の情報を家庭と学校で共有し、子どもの成長を後押しできるよう努める。

< 園児を育むPTA活動 >

所在地: 大阪府大阪市平野区
 全校生徒数: 園児61名

<p>園の特徴</p>	<p>昭和44年に大阪市立瓜破北小学校併設園として設立され、平成11年に小学校より独立、平成30年に創立50周年を迎えた。「明るく元気な子ども」を育てる～主体的に遊ぶ子ども・よく考え工夫する子ども・友達と仲良く遊ぶ子ども～という教育目標を掲げ、豊かな自然環境のなかで健やかな成長を育んでいる。</p>
<p>地域の特徴</p>	<p>大阪市東南部の平野区に位置し、市営住宅や中高層住宅が建つ比較的新しい街並みとともに、農地や遺跡なども残された歴史あるまちである。また、平野区の人口は大阪市第1位であり、子沢山の家庭が非常に多い。地域全体で、安心して楽しく子育てできるような見守りが行われている。</p>
<p>活動内容</p> <div data-bbox="212 614 392 941"> <p><u>クリーンキャンペーン</u> 「よいしょ、よいしょ、ちからをあわせて…！」と、そんな声が聞こえてきませんか？親子一丸で園庭の草抜き。「あ、ダンゴムシ見つけたよ。」</p> </div> <div data-bbox="212 1013 392 1252"> <p><u>お楽しみ会</u> 今日は幼稚園にサンタさんが来てくれる日。コーラス隊も歌や楽器の演奏で一緒に盛り上げて楽しむぞ！</p> </div>	<div data-bbox="548 494 1288 566" style="background-color: #00b050; color: white; text-align: center; padding: 5px;"> <p>特徴的な活動</p> </div> <div data-bbox="470 582 929 614"> <p>○PTA活動～園芸係・絵本係～</p> </div> <div data-bbox="470 619 1019 837"> <p>年下のきょうだいがいても、何かPTA活動を…と発足したのが始まり。自然豊かな園庭は園の宝である一方、放置すれば雑草の無法地帯。そんな宝の庭を守るのが、園芸係。クリーンキャンペーンを全園あげて親子で行うなど、大事な宝を日々守る。絵本係も、定期的に集まり、小さなきょう</p> </div> <div data-bbox="459 845 750 1029">  </div> <div data-bbox="470 1037 728 1069"> <p>○PTAコーラス隊</p> </div> <div data-bbox="459 1077 750 1252">  </div> <div data-bbox="761 1077 1019 1268"> <p>だいたちを看護しながら、絵本の管理・修繕を行う。こうした取組が園の財産となり、受け継がれている。近隣の幼稚園と合同で活動する。中央公会堂での音楽会参加だけでなく、子どもたちのために園内での活動も行う。</p> </div> <div data-bbox="1064 582 1377 614"> <p>○広報わくわくトピック</p> </div> <div data-bbox="1064 619 1624 877"> <p>PTA活動広報係が定期的に発行する紙面。芋掘りや凧揚げなどの行事に係が参加し、子どもと一緒に楽しい時間を共有する。紙面には写真やイラスト、貼り絵など保護者の特技を生かす工夫を凝らした内容がずらりと並び。</p> </div> <div data-bbox="1377 494 1646 805">  </div> <div data-bbox="1736 550 2004 734"> <p>凧揚げの広報紙 たくさんの写真に子どもたちの笑顔が溢れます。そして、広報紙作成中の保護者たちにもワイワイ明るい話し声と笑顔が♡</p> </div> <div data-bbox="1064 909 1355 941"> <p>○地域連合との交流</p> </div> <div data-bbox="1064 949 1624 1268"> <p>年間を通して、地域との交流を積極的に行っている。年長児が地域に向いたり、地域の方を園に招待したりして交流を深めている。夏祭りやもちつきなどの地域行事もさかんで多くの園児が参加し、温かいふれあいの機会となっている。相互の喜びの声が上がることも、様々な人に親しみをもつ“心の育ち”につながっている。</p> </div> <div data-bbox="1366 893 1657 1069">  </div> <div data-bbox="1736 798 2027 981"> <p>幼稚園に招待したよ 肩たたきというふれあい遊びをしています。最後は「♪げんきでいてね、おじいちゃん」の歌詞でにっこり。楽しかったね。</p> </div> <div data-bbox="1713 1029 2027 1284"> <p>○その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エプロン隊 (入園時期のお手伝い) ・保護者による夏祭りの企画・実施 ・地域4校園(幼小中)での様々な交流行事など多数 </div>
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育活動が、PTA活動によって支えられ、より一層豊かなものになっている。(園庭整備による戸外遊びの充実、絵本貸出の取組、人間関係の広がり など) ・子どもと一緒に活動することで、成長を実感でき、幼児教育への理解も深まる。 ・保護者の社会参加意識が高まったり、保護者同士のよりよい交流が図られたりする。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児数の減少や、年下のきょうだいを見ながらの活動となるので、無理なく活動していけるようなPTAの組織形態を考えていきたい。 <p style="text-align: right;">【 大阪府教育庁地域教育振興課 】</p>

「We ♥ はんなん」 地域とともに 子どもをはぐくむPTA活動！！

所在地：大阪府大阪市阿倍野区
 全校生徒数：児童870名

学校の特徴	昭和15年2月に大阪市立阪南尋常小学校として開校し、昨年度、創立80周年を迎えた。学校・家庭・地域が一体となり、地域に愛される学校として着実に歩みを進めている。 「よく考える子」「心や体をきたえる子」「考えを実行にうつす子」を育む教育活動を教職員一丸となり、チーム阪南で取り組んでいる。
地域の特徴	日本一高いビル「あべのハルカス」が建つ阿倍野区にある本校は、古くからの住宅地で落ち着いた地域にある。祖父母と同居している家庭も多く、地域ぐるみで町の発展と子ども達の健全育成のため、様々な活動が組織的・計画的に実施されている。学校にもたいへん協力的である。
活動内容	特徴的な活動・運営体制

PTA新聞「はんなんPTA」

カラーで作成されているPTA新聞が多い中、2色刷りで手書きを取り入れることで、ぬくもりの感じられる紙面を目指しています。



委員さんってどんな活動をしているのかな？初めての方にもわかりやすく解説しています。



「全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰」の応募にかかる大阪市PTA協議会の予備審査で優秀賞をいただきました！



「はなさん」PTA新聞で活躍するキャラクター！阪南小学校の校章をイメージして作られました。



地域とともに～学校・地域・家庭がつながる瞬間～

地域活動協議会・青少年指導員・近隣の保幼中・子ども会・PTA等いろいろな団体が連携して、様々なイベントを開催しています。

子どもも大人も笑顔になるイベントの開催は、PTAをはじめ多くの方々の協力のおかげ。「はんなん」を愛する心がつながるひとときです！



もちつき

みんなで作ったお餅はとってもおいしいです。

先生たちも家族で参加します。

ふれあいハイキング



校庭キャンプ

校庭にテントを張ってお泊りです。



阪南カーニバル

PTAの一大イベント！各団体と連携して行います。体力向上を目指し、校庭でミニ運動会も行います。

成果

- OPTA新聞と阪南小学校をもっと知ろうをテーマに作成している、学校・地域・家庭を結ぶ情報誌「Hannan♥Heart」の発行により、小学校とPTAと地域の連携が年々高まっている。
- 「朝巡視」「行事ごとの巡視」「見守り隊」などの活動により、子ども達の安全が確保されている。
- 親子で参加できる活動を多く取り入れていることで、保護者同士の親睦が図られている。

課題

- 保護者の価値観の多様化や児童数増加により、活動内容に検討が必要になってきている。

<明るい笑顔 未来のために「つながり」を大切にしたPTA活動を>

所在地：兵庫県加古郡播磨町
 全校児童数：792名

学校の特徴	昭和49年4月、町立播磨小学校の児童数増加に伴い、町内2校目の小学校として開校した。児童数は開校当初から増加を続け、昭和57年頃には1,093名に達したが、その後少子化の影響もあり減少している。開かれた学校づくりに長年取り組んでおり、コミュニティ・スクール事業のモデル実践校である。校訓「豊かな心 健やかな体」の精神をPTAも受け継ぎ、児童の成長を見守っている。
地域の特徴	阪神間への通勤圏内に位置し、ベッタウンとして発展した地域である。閑静な住宅地で新たに転入してきた住民も多く、従来から居住する住民と協力して地域の活性化が進んでいる。教育に関心が高く、自治会活動も盛んである。
活動内容	PTA本部、研修部、広報部、愛護部、親睦部に、地域からの代表である地区役員と学級から選出された学級役員が所属し、協力してPTA活動を推進している。PTA会員へのサークル活動の案内やボランティアの活動のほか、PTAのOBも参加して児童支援の活動を実施している。

特徴的な活動・運営体制

【PTA各部の役割の明確化】

- ・PTA役員の選出は、各地区の家庭数に応じて計画的に決められている。地域の実情に応じて地区の編成を協議し、無理なく役員が選出できるようにしている。
- ・各部の運営にあたり、主担当者は前年度に副担当として経験を積み、学校や他の保護者と連絡・調整ができるよう工夫をしている。各部が果たす役割が明確で、新規役員は各自で所属したい部を希望して選択できるようになっている。



【地域住民と連携した取組】

- 灯足(ほた)るの会・なでしこの会
 保護者が中心で立ち上げたボランティアの会(H15～)
- ◇灯足(ほた)るの会
 - ・校内でホタルを飼育し、夜に鑑賞会を開催
 - ・校内「防災」キャンプの開催
 - ・親子料理教室(アナゴ丼)
- ◇なでしこの会
 - ・読み聞かせの会(毎週金曜日朝)
 - ・なでしこガーデニング(中庭の花壇整備)



- 「食育」運動の推進
 蓮池っ子食育推進事業(地域コミュニティセンター)への参加

【保護者も学べる機会の企画】

- 親睦部：「保護者の集まりで仲間づくり」
- ・体育館を活用し、健康サークルで体操教室を実施している。
- ・地域コミュニティセンターで手芸や料理のサークルの運営している。



- 広報部：「清流(せいりゅう)」
- ・毎年夏・冬にPTAの活動をまとめ、読む人には児童の活動だけでなく保護者の活動の様子を詳しく伝えている。

成果

- ・PTA総会の参加者が多く、活動の様子を聞くことで主体的な行事への参加につながった。
- ・PTA活動を通じて、同じ学年以外の方とも仲良くなり、コミュニケーションの輪が広がった。
- ・児童と学校、地域をつなぐ役割をPTA活動が担い、多くの交流の場が生まれた。さらに、「つながりを大切に」を合い言葉に、活動を他の世代へ広げていきたい。

課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、例年どおりの交流・支援の場が失われている。このような現状でも児童の学びを支援するため活動を工夫していく必要がある。新たなアイデアを求め、今後も「つながり」のある活動をしていきたい。

< 活動を通して学校を深く知るPTA活動 >

所在地: 兵庫県神戸市垂水区
 全校生徒数: 834名

学校の特徴	昭和16年に県立神戸第四中学校として創立し、令和3年に創立80周年を迎える。品性教養、健康有能、自主責任、協力奉仕を教育方針に掲げ、自由と責任を重んずる自主的・自律的人格の育成、自己の職分を通じて他と協力し、社会の進展に貢献する人材の育成を目指す教育を行っている。
地域の特徴	所在する垂水区は神戸市の市街地の西端に位置し、南に海を望む丘陵地に住宅地が広がっている。戦後の人口増加にともない、新旧のまちが融合した街づくりが行なわれ、自治会も活発に活動している。家族や地域ぐるみで子育てを支援する気風がある地域である。
活動内容	PTA本部と研修委員会、厚生委員会、広報委員会の専門員会、各学年の学年委員が連携をとりながら、PTA活動を推進している。活動の進め方を見直すことで役員の負担を軽減し、誰もが役員として活動できる組織づくりを進めている。

特徴的な活動・運営体制

【様々な取組】

- ・文化祭の運営協力
- ・標準服等のリユース
- ・地域清掃活動
- ・広報誌の発行(年2回)
- ・学年委員会
- ・学年団教員との懇談会
- ・学年別進路研修会
- ・芸術鑑賞会 ・バス研修



標準服等のリユース



文化祭の運営協力



バス研修

【地域住民と連携した取組】

◇地域清掃

「高校生ふるさと貢献活動」として生徒が実施する地域清掃にPTAと地域自治会も参加し、ともに清掃活動を行っている。生徒、PTA、地域住民が協働して清掃を行い、学校への関心が高まる機会となっている。また、事前に地域の自治会長と打合せを行い、地域との情報交換をしている。

◇地域への広報誌配布

地域自治会や住民に広報誌を配布し、活動への理解や協力を得ている。また、事前に、PTA役員が自治会長を訪問し、情報や意見の交換を行っている。



広報誌「星が丘」

【運営について】

学年委員会で保護者の意見を集約し、活動に反映させている。

集約した意見をもとに、学年団教員との懇談会やPTA運営委員会で学校と意見交換を行うことで、保護者どうしや保護者と学校の連携を図っている。



保護者はPTA活動を通じて、学校の教育方針や生徒の様子についてよりよく知ることができ、学校への深い理解につながっている。

PTA活動を通じ、学校を深く知る

成 果

- ・PTA活動の進め方を見直し、必ずしも全体の会議に出席なくてもメール等を活用して活動ができるよう工夫することで、保護者の負担感を低減している。
- ・PTA活動を通して、学校を知る機会や教育について知る機会が増え、保護者どうしの情報交換も活発化することが、活動のやりがいにつながっている。

課 題

- ・役員を引き受ける保護者の負担感を軽減するため、仕事の効率化、内容の精査を続けることが必要である。

〈子どもとともに学び、見つめ、未来へつなげるために〉

所在地:奈良県吉野郡野迫川村北股51番地
 全校児童生徒数:児童4名、生徒2名

学校の特徴

過疎化の影響で、急激に児童・生徒数が減っている。そのため、学校の統合を繰り返してきた。平成16年に、現在の地に小学校が竣工。平成27年に同敷地内に中学校が竣工した。本校は、小中一貫教育をめざし、職員が協力しながら教育活動に取り組んでいる。

地域の特徴

子どもは宝であり、子どもたちが通う学校も特別な存在である。学校の願いには快く応じてくれる。また、学校の行事にも参加してくれる。青年団、婦人会、郷土料理研究会、林業研究会などの団体も、積極的に学校の行事、授業に関わりをもっている。

特徴的な活動

① 斑鳩西小との交流

「子どもたちにいろんなことを経験させてあげたい」という会員の声から始まった。冬季は雪を運んで雪合戦。夏季は「キャンプ」と多くの人や団体の協力で交流を深められた。

② 広報活動

「村民に学校のことをもっと知ってもらいたい」という思いから始まった。年3回発行し、県P広報コンクールで最優秀賞を受賞。

③ 選書会

選書会は、学校図書を選ぶ場であるが、保護者も参加している。子どもに本を薦める前に、自分たちが、本に親しむ良い機会となっている。

④ 学習発表会

学習発表会は、子どもが主体ではあるが、PTAの出し物がある。バンドやダンスのグループを結成し、忙しい中でも、時間をやりくりし、練習や発表を行っている。充実感がある。

⑤ 奈良県へき地教育研究振興大会開催

分科会の発表や運営に全員が参加し、グループ討議を取り入れるなど、大会を盛り上げることができた。



成果

会員数が少ないので、行事は原則全員参加である。人数が必要な行事は、家族も参加し、子どもたちはより楽しく、より良い学校生活を送ることができている。それだけではなく、会員自身も楽しんで活動することができている。昨年度、奈良県へき地教育研究振興大会では、PTAを挙げて発表、運営をおこなった。終了後、今まで以上に会員の一体感と充実感を味わうことができた。

課題

保護者の数は、昨年度8名から今年度5名に減少した。PTA活動の縮小は避けられないが、子どもたちが楽しく、より良い学校生活を送るために、また、子どもとともに、子どもたちの未来のために、これからもPTA活動を頑張っていきたい。

< えがおひろがる みんなの輪 >

所在地：奈良県奈良市七条町135番地
 全校児童生徒数：142名

学校の特徴	昭和54年に肢体不自由養護学校として開校、令和2年度に40周年を迎える特別支援学校です。現在は、肢体不自由部門（通学、訪問教育）、病弱部門（施設内訪問教育）の2部門にわたり教育を行っています。
地域の特徴	本校は奈良市の南西部、歴史遺産である平城京の南、唐招提寺や薬師寺など名刹が徒歩圏内にある西の京地域に位置しています。校区は奈良県の北西部の4市6町1村、奈良盆地とその外周の丘陵地からなり、大阪や京都へ通勤、通学する県民も多い地域です。
活動内容	◇広報誌「ならNOW」の発行 ◇ボランティアカット ◇PTAバザー ◇成人式 ◇施設見学会 ◇「子どもたちの将来についてお話しする会」 ◇親睦会等に加え、令和元年度には第62回全国肢体不自由特別支援学校連合会総会およびPTA・校長会合同研究大会(奈良大会)を執り行いました。

特徴的な活動



地域に向けて発信
PTAバザーで
 楽しく啓発活動を

近隣のショッピングモールを会場として寄贈品、手作り品のバザー、絵本バザーを開催しています。会場である企業の理解、地域の方との温かいふれあい。子どもたちの住みやすい地域づくりの種をまきます。



卒業後の生活も応援
 みんなでお祝い**成人式**

PTA・振興会が主催して同窓会・振興会成人式を開催。20歳を迎える人だけでなく多くの卒業生、在校生、教職員や支援に携わる方々とともに集いお祝いしています。在校生にとっては目指す姿を身近に見る機会でもあります。保護者の縦、横のつながりを大切にしています。



全肢P連 奈良大会
 の開催

第62回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究大会の主幹校として、会員、教員が連携して執り行いました。全国からの参加者との情報交換・研修を通して、改めて保護者同士がつながり、学ぶことの大切さを感じることができました。



成果と課題

【成果】

- PTA活動の多くは、関係する地域や団体に受け入れられ根を張り、長く継続されてきています。社会に対して障害者理解の啓発に少なからず寄与しています。
- 保護者と学校との連携が深まり、子どもの教育活動、成長に良い影響をもたらしています。

【課題】

- 働く保護者や福祉サービスを利用する家庭が増え、保護者が学校に来る機会が減ってきていることに伴い、PTA活動への参加も減少傾向にあります。新しい形での参加を探ると共に、意味ある活動、魅力的な活動であることを発信して、「大変やと思ってたけど、やってみたらいいことたくさん」を一人でも多くの会員に伝えていきたいと思っています。

広報誌「ならNOW」の発行で紹介 PTA活動を身近に感じて参加を促進

【奈良県教育委員会 人権・地域教育課】

< いつも心に「初島愛」を!! >

所在地: 和歌山県有田市初島町里1350-1
 全校生徒数: 生徒34名

学校の特徴	1947年に海草郡椒村立椒中学校として開校し、1953年には 海草郡初島町立初島中学校と名称を変更した。町内には小学校・中学校ともに1校であり、少人数であることから、小学校と中学校、保護者と学校、地域と学校のつながりは深い。そのため、地域のつながりを大切にしながら、これを土台に未来を切り開いていくことのできる生徒を育成することを目指し、自ら学び、自ら考え、判断し行動できる力を育成する教育を展開している。
地域の特徴	比較的小さなコミュニティであり、地域のつながりが深いことから、地域も保護者も学校や教育に対する関心が高く、協力的である。こうした強みをいかして、地域に根ざし、地域を愛する子供たちの育成を、地域、学校、保護者が一体となって行っている。
活動内容	地域を愛し、自らの未来・地域の未来を創造する力を持った生徒を育成するため、学校教育を支援し、地域と学校をつなぐことに努める。

特徴的な活動・運営体制

地域・学校・保護者みんなで作る文化祭!

地域・学校・保護者がみんなで作る行事として代表的な文化祭では、保護者が調理した食べ物を販売、提供している。生徒達はそれを昼食としてみんなで食べることになっている。中学校に通学している子供がいない地域の方々も、多数来校して食事をとり、保護者も地域の方々も一緒になって生徒達の発表を見て応援する。そうした取組の中で地域・学校・保護者の間に強い絆が生まれている。

文化祭を円滑に進めるため、PTA役員だけでなく、役員以外の保護者も総出で協力している。各担当に分かれて仕入れから調理、販売までを行うが、取組の積み重ねにより、効率的で段取りよく作業を進めることができるようになっている。



成果

- ◎文化祭におけるPTAの取組により、地域の方々の参加者が増え続けている。
- ◎地域行事での初中ソーラン演舞披露により、地域の方々と中学生のつながりが深まった。同時に中学生の中に地域への感謝と地域愛が育ってきている。

○地域から引っ張りだこ…

「初中ソーラン」

約10年前から続く「初中ソーラン」は先輩から後輩へ受け継がれる伝統になっている。地域の方々から「子供たちのソーランが見たいよ」とリクエストを受け、PTAが学校と地域をつなぎ、地区の公民館主催の文化祭や地域の天神社の祭りで演舞を披露している。子供たちの元気な踊りが地域の元気につながっている。



○地域に恩返し…「クリーンアップ運動」

日頃お世話になっていることに対し生徒達も何か恩返しをしたいと始まった地域清掃活動。月に2回、全校生徒とPTAで地域の清掃に出かけ、PTAのリサイクル活動と連携させている。



課題

- 地域の方々との絆は確実に深まっているが、子供たちの地域理解は未だ十分とは言えない。PTAとしても、地域の方々と子供たちをつなぐ学習の場を多く設定していきたい。

社会で通用する力をつける！ 系列学習で進路実現を応援

所在地: 和歌山県和歌山市新庄188
 全校生徒数: 生徒492名

学校の特徴	昭和53年に開校し、平成6年に全国で初めて総合学科が設置された7校のうちの1校である。その総合学科の特色を生かし、新しい取組を積極的に取り入れながら教育実践のパイオニア的役割を果たしてきた。現在、「系列での学習による進路実現」を目指し、生徒が興味・関心や能力・適正・進路希望等に合わせて、関連の深いいくつかの科目をまとめた系列を選択して所属し、その分野の学習を深めている。
地域の特徴	和歌山市の東部に位置し、学校周辺は田園が広がり、裏山には桜が咲き誇る緑豊かな学校である。近隣では農業を営む住人も多いが、和歌山市内や隣接する岩出市、あるいは紀北地域へ出勤する人も多く見られる。また、同一地域に保育所や小学校もあるため、行事等で交流する機会もある。
活動内容	総合学科の特色を理解し、教育活動や学習環境の充実に向けて学校と連携して活動に取り組む。

特徴的な活動

地域・学校・保護者による花のイベント開催

毎月活動している「土いじりの会」を中心に、校内の緑化・美化に励み、学校・地域とも連携して取り組んでいる。

春のチューリップフェスタでは、生徒による各部活動等の出店・発表に加えて育友会からも模擬店を出店し、来校された多くの方に好評を得ている。花の季節が過ぎると、抜いた球根を各家庭へ持ち帰ってもらい、新たな場所で新たな花を咲かせられるようにしている。また、秋には生徒・保護者・地域住民が協力して球根植え付けを行い、春への期待を持ちつつ次世代への花のリレーを行っている。

毎年、春の一日、チューリップを鑑賞しながら楽しいひとときを送っている。



チューリップフェスタ



模擬店



球根抜き



球根植え付け

成果

- ◎本部役員を中心に、地域とも連携し、学校をより良いものにしようとする大人が増えてきている。特にチューリップフェスタ等を通じた地域住民との関わりの中で、生徒に対する関心が高まり、励ましも得られるようになってきた。
- ◎学校全般についての意見交換の場である「WAKAフォーラム」では、生徒・教員だけでなく保護者からも意見を発信することで、生徒の学校生活の充実と向上につながっている。

○文化事業

希望者を募り、陶芸や染色など制作活動に取り組み、和歌山高校展にも出品・展示を行っている。



○OPTA新聞

育友会だより「からふる」

「からふる」という名称にふさわしく、個性豊かな本校生徒と学校の様子を年2回発信し、広報活動にも役立っている。



課題

- 生徒数減少に伴い、活動に参加できる保護者が減ってきた。保護者が参加しやすくなるような工夫が必要である。
- 保護者や教師だけでなく、学校の主体である生徒自身が現在以上に関わることができる活動の展開を考えたい。

「子ども達の笑顔のために、できる人が・できる時に・できる事を」

所在地：鳥取県鳥取市
全校園児数：207名

学校の特徴

昭和30年に開園して以来、音楽教育を特色とし、子ども達の生活の場はいつも素敵な音楽にあふれている。平成30年4月より幼稚園型認定こども園に移行した。

地域の特徴

鳥取市の中心市街地にあり、商店街が近く、かつては付近一帯に温泉が湧出していたところである。近くには、日進小学校、日進地区公民館があり、交流が盛んである。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

〈役員を中心に、主な園行事では 会員一人一役担当！！〉

- ・全保護者と教職員が会員として加入している。
- ・執行部は、会長、副会長、会計委員、会計監査委員で構成するとともに、5部（総務部、生活部、体育部、文化部、安全教育部）と1委員会（給食委員）で構成している。会員の希望をもとに所属部を決定し、活動に参加している。
- ・PTA役員（執行部・各部長・副部长）が、事前に担当職員と打ち合わせを行い、活動時期や内容を部員にわかりやすく伝え、活動がスムーズに行えるようにしている
- ・執行部会を定期的にもち、各専門部やサークル活動について協議したり、振り返りや申し送りをまとめ、次年度に活かせるようにしている。

〈子どもの応援団として、 協力して取り組む活動内容〉

- 総務部・・・PTAだよりの発行（年2回・・・7月、3月）
- 文化部・・・音楽発表会の協力
- 体育部・・・運動会の協力、親睦ドッジビー大会の協力、鳥取幼稚園5園対抗PTAソフトバレーボール大会
- 生活部・・・PTAバザー
- 安全教育部・・・交通安全教室の参加
安全教育だよりの発行
- 給食委員会・・・鳥取幼稚園給食委員会参加、給食試食
給食だよりの発行



PTA幼稚園バザー（ポップコーンコーナー）



鳥取幼稚園PTAソフトバレーボール大会

〈地域住民や他団体と 連携した取組〉

○幼稚園の中だけでなく、様々な活動を通して、地域の幅広い年齢の方々と関わりをもっている。

中でも、地域の公民館サークル（さくらんぼコーラス）の方とちまきを作ったり、ふれあい遊びをしたり、歌を歌ったりする世代間交流が盛んである。

○サークル「お父さんの会」主催の休日イベントを、園外の施設を借りて開催している。夏季に、自園単独のものと、同法人の5園合同のものを企画し、参加希望を募って開催した。その中でも、水鉄砲大会は、親子の体験活動やふれあいを深めるだけでなく、他の園の親子とのつながりを創り出している。



ちまきづくり

〈保護者同士の親睦と園応援活動！！〉

○読み聞かせサークル「ほわほわかあさん」による、園児への絵本の読み聞かせ（木曜日・不定期）を行っている。併せて、参加者同士の読み聞かせに係る情報交換を行っている。

○「いちサポクラブ」による防災頭巾のクラスカラーの刺繍や運動会・音楽発表会の小道具作り等の園応援活動が行われたり、「コーラスサークル」「ソフトバレーボール同好会」での活動を通して保護者同士の親睦が図られたりしている。

○「お父さんの会」では、父親同士の交流の和を広げるとともに父親のPTA活動の機会を創出している。



おとうさんの会による「やきそばコーナー」

成果と課題

- ・PTA活動やサークル活動に参加されることで、本園の教育・保育への理解と協力につながっており、保護者同士の交流が広がっている。
- ・積極的に参加される保護者が多いが、就労されている保護者や、未就園児のお子さんの保護者が、負担に感じられないように配慮していきたい。

One Team ～ 一体感のある組織を目指して ～

所在地: 鳥取県岩美町
全校児童数: 135名

学校の特徴	蒲生・岩井・小田・本庄小学校の4校が統合し、平成13年開校。今年度20周年を迎える。「みがこうじぶん なかまともみ 未来にむかって」を学校教育目標とし、敷地内にある梨園等を生かした体験活動を取り入れ、地域社会とのつながりを意識した教育課程を組んでいる。
地域の特徴	山陰海岸ジオパークで有名な岩美町の南部に位置する。蒲生・岩井・小田・本庄の4地区があり、校区が大変広く、岩美町の3分の2を占める。1300年前から続いている岩井温泉があり、「日本の棚田百選」に選ばれた「横尾の棚田」、「唐川のカキツバタ群落」など、豊かな自然に囲まれている。

活動内容 特徴的な活動・運営体制

全会員並びに教職員がどこかの部・委員会に所属し、みんなで盛り上げる体制を作っている。執行部会の傘下に4部会(総務、文化、保体、人権同推)と3委員会(母親、父親、学級)並びに4地区代表(合併前の4つの地区の各代表者)がある。各部・委員会及び各地区の活動については、定期的に開催される執行部会にて協議し、できうる限りPTA全員が納得した状況でよりよい活動となるようにしている。

引継ぎをスムーズにするため、前年度の部長・委員長が今年度の副部長・副委員長となり、新部長・新委員長をバックアップできる体制を整えている。また、各部・委員会に専用のUSBを配布し、各年度の活動内容を確実にわかりやすく引き継いでいる。また、PTAに関わる事項について情報提供が必要な場合は、文書配布やメール(全会員加入)で迅速に情報提供している。

- 〈各専門部・委員会の主な活動紹介〉**
- 総務部・・・資源回収(年3回)、クリーン活動(学校敷地内清掃)を統括
 - 文化部・・・児童・保護者・先生全員執筆による文集「大志の丘」、岩美南小学校PTA会報「みなみ」の発行
 - 保体部・・・学年対抗PTA球技大会、夏休みプール監視、岩美郡PTA対抗親睦球技大会、吉田杯(旧岩美郡卓球大会)などを統括
 - 人権教育推進部・・・人権・同和教育研修会の開催(年2回)、同推だより「きらめき」の発行
 - 父親委員会・・・草刈り、ピオトープ・果樹園の管理などの活動の企画・取りまとめ
 - 母親委員会・・・白衣の修繕、コサージュ作り、球技大会での託児
 - 学級委員・・・学級活動の企画、運動会などさまざまな行事で会員の取りまとめ、次年度各委員選出の世話など

成果と課題

PTA会員同士の絆が強く、その団結力で積極的なPTA活動にし、岩美町PTA連合球技大会では2連覇という快挙を成し遂げるとともに、日々の子どもの生活を支えている。少子高齢化が進み、会員数が徐々に減りつつある中、組織体制の改善に取り組みながら、今後、学校・保護者・地域がさらに連携・協働して子どもたちの育ちを支えていきたい。

〈地域住民と連携した取組〉

- ◆コミュニティ・スクールに向けて
令和3年度からのコミュニティ・スクール実施に向け、学校マネジメント協議会を令和2年度に立ち上げ、PTA副会長がメンバーに入っている。協議会のメンバーは、各地区自治会長、公民館長、学校評議員、学校支援ボランティアの26名である。
- ◆南小見守り隊
児童の登下校を見守る「南小見守り隊」に地域の方、保護者、家族が登録し「南小見守り隊」のロゴがプリントされたパトロール用ベストを着用し、日々活動している。
- ◆体験活動への支援
学校の体験活動である「梨づくり」「米づくり」「サツマイモづくり」等で、保護者、地域の方で草刈りや畝づくり等の間接的支援、体験活動に参加する直接的支援を行っている。
- ◆地域との連携
地区代表が中心となり、各地区の自治会、公民館、老人会等と連携し、地域の子どもの行事等に積極的に参加できる状況作り尽力している。各地区敬老会や地元の老人福祉施設の催しに、地元の児童による合唱を披露し、大変喜ばれている。昨年度、町の子育て事業会議にPTA会長が町のPTA代表として参加し、支援事業計画に関わる意見を提案した。



〈児童・保護者・教職員をつなぐ文集～大志の丘〉

創立当初から毎年度PTA文集「大志の丘」を創刊し、今年で記念すべき20号を迎える。児童、保護者、教職員が寄稿する文集となっており、保護者が中心となって発行している。文化部長が各部・委員会の取組や学校行事の写真を撮影し、後日、部員で広報誌を作成し、年間13号配布している。さらに、秋の学習発表会に活動写真展を開催し、保護者や広く地域の方へ情報発信をしている。



親も子もみんなで盛り上げよう

所在地：島根県仁多郡奥出雲町
全校児童数：35名

学校の特徴	明治7年に開校し、今年で146年の歴史をもつ。平成28年に旧高田小学校と統合し、現在の亀嵩小学校となった。小規模校の良さを生かし、「全校朝の会」、「弁当の日」など自己肯定感を高めることを目標に取り組んでいる。校名から「かめっ子」と児童を呼び、「かめっ子マラソン」「いきいきかめっ子プロジェクト」などさまざまな活動の名称として活用している。
地域の特徴	学校や児童を保護者とともに支えよう、育てようという強い思いをもっている。3代にわたって本校にかかわりのある住民が多く、学校の取組に積極的に参加したり協力したりしている。隣接している安来市比田地区ともかかわりが深く、毎年、連合体育大会を行っている。
活動内容	総務部、研修部、振興部の3つの専門部が工夫を凝らして活動している。毎学期発行の「会報たまみね」では、PTA全般の取組を紹介している。また年間2号発行の「ハッピーかめかめ」は会員のフリー投稿が中心であるが、ここ数年、親子読書を推進する内容がメインとなっていて、「輪読」を勧めたり、本や輪読の感想を紹介したりしている。小規模校ということもあり、それぞれの活動にはほぼ全会員が参加し、交流を深めている。

特徴的な活動

「かめっ子冬遊び」

冬は雪が多い地域なので、家に閉じこもりがちになり、つついメディアに頼ってしまうことが多い。体もなまってしまう・・・という悩みを解消するために生まれたPTA活動が「かめっ子冬遊び」である。

雪が多い年は雪遊び(雪合戦など)をするが、ここ2年は雪が少ないので、親子で長縄対決をしたり、軽スポーツで体を動かしたりしている。体を動かした後は、ランチルームに移動して、お茶タイム。会員同士の交流もできて、体力づくりもできる充実した活動である。



成果

・亀嵩小学校PTAは小規模校という良さを生かし、全校・全会員で取り組む活動が多い。「かめっ子冬遊び」と別に、親子活動も夏や秋に実施している。「かめっ子冬遊び」は冬の親子活動という雰囲気ではほぼ全PTA会員が参加している。どちらの親子活動も親子の交流、会員同士の交流の場となっている。PTA会員同士の関係の良さが、普段のPTA活動にも反映され、ほぼ全会員が参加し、よりよい活動の場、交流を深める場としてよいサイクルとなっている。

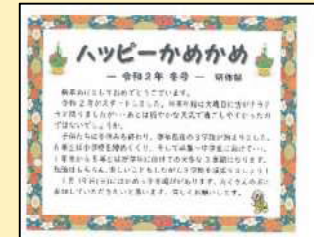
特徴的な活動

輪読と研修部発行「ハッピーかめかめ」

年間2号発行している研修部だよりは、おすすめの料理のレシピや冬遊びのお知らせなど、会員の自由な投稿で構成されている。ここ数年は、「最近読んだ本の感想」「輪読の本の紹介」「輪読で読んだ本の感想」など親子読書を推進する内容が多い。

「輪読」とは、各学年専用のバッグに本を2～3冊入れ、1週間程度各家庭で読み聞かせをして、次の家庭に渡すという取組である。

バッグの中には感想用紙も入っていて、読んだら親子で感想を書くことになっている。その感想は、「ハッピーかめかめ」で紹介される。図書館で借りる本は児童が選ぶが、輪読で読む本は学校司書が選書をする。あまり読んだことのないジャンルの本でと出合うきっかけともなっている。



課題

・児童数の減少に伴い、会員数も減少傾向にある。役員や学年代表、地区委員、幼稚園や中学校・高校の役員などと掛け持ちで役を担っている保護者が多い。負担だという意見はほとんどないが、活動の活性化と役割分担のバランスが難しくなっており、その都度検討している。

自然を生かし、地域力で子どもを育成

所在地:岡山県新見市千屋
 全校児童数:22名

学校の特徴	平成16年に、同じ千屋地域の実小学校と千屋小学校が統合し、南北に長い校区となった。へき地校指定を受け完全複式の学校であるが、学校・地域の特性を生かし、「ふるさと学習」をはじめとする特色ある教育を行っている。
地域の特徴	岡山県北西部、中国山地の中にある自然豊かな地域である。古くより、砂鉄による製鉄業が盛んで、米・和牛・薪炭・繭等の産地として知られる。現在も「日本最古の蔓牛・千屋牛の里」としての和牛飼育や米作りが盛んである。また、冬季の積雪を利用したスキー場も開設されている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

○地域・保護者・学校が連携して取り組む 「千屋塩から子育成事業」

塩から子(主体的にたくましく生き抜く力をもった子ども)の育成をめざして、コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、PTAと地域が連携し、千屋の特色ある自然と人的資源を生かした体験活動を実施している。
 スキー教室・スキー大会と、竹スキー、CHIYAウインターツリー等の主催行事は、PTAと地域が計画・準備・進行を担当しており、子どもたちにとって、地域の温かさや愛情をしっかりと感じる事ができる事業である。

○地域ボランティアや保護者OBが協力し、 地域ぐるみで子どもを育てる

会員数が少ないため、総務部・研修部・事業部の3つの部会に全保護者と教職員が所属している。PTA活動には、地域ボランティアや保護者OBの方々も参加し、地域全体で盛り上げようとする風土がある。また、夫婦での参加も多い。
 PTA主催の懇親会(年3回)やふれあい交流会を実施することで、PTA間の絆が深まり、子どもが卒業した後も会員との温かいつながりができている。



○ふるさと学習の推進

コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、PTAと地域が主体となって体験活動を企画、運営している。自然・偉人・伝統を通じて地域を理解し、郷土千屋を自慢し愛せる子どもの育成を図っている。

(学習テーマ)

- 1・2年生「田植え・アイガモ農法」
- 3・4年生「太田辰五郎と千屋牛」
- 5・6年生「たたら製鉄」



○米作り・千屋牛のお世話

保護者からの見守りやお手伝いを受けながら、地域住民から、昔ながらの千屋での農法(米作りの大変さや知恵)を教わったり、学校にやってきた千屋牛の世話の仕方を教えてもらったりするなど、千屋の伝統を学んでいる。

○その他の活動

資源ごみ回収、プール監視ボランティア、親子ふれあい活動の企画・運営 など

成果

・暖冬で雪が少なく行事開催が危ぶまれるという非常事態においても、PTAと地域の方の連携が強いおかげで、計画の変更、それに伴う材料の準備、地域の方の参加率等、子どもたちの成長や笑顔を大切に活動支援ができています。
 ・行事ごとの子どもたちの感想では、地元千屋への想いの強さが伝わるため、素晴らしい大人になり、郷土(千屋)を愛する人になってくれることが期待される。

課題

山間部にある学校で、過疎化・高齢化が進んでいる。児童数やPTA会員数も減少しており、ある程度人数の必要な活動は、地域の協力が不可欠である。

視覚障害への理解を深め、地域と共にある盲学校へ

所在地: 岡山県岡山市中区原尾島
全校児童生徒数: 37名

学校の特徴	明治41年に岡山県教育会附属盲啞院として設立された、岡山県下唯一の視覚障害児・者を対象とした教育機関である。視覚障害児・者の個々のニーズや実態に応じた支援の基、小中高の教育活動を行い、専攻科では、理療に関わる人材の育成を行っている。
地域の特徴	岡山市街地に隣接する位置にあり、住宅地と農地が混在している。近年では元農地に多くのアパートやコーポが多く建てられている。町内会の活動は活発に行われており、本校の教育活動や防災訓練に関わって協力的に活動してくれている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

○地域との交流を深め、 視覚障害に対する理解を深める

学区が岡山県全域であり、学校敷地内の寄宿舎で生活している(月曜日から木曜日の夜間)児童生徒もいる。そのため、災害等の非常時には、地域住民の支援が必要となってくる。PTA活動や学校行事等には地域にも参加を呼びかけ、一緒に活動することで交流を深め、視覚障害に対する理解を深めていただいている。

○保護者が集まる機会を生かして、 知識や情報の共有を行っている

PTA研修の視察後、盲学校のPTAのあり方について情報交換を行いながら、視覚障害児のために学校と歩調を合わせてどのような活動ができるのかについて意見交換を行うなどしている。

PTA茶話会、定期的に行っているバザーや手作り教室において、保護者同士が気軽に話し合い、お互いの困りごとや悩みを相談しながら交流を深めている。また、SNSを活用した意見交換(任意)が行われており、役員が会員の意見を集約しながら、PTA活動の充実を図ったり、学校側へ相談したりするなど、情報共有を行っている。



○地域学校協働本部としての活動

◇おかやま子ども応援事業◇
地域町内会、近隣中学校、本校PTAと連携を密に取りながら、それぞれの活動に連携・協働して取り組んでいる。
・体育会、文化祭、マッサージ体験会等の参加
・寄宿舎避難訓練の見守り、体験活動(田植え、稲刈り)の実施 等



○ニーズに合わせた研修の実施

PTA役員と教職員で打合せを行い、必要性の高い研修を実施している。
・進路に関わった作業所等の見学
・スマホやネットの使い方 等

○その他の活動

・地域、警察、保護者が連携した総合防災訓練
・点字ブロックを守る会と連携した啓発活動

成果

- ・地域への広報活動や挨拶運動を継続して努めることで、地域の方に取組が認められるようになっており、温かい声かけや支援をいただけるようになった。
- ・保護者の集まりには、学校長をはじめ、PTA担当教員も参加し、ざっくばらんな雰囲気での交流することができており、PTAと学校の良好な関係が築けている。

課題

- ・学校の生徒数に比例した会員数の減少と活動の質の維持。
- ・全県学区のため、会員が頻繁に集まって活動することが難しい。
- ・会員が居住していない「地域」とのつながりを一層強めていくための情宣活動。

< 多彩な取組による学校教育支援活動の推進 >

所在地: 広島県呉市八幡町
全校児童数: 259名

学校の特徴	和庄中学校区が目指す児童生徒像「自主的・主体的な行動ができる児童生徒」のもと、学校目標として「夢を持ち自ら学ぶ ～気づき・考え・実行する～」を掲げている。地域の人材・歴史に感謝し、地域に誇りを持てるようになる体験活動や、課題を発見・解決し新聞記事に表す取組、家庭学習をしたくなる授業作り、防災について深く考える活動など、義務教育9年間を通して協働で子供を育てる小中一貫教育研究を推進している。
地域の特徴	本校は、休山のふもとに所在し、東に灰が峰、西に瀬戸内海を望む、坂の上にある。すぐ隣には、通称‘人祭り’で有名な亀山神社があり、校区内にも高日神社があるなど、秋になると秋祭りでにぎわう。また、校区には入り船山記念館、呉市立美術館があり、文化的な施設も充実している。この地域では、学校への関心が高く、支援が得やすく、PTA活動も活発である。

活動内容 **特徴的な活動・運営体制**

保護者と教師との協力関係

- 保護者と教師との協力関係
 - ・PTAサポーターの組織化による教育活動への貢献
(令和元年度)2年生生活科図書館見学への児童引率、3年生社会科消防署見学への児童引率、5年生家庭科ミシンサポート、6年生総合的な学習の時間お茶会の手伝い



地域学校協働活動

- 学校支援活動
 - ・ふれあい参観日(PTC活動)の企画運営
各学級役員が担任と連携を図り、子供たちのやりたいことを踏まえて活動を決め、保護者・児童・教職員の触れ合いができる活動として実施
 - ・環境整備
年2回薬品をまくなど児童ができない校内トイレ清掃や給食エプロンの修繕を実施

- 学校外における教育・体験活動
 - ・地域合同防災訓練
地域と児童が行う合同防災訓練に参加し、消防署による児童へのAED講習を参観
 - ・防災子供隊を組織
地域と共に防災子供隊を組織し、砂防ダムを見学
 - ・第2地区主催交流フェスタ、講演会への参加
 - ・地域お餅つき
地域行事の準備や片づけをサポート



児童・生徒等の学校外活動の促進

- その他生活指導に関する取組
 - ・交通安全指導
毎月登校時に、輪番で3か所に分かれて実施
 - ・防犯パトロール
下校時に合わせて同じ方面の児童とともに帰り、児童の安全を見守る活動を年7回実施
 - ・呉市青少年補導員連絡協議会への参加
夏休み、冬休み、春休み前の児童の生活について意見交流
 - ・一斉下校の児童引率
地域ごとの一斉下校時に児童を引率



PTA業務の効率化

- PTA会議室の設置及び活用
 - ・働いている保護者が自分の予定に合わせていつでも活動できる。
 - ・PTA会議室は、会員が悩みを聞いてもらえる場にもなっている。



成果

- 学校・家庭・地域のつながりによる充実した教育活動が展開されている。
- PTAサポーターを組織化することで、会員が教育活動に参画しやすい体制を構築し、効果を上げている。
- PTA会議室を設置したことにより、活動がしやすくなるとともに、会員が悩みを相談する場にもなっており、PTA会員同士のつながりを強めることにつながっている。

課題

- PTAの役員の活動が昼間にあるので、役員になりたくても仕事の関係で役員につけないことがある。

<学校との緊密な連携による生徒・保護者支援の推進>

所在地: 広島県広島市安芸区
 全校生徒数: 595名


学校の特徴	昭和61年、海田湾に臨む広島市安芸区の地に全日制普通科の高等学校として創立した。開学以来、「創造・自律・健康」を校訓に、意欲的に学び、自ら創造し、自らを律する、心豊かな人間の育成を礎に、知・徳・体の調和のとれた、将来、社会において自信と誇りをもって生きていく有為な人材の育成を目指し、8,000人を超える卒業生を輩出してきた。
地域の特徴	学校のある矢野地区は、広島市であるが、周囲は安芸郡と呉市である。JRで広島駅まで約13分と広島市中心部に近いが、ほかの広島市域とは陸地で接していない飛び地になっており、飛び地として、日本一の人口を誇る。交通の便の良さから住宅街が広がる。

活動内容 **特徴的な活動・運営体制**

学校教育・家庭教育・社会教育等学習活動

○保護者の学習活動に関する取組

- ・進路講演会
 大学や進路支援企業による進路に関する最新情報の講演会を各学年、年2回開催
- ・大学訪問
 保護者を対象にした大学訪問実施
- ・大学説明会
 県高P連主催の大学説明会に会員が参加し、生徒の進路について研修
- ・大会への参加
 全国や中国・四国、県内の会員との共通理解を図るため、全国高等学校PTA連合会全国大会、中国・四国地区高等学校PTA連合会大会、広島県高等学校PTA連合会広島県大会に毎回参加




○家庭教育支援の取組

- ・PTAの支援によるスクールカウンセラーが生徒・保護者への教育相談実施
 新入生入学時には教育相談講演会を開催し、新しい環境への不安に対応
- ・家庭教育の一環として、携帯スマホの使用ルールを決め、バイクの「3ない運動」など、保護者として意識統一を図り、生徒の自律を支援

○その他の取組


- ・学習・学校行事における生徒の活動支援
 体育大会の種目参加や合唱コンクールのPTAコーラス参加
 学校行事の機会に積極的にPTA活動を運営・発信
- ・生徒の学習環境支援
 社会人から仕事について話を聞く学習会の支援
 PTA負担によるエアコンの整備・運転



情報公開・広報活動
 PTA業務の効率化


○地域団体との連携協力

- ・会員への周知
 学校行事の特集等、会員にPTA活動状況について情報提供するとともに、PTA規約や会計報告、役員会会議録等については、総会資料にて全会員に周知



○会員の総意の反映

- ・総会は保護者が出席しやすい土曜日開催
 授業参観と同時開催による出席率の向上、総会後は、学級懇談会を開催し、学級理事の紹介を行うことで会員相互の意見を反映させやすい工夫を行うとともに、総会欠席者には委任状を提出してもらい、総会資料とともに決議事項等を連絡
- ・柔軟な日程調整
 各委員会については、日程調整をするなどしてできるだけ多くの役員が出席できるように配慮



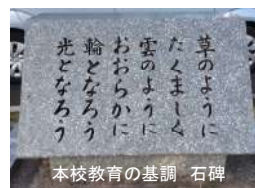
成果

- ・体育大会等学校行事に積極的に参加するとともに、PTAが主催・運営する売店や活動報告の場を設けることで、PTAの活動内容を知らせる場面を増やすことができた。
- ・社会人から仕事の話について聞く学習会の支援をすることで、子供たちの進路学習に貢献することができた。

課題

- ・PTA役員は「できるときにできる人ができるだけのことをする」をモットーに広く呼び掛けて活動を行っているが、昨今の経済状況により、PTA活動に参加困難な保護者も少なくないことが課題である。
- 【広島県教育委員会生涯学習課】

<学校と家庭・地域が協働した学習環境づくり>

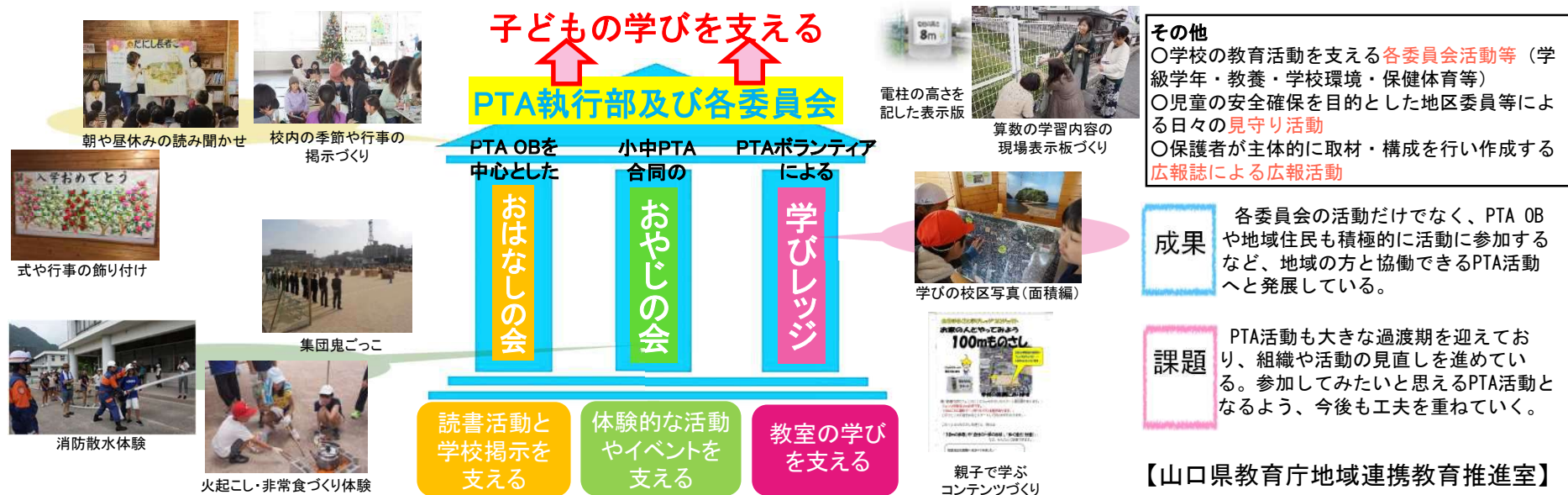


所在地：山口県山口市
 全校児童数：688人

<p>学校の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山口市の中心部に位置し、校区には県庁や市役所、県立の社会教育施設があるなど、教室での学びを広げやすい環境にある。 ・ 全国学力・学習状況調査等による平均正答率が高い。児童の規範意識が高く、明るく素直な児童が多い。 ・ 市の特別支援教育の中心的な役割を担うなど、特別支援教育も充実している。
<p>地域の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道旧9号線が校区の中央を南北に走り、その東側が商店街、西側が学校・官公署・住宅地となっている。 ・ 隣接する大殿校区と共に、大内氏が勢威を誇った「西の京都」といわれた時代から江戸時代幕末を経て、明治維新に至る遺跡旧跡が各所にある。 ・ 校区には、山口高校、白石中学校、附属小・中学校、県立図書館・美術館・博物館等の文教施設も集中しており、教育への期待が大きい地域である。

特徴的な活動

本校は一般のPTA活動と保護者OBを含む各委員会等の活動が活発であり、それらの活動が日々の子どもの学びを支えている。



<アットホームな雰囲気の中で取り組むPTA活動>

所在地:山口県防府市
全校生徒数: 446名

学校の特徴	昭和54年に普通科高校としてスタートし、平成15年度入学生から総合学科に改編して現在に至る。県中央部の文化産業都市・防府市にあり、学校の立地する大道地区は、保育園から短大までが揃う市内西部の文教地区である。「一意専心」の校訓のもと、生徒一人ひとりの可能性を伸ばすことをめざして、キャリア教育を軸とした教育活動を展開している。
地域の特徴	防府市は、山口県の中南部、周防灘(瀬戸内海)に面した市である。県内最大の防府平野を有し、一級河川佐波川の河口に位置する。自動車メーカーを始めとする工業が盛んな一方で、防府天満宮、西日本一のあじさい寺である阿弥陀寺、大平山等、有数の観光・歴史資源を抱えている。学校が立地する大道地区は、豊かな自然に囲まれ、のどかな場所である。住民は、「文教のまち、福祉のまち大道」をめざし、笑顔あふれるまちづくりに取り組んでいる。また、防府市の無形文化財に指定されている「お笑い講」が有名である。
活動内容	校訓である「一意専心」のもと、総合学科の特色のひとつである入学当初からキャリア教育を展開し、「自律した生徒」の育成をめざし、保護者と教職員が協働してPTA活動を行っている。生徒一人ひとりの夢や目標の実現・達成を支援するために、「学習進路部会学習班」「学習進路部会進路班」「生活指導部会」「健康管理部会」「広報部会」等に別かれて、よりよい環境づくりに取り組んでいる。

特徴的な活動・運営体制

「アンケート検討・分析、熟議」

主に教職員、PTA役員、常任委員で構成される常任委員会(「PTA教育力向上プロジェクト(年間3回実施)」)において、学校アンケート(年間2回、生徒・保護者に実施)の質問項目の吟味・立案、そして結果分析を実施。特に夏季休業中に行われる分析会では、生徒代表、地域住民(学校運営協議会委員)を迎えて、アンケート結果をもとに、よりよい学校づくりに向けた熟議を行っている。



「課題研究発表会」

本校では、「産業社会と人間(1年次)」「総合的な探究の時間(2・3年次)」で課題研究を設定している。教務課が各年次会と協力しながら、保護者、地域住民、地域中学生、出身中学の教員を対象とした発表会を年度末に企画・実施している。保護者、地域住民については、参観のみならず、コメンテーターもお願いしており、子どもの高校での成長ぶりを垣間見ることのできる絶好の機会として高く評価されている。

○地域住民と連携した取組

大道地区の地域行事について、生徒はもとより、PTA会員もボランティアとして行事を盛り上げている。
(例) 大道まつり
敬老会
公民館祭り等



○「PTA研修旅行」の実施

大学・専門学校の訪問を実施。それぞれの説明会の後、本校卒業生を含む学生に、生活の様子等、様々な体験談を聞く。

○その他の活動

交通安全普及活動、陶芸教室、文化祭における展示、遊休品・食品バザー等

成 果

- ・熟議等の学校アンケート分析会は、生徒、保護者、教職員の思いを共有する場として有効に機能しており、これまでに洋式トイレの設置、一斉送信メールの整備等を行うなど、校内環境の整備や学校行事の改善を図っている。
- ・萩焼の主原料である大道土が地元から産出されることから、PTAが主催して地元陶芸家を講師とした陶芸教室を実施。PTA会員や生徒が参加し、作品制作を行い、文化祭で展示するなど、地域と連携した教育活動の推進体制の仕組みづくりを行っている。

課 題

「PTA研修旅行」「熟議」「課題研究発表会」は、平日に開催しているが、参加者が限られていることから、参加しやすい開催日を検討している。

【山口県教育庁地域連携教育推進室】

未来につながる子供たちの学びをサポート ～保護者・地域・園の連携～

所在地: 徳島県美馬市脇町
全園児数: 園児147名

園の特徴

平成27年、江原南幼稚園から、幼保連携型認定こども園へ移行し、開園。江原南小学校と隣接しており、小学校と合同の行事も多く、異年齢との交流が盛んである。保護者はとても教育熱心であり、園の取組に対して大変協力的である。

地域の特徴

徳島県西部に位置し、日常の利便性と豊かな自然環境を併せ持つ。「うだつの町並み」、藍の豪商「吉田家住宅」などの歴史的遺産にも恵まれている。地域学校協働活動にも熱心で、地域全体で子供たちの教育に取り組んでいる。

保護者・地域・園が連携した取組

伝統文化

- ・地元の三味線餅つき保存会の協力を得て、無形文化財「三味線餅つき」を体験した。
- ・園の夏祭りで、地元阿波踊り連のお囃子に合わせて阿波踊りを踊った。



食育

- ・地元JAの協力を得て、小学生と一緒にサツマイモの植え付け、収穫を行った。

産業

- ・地元林業会社、青少年育成センターの協力のもと、卒園記念品として親子でマガジンラックを作成した。

会員の全員参加を可能にする工夫

- ・専門部に分けず、すべての会員がすべてのPTA活動に携わる体制。
- ・役員会は夜間に開催し、働いている保護者も参加できる運営方法。
- ・講演会後に給食参観を行うなど、講演会や学習会などへの参加を促す工夫。
- ・PTA総会、PTA役員会のほか、毎年アンケートを実施し、会員の意見を活動に反映。

交通安全への取組

園児の命を守る

- ・PTA役員、教員、小学生と一緒に地元の警察署の方から交通指導を受けた。

地域の方の命を守る

- ・PTA役員、教員と一緒に交通安全啓発のためのチラシや信号色の餅をドライバーへ配付した。



広報活動

- ・園だよりを毎月発行。
- ・園児たちの活動は園内掲示とホームページ掲載。
- ・毎年度末、PTA役員が広報誌「はばたき」を発行。保護者の子育てへの思いがつつられている。

成果と課題

- ・運営方法を工夫し、PTA活動への会員の全員参加を可能にした。
- ・保護者・地域・園が連携し、園児の成長を育む教育を実践した。
- ・これまでの活動成果を継承しつつ、活動内容をさらに発展させていく。

所在地: 香川県観音寺市
全園児数: 241名

まあるいこころでつながって

学校の特徴	自然豊かな環境の中で明るく活動的な園児が多く、園内はいつも賑やかである。園のさまざまな行事でPTAが積極的に関わり、充実した活動を推進している。
地域の特徴	香川県の最西部に位置し、野山や田畑など自然豊かな環境である。農業が盛んで、特にレタスの生産量は全国上位を誇る。幼稚園付近には高速道路のインターチェンジがあり、自動車での移動に便利である。
活動内容	全会員による奉仕作業、役員が3つの部会(交通安全部・環境整備部・保健体育部)に分かれて積極的な活動、会員研修としての講演会やワークショップ、懇談会などへの参加、地域の方を巻き込んだ活動などを行っている。

特徴的な活動・運営体制

会員一人一人の意見を反映した自主的な組織運営

●交通安全部

子どもたちが渡る横断歩道前での立哨。「とびだし」看板の作成し、保護者に配布する。



●環境整備部

子どもの作品に押す消しゴムはんこの作成、絵本の補修、砂場の掘り起こし等、幼稚園の環境整備を行う。



●保健体育部

会員の交流活動としてのソフトバレーボール大会や園内運動会の準備・片付け等を行う。



○地域団体と連携した取組

◇青少年育成会への参加◇
幼稚園の取組を説明したり、地域の危険箇所を調べて報告したりしている。

◇敬老会や祭り行事への参加◇
園の紹介をしたり、ふれ合いをもったりしている。

◇婦人会、更生保護の方と◇
園行事の餅つきや太鼓台の組立の際、手伝いに来て園児と交流している。

◇食生活改善の団体の方と◇
親子料理教室の際、アドバイスをもらっている。



成果

- ・保護者のつながりが深まり、講演会や懇談会に積極的に参加している。
- ・行事の継承や地域の方からの誘いによって、地域に密着した幼稚園になっている。
- ・幼稚園が大事にしている「子どもが主体」「子どものために」を役員、保護者にも理解が得られるようになり、行事の在り方も同じ主旨のもと、進められる。

課題

地域の役員や学級役員を決める時、自薦の傾向が減少している。働いている保護者が多いものの、保護者同士が誘い合って自ら役員をしたい、やってみようと思えるような体制や内容が課題である。

すべての生徒が輝く学校へ ～学校・家庭・地域の連携～

所在地:香川県高松市牟礼町
 全校生徒数: 1,017名

学校の特徴	昭和58年に県立高松北高校として開校。平成13年に中学校を併設し、県内で唯一の公立中高一貫教育校となる。12万㎡近くの広大なキャンパスに、勉強や部活動のための充実した施設・設備を備え、6年一貫の学力向上事業やグローバル人材育成プロジェクト、スーパーアスリート育成支援、文部科学省指定の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」など、多彩な特色のある教育活動を推進している。
地域の特徴	学校は高松市内の北東部、五剣山(八栗山)と源氏ヶ峰の南麓に位置する。地元高松市牟礼町は、世界的に有名な「庵治石」(御影石)の産地で周囲には源平合戦の史跡やイサム・ノグチ庭園美術館など多くの芸術・文化施設に恵まれている。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

4つの委員会による組織力・機動力を生かした学校教育支援活動

●環境委員会
 花いっぱいのも
 りい学習環境を実現。
 年間を通じての維持管理。



●研修委員会
 中・高保護者による
 本校独自の大学訪問や、教育課題講演会を企画・運営。



●広報委員会
 学校と保護者をつな
 ぎ、学校を支え続けるため、年3回広報紙を発行。



●未来の北中高
 検討委員会
 制服リサイクルの実施。学校課題解決に向けた提言。



○地域の小中学校と連携した取組

◇情報共有、合同研修会◇
 地元の中学校3校、小学校5校と連携して実施している。
 「ネット安全教室」
 「子育ての悩み」
 「普通救命講習」



○「文化祭」を通じた地域との交流
 近隣の小・中学校や各自治会等へ広く案内状を配布し、チャリティバザーや地域紹介パンフレットの配布を行っている。

成果

○PTA会長・副会長と各委員会との情報共有が図られており、会員の意見を尊重し、充実したPTA活動が展開されている。歴代のPTA役員もその活動を支えている。
 ○PTAと生徒との協働による環境整備活動により、学校が大切にしている思いが、皆で共有されている。
 ○多様な視点からの内容を盛り込んだPTA広報紙は、保護者のみならず、生徒も、知りたい・読みたい内容になっており、保護者の理解が深まるとともに、生徒も学校への愛着や誇らしさが高まってきている。

課題

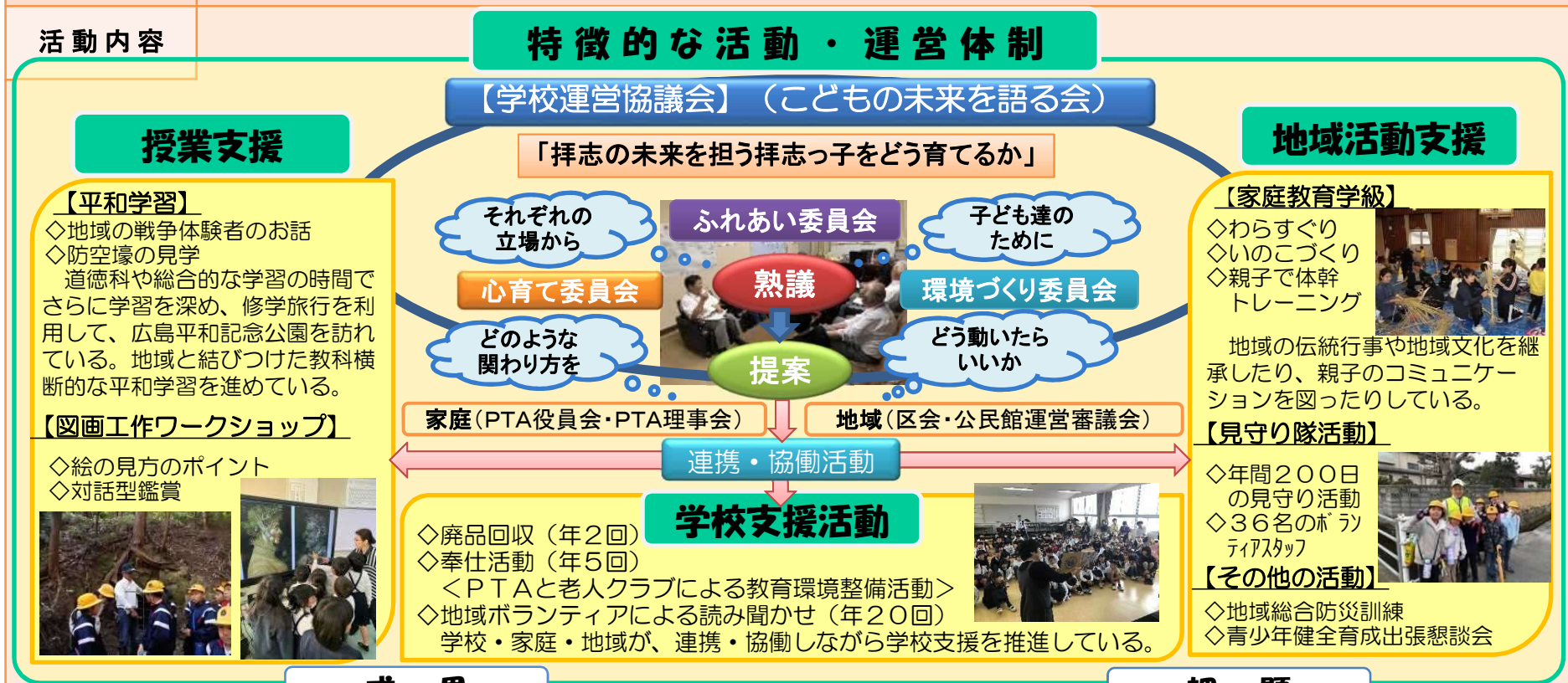
○保護者同士や保護者、教員と地域をつなげる活動を、より一層計画的、継続的に行い、地域との関わりや協力体制をさらに強化していきたい。

【香川県教育委員会生涯学習・文化財課】

< 地域と共に子どもたちの未来を創造するPTA活動 >

所在地：愛媛県東温市
全校児童数：86名

学校の特徴	明治9年に開校し145年の歴史がある。豊かな郷土愛の中で育まれた学社一体の伝統ある校風を受け継ぎ、発展させるため、小規模校の強みを生かした、創意と活力ある教育活動を実践し、ふるさとを愛し、誇りに思う児童の育成、地域に愛され信頼される学校づくりを推進している。また、令和元年度に市からコミュニティ・スクールのモデル校の指定を受け、学校運営協議会を中心に地域との連携や協働活動を充実・発展させ、教育の質の向上にも取り組んでいる。
地域の特徴	東温市のほぼ中央を流れる一級河川の重信川の南岸に位置し、東に西日本最高峰の石鎚山を望み、田畑に囲まれた自然豊かでぬくもりのある地域である。また、地域も学校に協力的で、積極的に学校行事やPTA活動に参加し、応援してくれている。



<h3>成果</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の充実により、地域との交流が増え、地域を誇りに思う児童が増えてきた。また、地域とのつながりが広がるとともに強まり、見守り隊活動の体制強化が図れたり、授業支援の機会が増えたりすることで、安心して学習できる教育環境も整ってきた。 ・地域コミュニティの活性化により、地域とPTAがより連携・協力しやすくなり、さらに充実したPTA行事が実施できるようになり、PTA役員への負担軽減も図られた。 	<h3>課題</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協力は深まったが、双方向の活動とはなっていない。今後も、学校運営協議会を中心に、地域と一体となった連携合うPTA活動を企画・運営していく必要がある。 <p>【愛媛県教育委員会社会教育課】</p>
--	---

<地域とともにみんなで作るPTA>

所在地:愛媛県松山市
全校児童生徒数:60名

学校の特徴

「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」を学校の教育目標に掲げ、「自分のよさを生かし、自主的、主体的な生活のできる子ども」「自分の思いや願いをもち、多様な生活の場で役割を果たし貢献できる子ども」の育成を目指している。

地域の特徴

愛媛県松山市の道後温泉の近くに位置し、児童生徒は松山市周辺の広範囲の地域から通学している。敷地内には、附属学校園(幼稚園・小学校・中学校と本校)と近隣に附属高校があり、互いのよさを大切にしながら、各行事・学習・研究活動など多方面で積極的な交流をしている。

活動内容

特徴的な活動

☆ 学校祭 ☆ 2学期になるとPTAと子どもたちが中心となって、学校祭の準備が始まる。学校祭の様々な活動において、子どもたちも企画運営に携わっている。来校者には、子どもたちの教育活動の実態や成果、役割を果たす姿をしっかりと見てもらうことができている。学校祭は、子どもたちが主体的に他者と関わることで、自分の存在価値を地域の方たちに理解していただく大切な機会と捉えている。



<小学部ゲームコーナーとPTAバザー会場>



<中学部ゲームコーナー>



<高等部農耕班販売>

毎年、地域の方々に来校していただくために、子どもたちの手でポスターを貼ったりチラシを配ったりする。隣接している附属学校園からも参加者があり、交流の機会となっている。また、卒業生や教職員OB・福祉施設の方々・学生ボランティア等の参加も多く、活動の拡がりをみせている。

○ 事業所等と連携した取組
◇職場見学や就職支援ネットワーク会議◇
学校・PTAと事業所が連携し、卒業後の進路について、一般企業や福祉サービス事業所等から、進路に関わる提言を聞いたり、実際に職場を見学したりすることで、保護者の「働く生活」についての理解と啓発を図るとともに、児童・生徒の進路決定の参考にしたり、将来に向けて児童生徒に対する支援の在り方について考える機会となっている。



○ 愛媛大学との連携
◇学校保健委員会の取組◇
様々な分野から、愛媛大学の先生を講師に迎え、子どもたちの健康や具体的な支援等に関する研修会を毎年開催している。

○ 附属学校園の連携
附属五校園で各種PTA研修会へ参加
附属高校との作業交流会など

成果

PTA役員を中心に、保護者・教職員全員参加で、活気にあふれ、充実したPTA活動ができている。特に、運動会や学校祭など参加型の行事では、教職員のOBや卒業生など、本校と関わりのある全ての方々が、児童生徒のために、みんなで楽しく行事をつくる土台が築かれており、つながりや絆を感じる活動ができている。

課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年計画しているPTA活動ができない状況である。11月開催予定の学校祭においても、縮小した形で実施計画の検討中である。今後、新しい生活様式の中で、安全・安心を基本においたPTA活動や行事をどのように進めていくか、地域のみなさんとともに考え実行していきたいと考えている。

<戸波の未来を戸波の子どもたちに>

所在地: 高知県土佐市家俊1074番地
 全校生徒数: 29名

学校の特徴	昭和22年に戸波村立戸波中学校として開校し、昭和32年には現在の学校名に変更された。これまでに約4000人の卒業生を輩出している。学校教育目標は「笑顔あふれる生徒の育成」とし、一人一人の進路を保障する学校の構築に努めている。
地域の特徴	校区は、稲作の他、文旦や生姜栽培を中心とした農業が盛んで、田園が広がり、自然豊かな地域である。「戸波あったか教育推進会議」では、戸波の子どもたちの明るい未来を創造するため、学校・地域・家庭が一体となった取組が熱心に行われている。
活動内容	○「戸波あったか教育推進会議」を中心とした保小中・地域・PTAとの連携による「HEWAハート祭」の開催 ○毎年5月30日(ゴミの日)の地域清掃活動 ○参観日の各学年による親子行事(1学年は親子で学級旗の制作) ○PTA体育部による保小中・地域を巻き込んだソフトバレーボール大会(戸波カップ)の開催 ○学校便りで行事や活動に関する情報提供をPTA会員だけでなく地域にも発信。



HEWAハート祭

令和元年度で20回目を数えたHEWAハート祭は、『戸波あったか教育推進会議』を中心に保小中・地域・PTAが連携して開催している。

HEWAハート祭では、地域の社会教育団体による『昔遊び』や『自転車運転シミュレーション』などの体験コーナーの他、地元の鮮魚店による伝統料理『うつぼのたたき』の実演・試食などを催し、子どもたちが地域の方々や産業に触れる貴重な機会となっている。

また、本の読み聞かせや健康づくりコーナーの設置を行うとともに、人権を大切にすることを書いたメッセージを紙風船に結びつけ参加者全員で空高く飛ばすなど、人権を大切にしたい街づくりの視点に立脚した取組を行っている。このイベントを通してPTAと地域全体で子どもを見守る体制が構築されてきている。



成果

- ・HEWAハート祭は、地域を巻き込んだイベントとして定着しており、人権啓発の場としても重要な役割を担っている。
- ・戸波あったか教育推進会議、地域学校協働本部事業を中心とした活動により、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうとする気運が高まっている。
- ・全校お弁当の日やクッキング教室を行うことで、家庭での食育への関心が高まり、園児、児童・生徒の朝食摂取率が向上している。

クリーンキャンペーン

保小中の園児・児童・生徒やPTAを中心に地域の清掃活動を行っている。地域の方々と一緒に取り組んでおり、地域貢献活動として根付いている。



クッキング教室 全校お弁当の日

PTA給食部の主催によるクッキング教室を開催し、お弁当レシピの普及活動など食育に関して学ぶ機会を設けている。また、ヘルスメイトさんの協力も得て、朝食作りやお弁当作りを行っており、小中PTA

が学ぶ場とともに地域の方と生徒との協働活動も行われている。



課題

- ・少子化による家庭数の減少等により、保護者数が減少し、多様なPTA活動の継続が厳しい状況にある。
- ・地域学校協働本部事業と連携し、ボランティアとして活躍できる地域の人材バンクの創設と活動の活性化が必要である。

<学校・家庭・地域をつなぐPTA活動>

所在地: 高知県高岡郡佐川町乙1789-5
 全校生徒数: 100名

学校の特徴	昭和23年には現在の学校名に変更された。これまでに1万人を超える卒業生を輩出している。教育方針として、生徒一人一人の夢の実現を目指し、個性と人権を尊重しつつ、社会人として「生きる力」を持った健全な人材の育成に努めている。
地域の特徴	校区は、城下町として栄え、造り酒屋や商家を中心とした歴史情緒溢れるまち並みが現在も残っている。学校・家庭・地域が密接な関わりをもって学校の活性化につなげている。
活動内容	総合的な探究の時間「さくら咲くプロジェクト」への協力。文化祭、大学訪問、愛校作業など学校行事への積極的な参画。

特徴的な活動

<総合的な探究の時間「さくら咲くプロジェクト」への協力>

・地域と生徒との結びつきを、学習を通してより強めるため、1年生では「地域を知る」、2年生では「地域を体験する」、3年生では「地域に提言する」という3年間を通した総合的な時間が設定されており、PTA会長が学習に関してアドバイスを行ったり、探究活動ではガイドを行ったりするなどPTA役員が生徒と地域のパイプ役となり、地域と学校の協力体制を整えている。

<地域との連携・保護者交流>

・文化祭では、地域の物産販売を地元地域住民の協力を得て、仕入れから販売まで保護者が行っており、地域の方々との交流や会員相互の親睦を深める契機となっている。

<家庭教育と学校教育の連携>

・家庭教育と学校教育が連携するためのセミナーや講習会、大学訪問などにPTA会員が参加することを通して、教員と保護者の横のつながりを強め、生徒理解につなげている。



地域の物産販売の様子



大学訪問の様子

成果

・PTA、教職員、地域住民と連携・協力しながら学校行事に取り組むことで、学校と地域のつなぎ役となり、地域あげでの教育活動の推進につなげている。
 ・様々な学校行事を通して、保護者同士の交流が活発になり、積極的な意見交換が実現しており、良好なPTA活動につながっている。

課題

・PTA活動に熱心に取り組んでくれる保護者は多いが、PTAが企画・提案を行うなど、自主的な活動の幅を広げていくことが課題。

< 地域と成長し続けるPTA活動 >

所在地: 福岡県北九州市八幡東区祇園町
 全校生徒数: 児童572名

学校の特徴	1901年操業の官営八幡製鉄所の大規模な社宅群があった、桃園住宅、平野住宅に住む子どもたちが通っていた旧前田小学校、旧平野小学校を平成16年4月に統合し、新たに花尾小学校として開校した、17年目の新しい学校です。
地域の特徴	花尾小学校近辺には、保育所、花尾中学校、八幡中央高校、九州国際大学があります。また、市立図書館、国際協力機構JICAなどがあり、国際交流ゾーンにも指定された、海外の方とも、交流が取りやすい地域です。統合された校区という事もあり、2つの地域自治区会が関係しています。
活動内容	

特徴的な活動・運営体制

花尾小学校のPTAの活動の特徴は、一言に【地域との共生】です。
 月に1度役員会、理事会を開催、理事会には、自治区会会長、図書館館長、JICA館長など、近隣施設の関係者を招待し、学校、PTA活動の報告から、施設の行事紹介等の話し合いの場としても活用しています。近い関係性を持ち、相互の協力体制を築いています。

右の写真は、その象徴的な取組で、例年夏休み最後の日曜日に開催しているPTA主催「夏休み清掃活動」の様子です。先生、保護者、子ども、地域の自治区会の方々、近隣施設の関係者が学校に集い、気持ちよく新学期を迎える事ができるよう、様々な方とふれあいながら学校を掃除する行事です。保護者を含め例年400人以上が参加し、清掃後には、カレーやかき氷を地域とPTAが協力して参加者へ提供しています。

行事に参加することにより子どもたちが新学期を迎えやすくなったという意見を頂いています。

年1度開催する『地域連携事業』では、地域と協力してJICAなどの近隣施設で様々な行事を行っています。全国大会で優勝した「八幡中央高校書道部・書道パフォーマンス」の観覧や書道体験、また、講演会では、内容について話し合う場が設けられています。

この事業は、その年度のPTAが主催していますが、PTAのOBも協力して行っています。花尾は、行事が多いと言われるが、地域、OBとの近い関係性、協力によって成果をあげているとも言えます。



○地域住民と連携した取組
 ◇伝統文化「前田祇園山笠」の継承◇
 夏には北九州市無形民俗文化財に指定されている「前田祇園山笠」が開催されており、実行委員に多くのPTAが関係している。この時期には、学校、地域、保護者を交え祭り一色となる。児童も数多く参加し、学校で伝統文化について勉強する。山笠関係者が太鼓を教えに学校に来ている。

○その他の活動
 ・朝の交差点旗持ち運動、子どもたちへの声掛け運動も積極的に地域と連携して実施している。
 ・花尾小学校特有の委員会「学級委員会」にて『学級コミュニケーション』と称する茶話会を開催。保護者に参加を募り、悩みなど相談しやすい環境、場所を提供している。開催時には、託児環境を設け、保護者が参加しやすいよう配慮している。
 ・「家庭教育学級講演会」は、内容を随時話し合い、その時期に見合った内容を目指している。
 ・PTA独自のHPを開設、活動の「見える化」を目指している。

成果

- ・保護者間の繋がりを強くする活動を目指しているため、多少の子ども同士の問題も保護者間で解決している。
- ・子どもが、保護者だけでなく、行事を通していろいろな方と関係する事が多くあり、知識量が増え、「あいさつ」が良くできている。
- ・PTAに関心が深く、例年総会には、7~8割の保護者が参加している。

課題

- ・近年、共働きの家庭が増え、PTA活動への参加しやすさを重点においている。
- ・スマホの普及により、問題が多様化、保護者(PTA)の情報・知識の先取りが重要である。

<生徒たちの“一生懸命”を応援する>

所在地:福岡県北九州市戸畑区夜宮3-1-1
 全校生徒数: 700名

学校の特徴	昭和11年に開校した全日制普通科の県立高校で、校訓「自主・調和」のもと、たくましく心豊かな創造者を育成することを教育目標としている。生徒の希望進路実現はもちろん、知・徳・体のバランスを身につけさせる進学校として、世界で活躍するグローバルな人材を輩出している。
地域の特徴	政令指定都市北九州市のほぼ中心に位置し、JRやバスなど公共交通機関の利便性がよい地域である。また、小学校・中学校・高等学校・大学の教育機関が近くに存在するなど、閑静な住宅街にあって教育環境が非常に整っている。

特徴的な活動

① 戸高祭（文化祭）・・体育大会におけるPTAバザー

6月に行われる戸高祭や9月に行われる体育大会では、総務・広報・体育・研修の全委員会が協力してバザーを企画・実施している。収益金は、生徒たちの教育活動の補助に役立っている。



体育大会バザー

② PTA新聞「飛幡」を発行（11月発行）・・広報委員会

PTA、生徒の活動を中心とした紙面編集と内容の充実を図っており、県の広報誌コンクールでは毎年表彰されている。県代表として九州高等学校PTA連合会大会や全国高等学校PTA連合会大会にも推薦される等、県下においてPTA新聞をリードしている存在である。

③ 早朝訓練豚汁会

1年生を対象とした早朝訓練（マラソン）が、12月に実施されており、最終日の納会時には、1年生のPTAによって豚汁が生徒たちに提供されている。



豚汁会

各委員会の活動

① 総務委員会

PTA役員会・理事会の企画・調整、会員相互の親睦に関する企画・立案



理事会

② 体育委員会

体育大会の充実に向けた、会員参加競技の立案・実施

③ 研修委員会

毎年、2年生の保護者を対象として11月に開催。外部講師を招聘してのマネープラン講座や3年に一度、日帰り県内外の大学や施設見学等を行う研修を開催。

成果

- ・PTA活動や学校行事に多くの保護者が参加し、生徒の日々の活動の様子、学業や部活動の成果等について、関心をもった保護者が非常に増えている。
- ・入学者説明会の折にPTA活動の内容説明を行うため、活動に理解を示す保護者が増えてきている。

課題

- ・出身中学校からのつながりでPTA役員をお願いしている現状もあるので、より多くの保護者から役員が選出できるようにしたい。

<子どもたちの笑顔のために 一人一係>

所在地: 佐賀県小城市三日月町
全園児数: 101名

学校の特徴	昭和30年4月、三日月村立三日月幼稚園として設立され、その後、三日月町立、小城市立と改称した。令和3年4月の認定こども園移行に伴い小城市立認定こども園三日月幼稚園と改称し、佐賀県内初の公立認定こども園となる予定である。園児数が300名を超えた時期もあった。
地域の特徴	以前は田園地帯が広がり農業先進地であったが、県都佐賀市に隣接し交通の便も良いため、宅地化が進み、他市町村からの転入者が増えている。小中学校とも近接しており、連携が図られている。

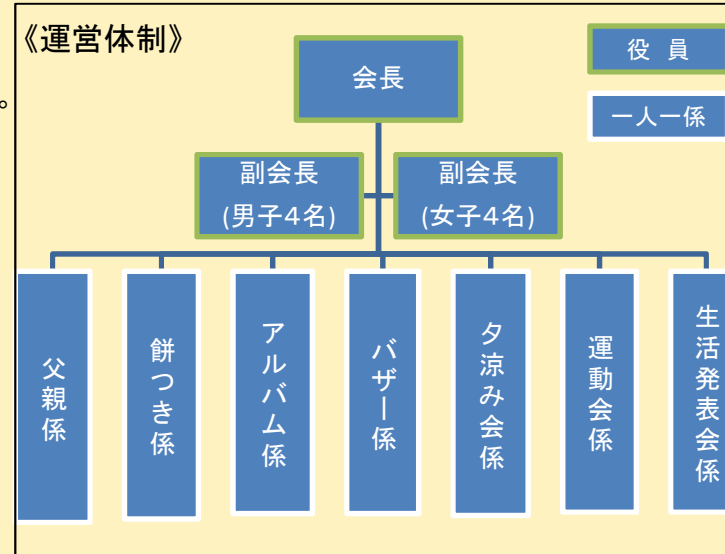
活動内容

特徴的な活動・運営体制

《一人一係の選出》

- 会長、副会長(本部役員)以外の全保護者が、右図のいずれかの係に所属して父母の会活動に参加する。
- 父母の会総会(4月)終了後、本部役員から各係の活動内容を全保護者に説明し、希望を基に話し合いで一人一係を決定する。
- 保護者は、各係の仕事を通して園行事に協力して子どもの活躍の場をつくと同時に、子どもの成長を間近で見ることが出来る。
- 全保護者それぞれが、自分にもできる範囲の協力をしていくことで、子どもの笑顔につながっていることを実感できている。
- 行事終了直後には、その場で係所属の保護者にアンケート記入をお願いして、率直な意見や感想を次年度の父母の会活動に生かしていくようにしている。

《運営体制》



○地域と連携した取組

◇バルーン係留飛行体験◇

佐賀インターナショナルバルーンフェスタに出場している地元バルーンチームと父母の会(父親係を中心)の協力で、全園児がバルーンに乗り、バルーンチームとの交流会を行っている。



○有志保護者による取組

◇読み聞かせグループ「アイアイ文庫」◇

「子どもたちの心を豊かに」をモットーに毎月1回読み聞かせを実施。



成果

- 一人一係により、役員だけでなく、全保護者の協力で園行事が実施できている。
- 子どもの活躍や成長を、間近で見ることにより、親としての成長も実感できている。
- 行事運営に関わることで、園職員との意思疎通も深まるようになった。

課題

- 家庭の事情や仕事の関係で、役員・係を引き受けることが難しい状況が強まってきた。
- 認定こども園移行に関連した父母の会組織の見直しが必要となってきている。

【佐賀県教育委員会学校教育課】

広域の校区の中で、子どもの将来を支えるために

保護者同士での“絆”づくりに取り組む活動

所在地: 佐賀県佐賀市富士町

全校児童数: 90名

学校の特徴

本校は、明治期に開校し、昭和36年に2校、昭和50年に3校、平成25年に2校が統合し現在に至る、歴史と広域の校区をもつ山間部の学校である。全学年20人以下の小規模学級であり、学校目標を「地域を担う夢に向かって伸びる富士っ子の育成」とし小中一貫教育を推進している。

地域の特徴

豊かな自然に恵まれ、古湯温泉・熊ノ川温泉を有するいで湯の里である。学校のそばを1級河川嘉瀬川の清流が流れ、ホタルやカジカガエル、絶滅危惧種のミヤマアカネの産卵場所になっている。また、山間部での米作りや野菜作りも盛んである。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

★親同士・子ども同士の絆づくりのために、「年末もちつき大会」を企画する。(雨天でも実施)

PTA主催で、12月の第3日曜日に授業参観や役員決めも兼ねて開催している。学校近くの田んぼを借用し、JAの方の指導を受けながら、5年生以上の児童が、5月に田植え、10月に稲刈りの体験活動を行う。

収穫したお米の重さの分だけ、もち米に変えてもらい、**母親部長**を中心に当日のもちつき大会の準備(もち米洗い、豚汁用の肉・野菜切り等)をする。また、各家庭から豚汁の材料(ゴボウ、白菜、ネギ、里芋など)も無料で集めていただく。

当日は、**役員と父親**の方々が朝早くから薪を焚き、湯を沸かし、臼を洗い、児童が楽しくもちつき大会ができるように準備をする。

①実施時期: 12月第3日曜日

②頻度: 毎年

③参加人数: ほぼ100%

④運営担当: **母親部・執行部**

⑤工夫点: **母親部**の取組状況をお知らせすることで、手伝う保護者も多い。できあがったもちと豚汁を体育館で親子で食べた後、もちのお土産を持って帰る。毎年、卒業生も参加している。



○保護者や地域住民と連携した取組

ミニミニバザー・アルミ缶回収(生活部)

- ・生活部と執行部が連携し、保護者や教員の他、地域住民にもバザー品の提供とアルミ缶回収をお願いしている。
- ・小規模な組織のPTAの収益から、児童が一輪車や遊ぶボールなどを購入している。
- ・生活部7名と執行部4名程で毎年実施している。



○「あいさつ・PTA交通安全」運動の推進

- ・校区が広いので1時間以上かけてバス通学する子や長い距離を歩いて登校する児童のために、毎月1日と15日の月2回、**全保護者**で分担して「あいさつ運動」を行っている。

○その他の活動

- ・PTA教育講演会の企画・運営
- ・親子ふれあい活動の充実
- ・6年生学校に泊まろう! PTA支援 など

成果

- ・恒例の年末もちつき大会、各学年親子ふれあい活動、ミニミニバザー、教育講演会などの行事への参加者は、参加しやすい日曜日に位置付けることで、参加が増え続けている。
- ・2か月に1回のPTA役員会を開催して、会員で協議しながら進めたことで、学校や地域の課題解決につながっている。
- ・世帯数の少ない地区であっても、積極的に地区役員を引き受けられている。活動を通して保護者同士の“絆づくり”が少しずつ強化されているのが分かる。

課題

- ・学校に、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設置されて3年が経過しているため、PTAと学校運営協議会の連携した取組を期待したい。
- ・学校の統廃合が進んでいる地域だけに、地区ごとの思いや願いをPTAとしても意識して今後とも活動を継続してほしい。

【佐賀県教育委員会学校教育課】

<子ども、親、先生への下支え～まなびあいつながりあいわかりあい～>

所在地：長崎県諫早市飯盛町中山653
 全校児童： 275名

学校の特徴	明治6年江ノ浦小学校として開校、平成16年諫早市立飯盛東小学校と改称し、「ひろい心で思い合う子ども、 がんばり通す子ども 、 しっかりと学ぶ子ども 」の ひがし っ子を合い言葉に学校と地域が連携して子どもたちを育み、保護者と教職員の信頼関係のもとに、PTA活動が運営されている。
地域の特徴	飯盛町は人口約7,100人で、高齢化が進む地域ではあるが、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の高い元気な先輩方に守り支えられ、安心して子育てできる環境である。
活動内容	特別支援教育に関する認識の違いから、本当に支援の必要な子どもが、支援を受けられない現状になっているのではないかと感じ、勉強会(東小親学校)や実践を重ねてきた。また、困った時は素直に「お願い!」と言える雰囲気大切にしながら、全ての保護者で、一人一役活動に取り組んできた。

	東小親学校等の内容	参加者
H26	長崎大学吉田ゆり教授講演会	保護者、教員
H27	映画「みんなの学校」上映会	小学生(4～6年生) 中学生(全校生徒) 保護者・教員・地域
H28	「みんなの学校」木村泰子元校長講演会 よろう会(3回実施)	保護者・教員・地域 町外教員 保護者
H29	特別支援学級保護者体験の勉強会 よろう会	保護者・教員 保護者
	特別支援学級活動「ぬっペパーリー」	特別支援学級児童・卒業生 保護者・教員・PTA役員



【木村泰子元校長講演会】



【ぬっペパーリー準備】



【カナッペパーリー買物】

子育て一人で悩んでる人!



【子育て勉強会INひがし】

平成30年度の活動

特別支援学級の児童や卒業生、入学予定児童と、それぞれの保護者も参加。悩みを共有しながら互いの成長を喜び合う。

ペアレントメンターを招き、親の不安を共有する。

令和元年度の活動

☆東小親学校

東小親学校1回目
 「増加する小児の頭痛」
 ～原因と知識
 ・そして対策～

東小親学校2回目
 「子どもの成長に関わる
 疑問・対処法」



【東小親学校】

東小親学校は、会員が学びたいと感じた時に、全会員向けに企画実施している不定期の会である。

子育てに悩んでいる保護者に聞いてもらいたい時は、全保護者へ封書に手書きで宛名を書くようにし、保護者の手に届きやすいように工夫している。

質問が多く、もっと多くの事を聞きたいとの要望に応え、2回目を開催した。この評判を聞いて、地域の方々や、先生のご家族も多数参加された。

成果

子育てをしていく中でどんな親でも不安になり、悩むことはあるはず。**不安を共有し多くの手で支え理解し合うこと**で「特別ではなく個性」と思えるようになった。

課題

親の理想とする子ども像と、子どもの育ちの現状とのギャップ、認めたくない親心、また、地域とのより一層の協力体制の構築等々、PTAとしてどうアプローチしていけばよいのか。

つくる・つなぐ・つむぐ～子どもを見守り、ともに歩む～

所在地：長崎県佐世保市梅田町10-14
夜間部生徒数： 168名

学校の特徴	昭和52年に開校し、平成29年に創立40周年記念事業を挙行政した。定時制(昼間部・夜間部)・通信制の三課程があり、夜間部では、従来の夜間コースに加えて、平成30年度より昼から学べるエンカレッジコース(普通科1クラス、商業科1クラス)を開設し、多様な生徒たちにとって「成長できる学校、信頼される学校、居場所のある学校」を目指し、保護者、地域とともに新たな体制にチャレンジしている。
地域の特徴	人口約24万人の佐世保市は長崎県北部に位置し、西海国立公園「九十九島」に代表される豊かな自然に恵まれた街である。ハウステンボスに代表される観光都市でもあり、また自衛隊や在日米軍の基地として伝統を受け継ぐ、造船および国防の町として知られる。
活動内容	P(パッと)T(楽しく)A(集まろう)というキャッチフレーズのもと、生徒一人一人の最終的な進路達成を支援するために精力的な活動の活性化を図っている。

特徴的な活動・運営体制

【運営体制】

会長の明るく朗らかなリーダーシップにより、令和元年度より評議員会を3部会(文化部・広報部・企画部)で構成した。他課程のPTAとの協働も連携も親和的かつ効率よく取れている。

【特徴的な活動】

- (1)三課程合同文化祭(中央祭)での食物バザー
打合せや準備、当日の業務に至るまでを、夜間部PTAが中心となって取り組み、業務(カレー・うどん・餅など)を分担し協働している。また、地域の方々の楽しみの場になっている。
- (2)県定時制通信制体育大会前のおにぎり支援
毎年6月の県大会に向け、生徒を激励する恒例行事となっており、評議員の方々の情報交換の場になっている。
- (3)PET面接指導
本校にはアルバイト生を支援する雇用主様と学校との組織(ETA)があり、3年次生の就職試験前にPTA会長、教職員と共に模擬面接指導を行っている。



《校舎外観》



- 挨拶運動と安全パトロール
挨拶立番指導毎日2回、考査期間中の下校時の見回りと巡視(駅周辺、市街)
- その他の活動
安全運転実技講習会、研修旅行など



成果

中央祭での食物バザーにおける、他課程のPTAとのスムーズな協働に加え、PTA広報紙「輝き」の創刊や安全パトロールなど、全会員の皆様と全教職員の理解と努力により、会員相互の連携も強化され、PTA活動が活性化していると実感している。PET面接指導の一つの成果として、卒業生は2年連続進路達成100%である。今後も持続可能な運営体制を模索していきたい。

課題

保護者のPTA行事への参加者が固定化する傾向にあり、活動に参加する保護者の広がりを持たせる工夫と、PTAの願いを地域にさらに発信する機会づくりが必要である。

<地域密着！みんなで育てる中松っ子>

所在地：熊本県阿蘇郡南阿蘇村中松4212
 全校児童数：76名

学校の特徴	明治8年に創立し145年の歴史をもつ本校は令和2年度末をもって近隣の2小学校と統合する。「なかよく(温情)かしく(創造)たくましく(健康)」の校訓どおり、学びを楽しみ、学年の枠を超えて元気に外遊びをする子どもたちとそれを見守る温かな保護者と地域に支えられている学校である。
地域の特徴	阿蘇五岳と外輪山に囲まれた農村地帯であり、イチゴやメロン、トマト、ブドウ等の栽培が盛んである。「水の生まれる里」と呼ばれるように、校区には数多くの水源や樹齢400年の一心行の大桜等を有し、多くの観光客が訪れている。
活動内容	教育会は、保健・安全、広報、体育・整備の3つの委員会に分かれ、広報紙作成や親子給食試食会の実施など積極的に活動することができている。高学年の米作り体験活動、低学年の野菜栽培、中学年のさつま芋栽培など教育会と地域住民が一体となってサポートする体制が整っている。

特徴的な活動・運営体制

<地域に支えられた米作り体験活動>

毎年、年度当初、教育会と地域住民の代表者が集まり、5・6年生で実施する米作り体験活動に関する作業(荒起こし、代掻き、水の管理、田植え、稲刈りの指導)の役割分担を行う。教育会と地域住民のサポートのもと、代掻きを兼ねたドローリング、田植え、稗取り、かかし作り、稲刈りなど貴重な体験をすることができている。



<地域とつながる米作り体験活動>

毎年、地域の婦人会、民生委員、老人会や教育会の協力のもと収穫したモチ米で赤飯づくりを行っている。赤飯にはメッセージを添え、民生委員や老人会の方とグループを作り、独居老人宅等80戸を一軒一軒回り手渡ししている。地域の方々への恩返しとして、赤飯配付の他、熊本地震の復興支援の一環としてモチ米販売の収益を南阿蘇村に義援金として寄贈している。



地域住民と連携した取組

<地域と一体となった閉校事業実行委員会>

令和元年9月に教育会と地域住民を中心に閉校事業実行委員会を立ち上げた。記念誌・記念碑・記念式典の3部会に分かれ、熱心に議論を重ね準備を進めている。



様々な取組

<親子給食試食会>

保健・安全委員会が実施した試食会(低・高学年の2回実施)への参加率は100%だった。

<教育会講演会の実施>

役員会主催の講演会を毎年開催している。令和元年度は県職員(子ども家庭福祉課)を講師に招き実施した。



成果

- ・地域住民、教育会が一体となってサポートするこの米作り体験活動は、十数年続いている。この活動によって子どもたちは、校区に広がる水田に関心を持ち、農作業を通して米作りの大変さを学び、食への感謝の気持ちを持つことができている。また、地域住民や保護者は、米作りを通して互いに絆を深め、地域全体で子どもたちを見守る気運を高めることに繋がっている。
- ・独居老人宅への赤飯配付や熊本地震への義援金寄贈を通して、子どもたちは自分のできることを考え、地域の一員としての自覚を高めることができている。

課題

令和2年度末に統合となるが、学校行事やPTA行事、総合的な学習の時間などのカリキュラムマネジメントに取り組むことで、統合した小学校においても保護者や地域住民が“おらが学校”の意識を持てるように地域と共にある学校づくりを目指していきたい。

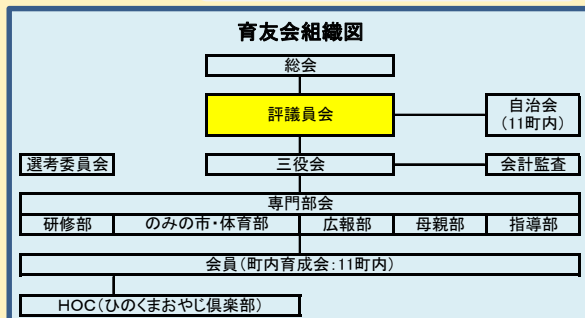


【熊本県教育委員会社会教育課】

トライアングルでつながる笑顔と感謝

～日隈フランド
がまだし中～

所在地：大分県日田市日ノ隈町
全校児童数：児童244名

学校の特徴	明治6年。堀田学校として創立。隈学校、三隈尋常小学校、日田尋常高等小学校、日田女子校、女子国民学校と校名の改称をへて、昭和21年日隈小学校に校名を改称し、現在に至る。「豊かな人間性と学びに向かい続ける力を身につけ、たくましく行動できる子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、家庭・学校・地域が連携して教育活動を進めている。
地域の特徴	日隈校区は、三隈川と庄手川に挟まれた島内地区の農業地帯と、日田温泉街を有する隈地区の商業地帯に大別されていたが、現在は島内地区につながる亀山橋が新しくなり、県道が開通したため、2つの地区が一体化され、宅地化が進んでいる。校区には、中世の日隈城や江戸時代から続く祇園祭等、歴史と文化がたくさん残されている。本校創立は広瀬淡窓の私塾である咸宜園の講堂であった堀田学校が基となっており、そのため校区の人々は、愛校心がとても強く、誇りと熱意をもって、学校活動に協力し取り組んでいる。

活動内容	<h3>特徴的な組織体制</h3>  <p>育友会組織図</p> <pre> graph TD A[総会] --- B[評議員会] B --- C[自治会(11町内)] B --- D[三役会] D --- E[選考委員会] D --- F[会計監査] D --- G[専門部会] G --- H[研修部] G --- I[のみの市・体育部] G --- J[広報部] G --- K[母親部] G --- L[指導部] G --- M[会員(町内育成会:11町内)] M --- N[HOC(ひのくまおやじ倶楽部)] </pre> <p>年間2回の評議員会は、育友会三役、学級委員長、町内育成会長、自治会長、公民館長、主任児童委員、校長、教頭で構成されており、総会に次ぐ議決機関として、活動についての審議を実施し、地域住民を含めた組織が構成されている。また、準会員(地域住民)も育友会費を納めている。</p>	<h3>特徴的な活動</h3> <h4>のみの市</h4>  <p>年1回、保護者・地域の方の協力で実施している「のみの市(バザー)」は、地域の方々も楽しみにしている取組。物品の収集や運搬等を含めて、学校・家庭・地域の3者をつなぐ活動。他の小学校PTAで、バザーの取組が少なくなってきた中では、特徴的な取組。</p> <p>今年は「塩さんま」も商品に並んだ。収益金の一部は学校の図書費へ、残金は育友会費へ。大切な活動資金です。</p>	<h3>その他の特徴的な取組</h3> <h4>HOC(ひのくまおやじ倶楽部)の活躍</h4>  <p>体育専科教員の眩き、「跳び箱が苦手な子どもが多いよなあ……上腕で体を支えて押し出す力……子どもたちはタイヤの跳び箱が欲しいと言っていたなあ……」</p> <p>そんな眩きを聞きつけた育友会HOCの素早い動き。メンバーへの声かけ、作業工程の検討、古タイヤの調達、なんと重機まで調達、教育委員会の許可がおりるや設置作業に取りかかり、わずか1日で完成！</p>
-------------	--	---	--

<h3>成果</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の実施により、協力体制を強化する仕組み作りがなされ、学校・家庭・地域が協働した効果的な運営が行われている。 ・準会員も年会費を納めており、「自分たちが支援している学校」という意識が強い。また児童一人あたりの年会費も少なく、保護者の負担軽減が図られている。 ・平成30年度・令和元年度の2年間にわたり、大分県PTA連合会の研究指定校としても実践・研究に取り組み、県内のPTA関係者に高く評価されている。 	<h3>課題</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の育友会への関わり方や意識に差が見られる。 ・活動内容や形態を工夫して保護者が「楽しむ」、保護者が学校・地域と「繋がる」活動を行い、学校・家庭・地域(トライアングル)の連携をより強めたい。 <p>【大分県教育委員会 社会教育課】</p>
---	---

<学校・地域と連携した生徒の人間力の向上>

所在地：大分県大分市
 全校生徒数：生徒704名

学校の特徴	昭和48年4月開校。大分県大分市にある男女共学の公立高校。「誠実・自主・創造」の校訓のもと、社会において逞しく生き抜き、積極的に社会貢献できる生徒の育成”を教育目標に掲げ、「文武両道の追求」「人権意識の高揚」を通じて生徒の人間力の向上を目指すことで、地域に信頼され尊敬される学校となることを使命としている。公立高校では珍しい進学重視型の単位制高校。単位制普通科のみの1学科で、「必修科目」「共通履修科目」、進路に応じた「自由選択科目」があり、少人数制のクラス編成を生かしたきめ細やかで丁寧な教育がおこなわれている。
地域の特徴	新産業都市指定や大分臨海工業地帯への企業進出などの工業化等に伴う大分市の人口急増に対応するために、大分市郊外に造成された住宅地群の狭間に設けられた高校であり、現在でも付近の住宅地から自転車で通学する生徒が多い。校舎は標高約70mの雄城台地上にあり、通学する際には、急勾配の雄城坂を登ることになる。学校敷地内には雄城神社があり、周囲の喧噪から遮断された良好な環境が保たれている。

活動内容

特徴的な活動

通学路の「雄城坂」には「友情、思索、鍛錬の道」という言葉が掲げられ「あいさつの坂」とも名付けられている。生徒は来訪者(車)に対し立ち止まり、正対してのあいさつを行う。初めは一部の生徒から発祥したが、現在では全校生徒・保護者の理解を得て全校的な取組に発展。「誠実・自主・創造」の校訓そのものの姿である。PTAも積極的に交通指導等に取り組み、生徒のマナーアップと安全確保を図る。



卒業生による講演会



昭和48年に開校以来、卒業生がいない、少ないというハンディを、保護者の協力で学校や生徒をサポートするという体制が整い、それが伝統となっている。

同窓会の企業経営者部会である「三水会」等と協力し、卒業生による生徒向け講演会等の実施、PTA主催の「クリーンアップ雄城台」では、生徒、保護者だけでなく、近隣地域に在住する同窓会員にも声をかけるなど、学校・家庭・地域が協力した多くの取組が実施されている。

クリーンアップ雄城台



成果

- ・学校・家庭とのきめ細やかな連携により、保護者は全員加入、教職員も兼務職員等を除き全員加入している。
- ・保護者が生徒登校時に職員と連携し交通安全のための登校指導を行うなど、その体制や活動が「働き方改革」の視点である、教職員の負担軽減の一助となっている。
- ・「PTA振興大会」事務局校として大会を成功に導くだけでなく、大分地区協議会の幹事校として、他校PTAをリードし、積極的にPTA活動を進めており、高い評価を受けている。

課題

- ・令和2年度から学校がESD(持続可能な開発のための教育)の研究指定校として、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献する探究活動や生徒会活動に取り組んでいるので、PTA活動もESDに協力できるような活動内容の見直しを行っていきたい。
- 【大分県教育委員会 社会教育課】

<学校を核とした災害に強い地域づくり>

所在地：宮崎県日向市大王町5丁目2番地1
全校生徒数：284名

学校の特徴	昭和59年に開校、今年4月に創立47周年を迎えた。11年前に、「大王谷学園」の愛称で、日向市立大王谷小学校と併設型の小中一貫校となる。学校は高台にあり、校舎の3階からは青々とした海、緑豊かな山々、整然とした日向市の町並が一望できる。
地域の特徴	校区は日向市の中心部に近く、昔からの地域と新興の地域とが融合している。7つの区では、地域の清掃活動や夏祭り、防犯活動などそれぞれの区での活動も盛んである。
活動内容	環境美化活動や広報活動、保健体育的活動などの通常のPTA活動を行っている。その他の活動として、自然災害等で学校が避難所となった時に、保護者・地域住民と生徒・教職員が連携・協働できるような活動にも取り組んでいる。

特徴的な活動

学校が高台にあるために、水害等がおこった場合には地域住民の避難所となる。そのためPTAとしても、その事態を想定した活動を毎年計画的に行っている。

令和元年11月16日(土)には、「減災・防災」をテーマとした「大王谷地域こどもフェスティバル(地域と大王谷小中学校の協働行事)」を実施した。



【備蓄品寄付の受付】



【地域のつながりアンケート結果の掲示】



【ディスカッションの様子】



【火起こし体験の様子】

◎区長、公民館長、社会福祉協議会の方、消防士、地区実践委員によるグループワークの実施

◎社会福祉協議会の方、地元企業社長、校長によるパネルディスカッション

◎防災倉庫、防災トイレ、防災かまど等の使用についての紹介や体験

◎中学生による「地域のつながりアンケート」の考察発表

○中学生と地域の方々が参加したことにより、地域の問題解決につながった。

○PTAと地域の方々との連携をもつことができた。

○環境美化活動の充実

主として、生徒と保護者・教職員による活動である。校舎内外の美化活動だけでなく、地域の空き地や通学路の雑草の手入れも行う。



○「キャリア教育」の推進

平成30年1月に、「キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰」を受ける。保護者の学びの場として、「キャリア教育研修会」を隔年で実施している。

○「部活動を支える会」の活動

PTA会長が、当会の会長を務める。適宜会合を開き、部活動に対する物心の援助について協議する。各部活動の後援会長と顧問、教頭、部活動担当職員、事務職員が参加する。

成果

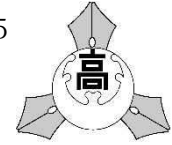
- ・令和元年度の「大王谷地域こどもフェスティバル」の活動により、PTA会員だけでなく、児童生徒や地域の方々にも安全に対する意識が高まった。
- ・日向市PTA研究大会の発表で、本校PTA活動を多くの方に知っていただいたことにより、本市の他の地域に向けて減災・防災について発信することができた。

課題

☆学校が令和元年度よりコミュニティ・スクールとなり、今後、「地域とともにある学校」を目指し、コミュニティ・スクールを生かしたPTAとの連携をどのように構築し、活動していくかを模索している。




< Parent (保護者) Teacher (先生) Area (地域)

所在地：宮崎県日向市大字財光寺6265
 全校生徒数：546名



地域との連携・協働が子どもたちの明るい未来をつくる

学校の特徴	日向・門川・入郷地区唯一の普通科高校として1975年(昭和50年)に創立され、今年46年目を迎える。『剛健・信愛・創造』の校訓のもと、文武両道の伝統を受け継ぎ、多くの先輩達が学業・部活動の両面で活躍している。平成23年度からは地域の期待に応えるため、新たに『フロンティア科』が創設された。ハイレベルな授業が行われる文理混合の学科で、探究活動などにより視野を広げられ、自ら学ぶ姿勢を身につけられる学科となっている。
地域の特徴	日向市は宮崎県の北東部にあり、尾鈴山系を南に、日向灘を東に望み、市西部の東郷町域から美々津・幸協地区を耳川が貫流している。海岸部は、日豊海岸国立公園の南端に位置し、気候は温暖である。日照時間も2,000時間を超えるなど、晴天に恵まれた地域で、サーフィンの名所として全国的に知られている。 近年は高速交通網の整備も進み、「細島港」はもとより、観光資源や農畜産物など本市の特色を最大限に生かすことで、港湾工業都市として、更には交流拠点都市への発展が期待されている。

活動内容 <p>各種専門委員会を軸とした生徒の学校活動へのサポートを各方面から行っている。</p> <p>生活環境委員会 祭り・花火街頭指導、登下校指導といった学校外の教育環境の改善の他、美化作業(昨年度は保護者、職員、生徒、総勢約250名が参加)</p> <p>進路サポート委員会 職業夢講座の運営サポート(昨年度は全24講座開講)、夢ナビライブへの参加など必要な教育活動の推進と振興に積極的に協力する。</p> <p>広報委員会 学期毎にPTA広報誌を発行し、本校での教育活動やPTA活動について情報を提供しPTA活動の活性化を図る。広報誌は市内中学校にも配布し、学校の魅力を発信している。</p> <p>紫雲台委員会 委員会が企画したセミナー活動を年5回程実施し、保護者のニーズに応える内容の講習会を行い、家庭の教育力と保護者としての資質を高める。文化祭に参加しコーラスを披露。</p> <p>1・2学年委員会 修学旅行、センター試験の帰着の際の交通整理を実施し、事故の防止に貢献している。隔年で研修会を実施し、昨年度はLGBTに関する理解を深める講習会を行った。</p> <p>3学年委員会 神社への合格祈願やセンター試験の見送り。</p> <p>地区会 地区毎に役員を設け、それぞれの地区に即した活動が行われる。駅清掃、美化作業参加の呼びかけ等。</p> <p>その他、近隣保育園での読み聞かせボランティアの推進(昨年度7回)、九州保健福祉大学による部活動指導の実施(テーピング講座)</p>	<div style="border: 2px solid cyan; padding: 5px; text-align: center;"> <h3>特徴的な活動 ・ 運営体制</h3> </div> <p>○地域と連携した取組</p> <p>◇職業夢講座◇ 1・2年生に対して、地元社会で活躍している方々に「職業選択の課程」、「やりがいと厳しさ」、「社会で要求される能力やマナー」等の講話を頂き、進路に対する意識を高めながら、将来の職業選択に役立ててもらおうと毎年開催している。</p> <p>○高校魅力発信</p> <p>◇PTA広報誌「大道」◇ ・第63回九州地区高等学校PTA連合大会PTA広報誌部門「優秀賞」受賞 ・第19回宮日PTA新聞コンクール(宮崎日日新聞社主催、NEC宮崎支店協賛)「最優秀賞」受賞</p>	 
<div style="border: 2px solid cyan; padding: 5px; text-align: center;"> <h3>成果</h3> </div> <p>☆PTA副会長4名、学校職員が各専門部に所属しているため、役員と各専門部、学校職員間の情報共有が図られ、スムーズに運営が行われている。</p> <p>☆保護者や地域住民の学校教育活動やPTA活動への理解が深まり、PTA活動への積極的な参加が定着している。</p>		<div style="border: 2px solid cyan; padding: 5px; text-align: center;"> <h3>課題</h3> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●PTA行事を精選し、無理なく活動を続けられるための方策について、さらに検討していく必要がある。 ●県立高校に通う生徒のスマートフォンや携帯電話の学校への持ち込みを容認することになったため、家庭と学校が連携したルール作りが求められる。

<「明るいあいさつ さわやかな笑顔 ひとみ輝く旭っ子」の育成を目指して>

所在地：鹿児島県いちき串木野市
全校児童数：児童31名

学校の特徴	明治12年に開校し、今年で創立141年目を迎え、その歴史や伝統を尊重し、郷土に根ざした特色ある教育活動を推進している。学校教育目標を「心豊かで自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きぬく子どもを育てる」とし、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向けて、全教職員が自己の使命と責任を自覚するとともに、人権・生命尊重の意識の高揚を図り、子ども一人一人に寄り添い、大切に教育の推進に努めている。
地域の特徴	当地域では、かつて金山(芹ヶ野金山～三井鉱山)で栄えた校区であり、金山に関する史跡や郷土芸能である「金山石当節」が有名であるが、現在では過疎化が進み、高齢化が進んでいる。校区は4集落からなり、国道3号線とJR鹿児島本線が校区の中央を南北に走っている。国道沿いの学校で、地域住民の交通安全への意識が高く、登下校の子どもたちの安全を守るスクールガード体制が伝統的に続いている。
活動内容	<div style="background-color: #008080; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 特徴的な活動・運営体制 </div>

PTA役員会では、日程調整や役割分担を行い、決定事項については幹事会だよりを作成し、全会員に配布し周知・理解を図っている。また、簡易な連絡事項は、無料通話アプリで活動内容を共有・把握できるように周知方法の工夫を行っている。

学校行事は、保護者・学校職員で取り組み、協力体制が整っている。全保護者と学校職員が専門部に所属し、各自が分担された行事の企画・事前準備等を行う。

学校行事等を行った後は、必要に応じてアンケート調査を実施したり、無料通話アプリで意見交換をするなど活動の活性化に取り組んでいる。

情報発信については、PTA新聞を年3回発行し、PTA活動や子どもたちの様子を地域住民や保護者に伝えるために校区の全戸に配付している。情報発信を積極的に行うことにより、学校・家庭・地域の信頼関係の構築を図っている。



・ベリーナイス週間を活用した家庭生活リズムの確立を図っている。
・学校運営協議会、校区青壮年部、まちづくり協議会・子ども会との連携・協力

○地域住民と連携した取組
◇伝統芸能「金山石当節」の継承◇
PTAと地域学校協働活動本部が連携し、地域行事・地域文化の継承・振興を図ることを目的として実施している。地元有志として児童・保護者・教員等地域の方総勢20名程が毎年、携わっている。



○「食育」運動の推進
米作りや野菜作りを通じて地域の食文化を理解し、食文化の継承を図っている。また、「早寝・早起き・朝ごはん運動」も積極的に推進している。

○その他の活動
交通安全普及活動(無事故記録継続9500日達成)、家庭教育学級、教育講演会、芹ヶ野虚無僧踊り、読み聞かせ など

成 果

- ・会員の声を反映しやすい運営により、PTA加入率100%、学級PTA出席率96%。
- ・全会員の役割分担を明確にしたことで、特認校生の保護者が協力しやすい体制が整い、児童数が増加したことにより過疎化、児童減少といった地域の課題解決につながった。
- ・学校運営協議会との連携を強化したことにより、学校の課題が共有され、協力体制を強化する仕組み作りがなされ、「地域学校協働活動」の維持・向上が図られている。

課 題

- ・会員の参加意欲を高め、当事者意識を深めるための行事等の充実
- ・「メディアストップ9」の徹底のための家庭でのルールづくり

鶴翔高校生の進路支援の充実を目指して！

所在地：鹿児島県阿久根市
 全校生徒数：生徒270名

学校の特徴	平成17年4月に、鹿児島県立阿久根高等学校、阿久根農業高等学校、長島高等学校の3校が再編整備され、阿久根農業高等学校跡地に総合学科、農業科学科、食品技術科の3学科で開校した学校である。総合学科は2年次から、アカデミア系列、情報ビジネス系列、スポーツ健康系列、環境緑地系列の4系列に分かれて学習し、農業科学科は農業コースと園芸コースに、食品技術科は食品コースと発酵食品化学コースに分かれて学習する。地域に信頼され活力のある学校づくりに向け、学力強化、資格取得の援助、部活動の活性化に取り組んでいる。
地域の特徴	東シナ海に面した自然豊かな地域で、柑橘類などの果樹、ジャガイモ、ソラマメなどの栽培や畜産などの農業、沿岸漁業やブリ等の養殖業などの水産業が盛んな地域である。阿久根市で1つしかない高校として、市や地元企業からも学校を支えようと様々な面で援助をいただいている。令和元年5月、阿久根市と本校は、産業振興・文化・スポーツ発展などでの相互協力を目的とする包括連携協定を結んだ。

活動内容

特徴的な活動・運営体制

- 各学級から選出された評議員、教職員は3つの部門(総務部、生活研修部、保健部)に分かれて所属し、それぞれの役割を担い、連携した活動を行っている。
- 会員の総意を反映させるため総会の他、年3回の評議員会を開催している。
- 年に1回の学校評価アンケートを実施し、改善の資料としている。
- 広報は学校のHPやPTA新聞を活用。
- かつては7地区から選出していた代表の地区評議員をなくすことで負担軽減を図っている。



- 「親子で考える進路選択」の促進(進路講演会・ガイダンス、研修視察)
- 学習支援の充実(朝ゼミ・土曜ゼミの支援、進路補助員雇用等)

○地域と連携した取組

- ・農業系の学科を有している利点を活かし、農産物販売の援助や文化祭での食品・物品バザーを実施。
- ・地域で行われる研修会や地域行事(祭り等)への参加



○生活指導の推進

基本的な生活習慣の確立を目指した挨拶運動や長期休業中の街頭指導を実施

○その他の活動

体育祭・文化祭での巡視・警備、完走歩大会の給水ポイント支援、学校保健委員会への参加、卒業式DVDの制作 など

成果

- ・PTA総会の欠席者会の実施により、総会の内容理解がなされた。
- ・「参加できるときに無理なく参加」をうたい、役員・評議員の精神的負担を軽減し、互いにサポートする意識を高めた。
- ・生徒と共に参加する進路講演会や進路ガイダンスの実施、上級学校研修視察、活動の広報により、保護者が進路情報を集め、我が子の進路決定に積極的に関わっていく意識を高めることができた。

課題

- ・PTA総会や学年・学級PTAなどへの参加率の向上
- ・生徒募集につなげる効果的なPTA活動の広報
- ・地域と共にある高校として地域連携の活性化を模索

<教職員・保護者の協働による学校づくり>

所在地：沖縄県那覇市宇栄原1丁目12番1号
 全校児童数：621名

学校の特徴	2000年(平成12年)に、近隣の過大規模校の解消及び通学路変更に伴い開校。昨年度、創立20周年をむかえた。スポーツ少年団によるスポーツが盛んで、現在、バスケットボール、バレーボール、野球、サッカーのチームがあり、保護者等も活動に積極的に関わっている。
地域の特徴	那覇空港の近くにあり、モノレール沿線沿いの住宅密集地である。昔からの地域住民と県外からの転勤や移住者も多く在住している。地域の行事も盛んで、地区運動会や旗頭等は毎年行われ、多くの住民が参加している。
活動内容	執行部を中心に、環境整備部、文化教養部、広報部、家庭教育部、総務部、保健体育部の6つの専門部と「ベルマーク委員会」「よむよむの会」の2つの委員会があり、それぞれ活動が盛んである。特に広報部は、積極的に広報紙や教職員ポスター等を発行している。

特徴的な活動・運営体制

【特徴的な活動】

○PTA活動が盛んで、特に広報部や家庭教育部、「よむよむの会」、「ベルマーク委員会」は積極的な活動を行っている。

広報部は、毎年、広報紙や職員・三役紹介ポスターを作成し、情報発信をしている。特に、近年は、職員紹介をカレンダーに作成し全家庭に配布。また、家庭教育部では、夏休みに「夏休み宿題応援隊」を結成し、児童と一緒に、夏休みの課題の工作作りを行っている。

○年2回のPTA作業を「親子クリーン大作戦」として実施している。清掃後は、PTA会員でバレーボール大会を行うなど教師と会員との親睦を図っている。

【運営体制】

PTA会長を筆頭に、副会長が9名おり副会長は、6つの専門部の部長も兼務している。また、新しく入るPTA役員の負担軽減のため、初めの1年間は、先輩役員共に活動し、先輩役員が卒業した後もスムーズに活動が実施できる。



○地域住民と連携した取組

◇伝統行事「大嶺地バーリー」の学習◇
 「総合的な学習の時間」を通して、那覇市無形民俗文化財にもなっている「大嶺地バーリー」という行事について学習の場を設け、地域行事に触れる機会をつくっている。



○「交通安全マップ作り」

地域の民生委員の方々の協力のもと「地域の交通量」「危険箇所」「人通り」「街灯」について調査し、交通安全マップ見直しを図り改訂版交通安全マップをつくり、児童のみんなが見える校内へ掲示している。

成果

○PTA副会長が、9名という役員の高さを生かし新役員が、1年～2年は旧役員と一緒に活動することで、仕事の引き継ぎがスムーズに行うことができている。

課題

・地域において、立哨活動があまり進んでおらず、環境整備部が中心となって保護者へ呼びかけに努めている。

「地域の子は地域で育てる」学校・家庭・地域の連携による活動

所在地：沖縄県北谷町字桑江414 全校生徒数：742名

学校の特徴	1976年（昭和51年）4月に開校し、創立44年目を迎える。生徒一人ひとりの頑張りが新たな伝統の積み重ねとなっている。「自主・創造・敬愛」の校訓のもと、「社会を生き抜く力」を育み、社会に役立つ、次代を担う人材を育成している。
地域の特徴	本島中部西海岸に位置し、町役場を中心に地域の自治会活動が盛んである。開校当初より本校への期待が高く、学校教育に理解を示している。また再開発に伴い美浜地区には、娯楽・店舗施設が集中しており、多くの地元県民や観光客が訪れている。
活動内容	PTA役員が中心となり、保護者及び職員が連携、協力し、学校経営の一役を担っている。地域の祭りにおける夜間街頭指導などのボランティア活動や「料理教室」、「学習会」など地域の人材を活用して、職員・会員相互の交流を深めるPTA活動を行っている。

特徴的な活動① <「敬愛」の精神で ボランティア活動>

○「タオル帽子づくり」(平成27年～)

PTA母親部や生徒を中心に地域の病院に入院している患者さんのためにタオル生地で作った帽子を作り、2病院へ寄付し、好評を得ている。

この取り組みは、5年前の平成27年より引き継がれている活動である。



特徴的な活動② <我が子のキャリア教育>

○「進路学習会」

我が子の進路について「親が学ぶ」という気概を持って活動している。外部講師を招き、講演会を開いている。

○「進路カフェ」

進学、就職について知りたいこと、悩み事などを気軽に相談できる場として活動している。



特徴的な活動③ <親睦>

○「料理講習会」

外部栄養士を招いてお互いの向上や情報交換を図るために我が子の簡単弁当づくりの講習会を開いている。



成果

- ・学校メール等の活用で学校と保護者の連携が良くなった。
- ・父親の参加者が増え、協力体制が強化され、学校・地域・保護者による三身一体のPTA活動の向上が図られた。
- ・学校と家庭の連携が図られ、学校経営の一つ「人材育成」の一助となった。

課題

- ・校区が広いので、活動を精選して参加人数を増やすこと。
- ・地域と連携し、生徒の将来を見据えた繋がりを増やすこと。

【沖縄県教育庁生涯学習振興課】